

サイジャーナル

月刊
24-5・6
第403号

日本サイ科学会 平成24年5月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ (022) 0908 FAX (022) 274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

五月本部例会のお知らせ

命とソマチットと般若心経の探検

講師 徳永康夫氏

科学ではまだ正体が掴めていない「命」というものを、宗教的アプローチではなく、難解な哲学的解説でもなく、具体的に分かり易く科学的に皆様と一緒に探検して、解明します。

人間と宇宙はどちらも二重構造になっていたのです。人間は「肉体」と「本質の生命体」の二重構造。宇宙は「この世」と「あの世」の二重構造。そして「肉体」は「この世」に属し、「本質の生命体」は「あの世」に属していたのです。

何だ、宗教だ、と勘違いしないでください。これらのことは、真実だったのです。最先端の量子力学の一部もほぼ近くまで到達しています。驚くべきことに、2500年前の般若心経はとくにこの事実を知っていたことが分かります。科学を超えていたのです。そして、この「命」に、不思議な超微

小生命体の「ソマチット」が、重要な役割をはたしていると思われるのです。ワクワクするこの情報を皆様にすべて公開します。

●徳永康夫氏プロフィール

1965年九州大学法学部卒。50歳で三菱商事退職後、東洋医学、アーユルベダ、ホメオパシー、物理、生物学、天文学、量子力学、釈迦の経典、新約・旧約聖書の研究、水・波動・気・輪廻転生などを独学。2004年日本ソマチット学会設立に参画、理事に就任。2008年ソマチットの発見者ガストン・ネサンをカナダに訪問。NPO統合医療臨床情報センター理事。日本サイ科学会理事。(株)恒常代表取締役。著書に『命の不思議探検』がある。

日時 平成24年5月12日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二千元 一般 三千元
学生 一千元

今月号の記事

- ◎ 五月本部例会のお知らせ
- ◎ 第22回全国大会研究発表募集
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 六月通常総会・本部例会予告
- ◎ 関西サイ科学会五月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会六月例会予告
- ◎ 北陸サイ科学会五月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会五月例会予告
- ◎ 七月本部例会予告
- ◎ 第16回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 九月本部例会報告の訂正
- ◎ 一月本部例会報告
- ◎ 第三六四回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三六五回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部門例会講演録の販売
- ◎ サイ(気)の測定について

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されておりますので、必ず6月5日までにご投函願います。(忘れないうちにお早めにお願致します。)

平成24年日本サイ科学会
第22回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月14日(日)北とびあ第一研修室にて、開催されます。会員の研究発表、シンポジウム(テーマは「コンタクト」)が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・説明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。で、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

8月末までにタイトルと簡単な内容(2000字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りください、一応審査させていただきます、通りましたら9月20日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(3/31受領分まで)

金二万円也	鴨川 裕司
金一万一千円	浪平 博人
金六千円	原口 和恵
金三千円	久保千壽子
金三千円	須崎 康洋
金一千円	窪田啓次郎
金一千円	久保田昌治
金一千円	飛田 洋子
金一千円	青木 保夫
金一千円	友寄 光子
金一千円	天野 聖子
金一千円	濱田 敏博
金一千円	今田 恵子
金一千円	奥村 八郎
金一千円	赤松 洋一
金一千円	中野 俊子
金一千円	片山 政記
金一千円	寺嶋 崇恵
金一千円	岩谷 好子

六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会後、講演会があります。

六月本部例会のお知らせ

密教開運術
「強運の成長戦略提言」(氣を高めれば運はやってくる)

講師 松永修岳氏
(ラックマネージメント・フォーラム代表)

我々の生きる社会は「不確実性」の時代に突入しています。論理的に正解を追求しても良い結果を得ることが不可能な時代です。イノベーション(革新と創造)をもって仕事を再生し、異質な人と手を組むなど人生やビジネスの「再編」がなければ成功はありません。

成功は「運と実力の組み合わせ」の結果です。例えばゴルフで勝利するには相当の実力と運が必要であり、スロットでゲームをするには実力は必要とせず、運だけが必要とします。「運」と「実力」の影響力の度合いは、何をするかによって変わります。あらゆる結果の中には「運」と「実力」が存在しています。いくら実力があっても、いくつ

かの不運が重なれば、実力は発揮できません。常に実力以外に「運」を考慮することができるとかどうか、この時代の勝敗を分けることになるとでしょう。

ビジネスもスポーツも今、誰が「運」が強いかを見分け、登用し、仕事や試合の流れを読みとって決断と行動をすれば成功できます。その「流れ」そのものが「運」の正体です。「流れ」を読みとり、「流れ」を変えることが、『ラックマネージメント(運の管理)』なのです。ビジネスも人生も不確定です。それゆえに「運」は、人生のあらゆる場面に現れます。

運を管理・マネージメントすることで、健康、長寿、富と財、愛と幸福が実現可能なものになるでしょう。『ラックマネージメント』は人生をより良くするための、まさに『強運の成長戦略』なのです。

※「開運」について、実業の世界でも大いなる実績で信頼を得ている松永修岳氏のお話が聞ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●松永修岳氏プロフィール

岐阜県・養老生まれ。経営戦略コンサルタント。『運』の専門家。ラックマネージメント・フォーラム代表、(社)日本文化経済支援機構理事長、(社)日本建築医学協会理事長。

19歳の頃より奇門遁甲、風水、四柱推命などの運命学を学び、さらに東洋医学、哲学、心理学などの分野についても研鑽を重ねる。数々の修行・荒行を経て、究極の荒行と言われる『千日回峰行』で開眼する。修験道・空海密教の大方満大阿闍梨でもある。

脳科学や心理学、環境科学と「風水」を融合した『風水環境科学』、そして「奇門遁甲」などの運命学と科学を統合した独自の理論体系『ラックマネージメント』を駆使し、上場会社をはじめとする経営者や政治家、さらには一流のスポート選手やアーティストを数多く指導。

2006年7月には、永続的に繁栄する平和な社会の創造を担う『真の社会的リーダーたる幸福な成功者』を輩出することをミッションに掲げる『ラックマネージメント・フォーラム』を設立。同代表

となり、「志」の高い優秀な経営者の育成・指導に情熱を注いでいる。また、伝承医学の叡智と環境心理学、環境心理学、大脳生理学の最新の研究データを融合させた新しい代替医療としての『建築医学』を提唱。

2009年7月に『(社)日本建築医学協会』を設立し、同理事長を務める。多種多様な分野で活躍する様から、『現代の空海』との呼び声も高い。

主な著書に、『女の運の磨き方』(永岡出版)、『一生お金に困らない人の運の習慣』(中経出版)、『運に好かれる人、見放される人』(ダイヤモンド社)、『強運革命』(廣済堂)、『建築医学入門ー代替医療としての住環境』(一光社)、『幸せを呼ぶー奇跡の玄関』(マキノ出版)など多数。

オフィシャルサイト
<http://www.luckmanagement.jp/>
<http://www.fusui.co.jp/>

※『ラックマネージメント』、『風水環境科学』、『建築医学』は、(株)エンライトメントハート・コーポレーションの登録商標です。

日時 平成24年6月10日(日)

午後1時半〜2時 通常総会
午後2時〜5時 講演

会場 北とびあ9階902会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

◆ ◆
関西日本サイ科学会
五月例会のお知らせ

地上絵の発見から邪馬台国の謎を解明

講師 上森 三郎氏

日時 平成24年5月19日(土)

午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆
関西日本サイ科学会
六月例会のお知らせ

ニュートリノ光速超えの謎を解く鍵は正四面体(プラトン立体) [SOH]の生まれるメカニズムにあった

講師 いよのいし氏

日時 平成24年6月16日(土)

午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

北陸日本サイ科学会
五月定例会のお知らせ

あの二人が帰ってきた!!
夢のコラボ第2弾!!

当日内容、乞うご期待!

講師 竹本 良氏
(科学問題評論家)
講師 飛島 竜一氏
(フリーランス・
科学ジャーナリスト)

「ビートたけしのTVタックル
特番超常現象バトル」にUFO/
ESP肯定派の常連として出演し
ている竹本良先生と、過疎の村を
救ったスーパー公務員として注目
を集めている高野誠鮮こと飛島竜
一先生、お二人のコラボ第2弾!
昨年、聞き逃した方も、続きを
聞きたい!という方も、この機会
に是非皆様お誘い合わせの上、御
参加下さい!

日時 平成24年5月27日(日)
午後1時45分〜4時30分
(午後1時15分受付)

会場 金沢市文化ホール3階

「大会議室」

(石川県金沢市高岡町15・1)

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

お問合せ 北陸日本サイ科学会

TEL 076・2334・6634

(ホリスティック健康科学研究所)

※参加ご希望の方はお早めにご連
絡下さい。随時入会受付中。

中部日本サイ科学会

五月研究集会のお知らせ

会員三名の研究・体験発表

日時 平成24年5月19日(土)

午後1時半〜5時

会場 つるまい会館2F

名古屋千種区吹上1・1・3

052・744・3884

交通

JR中央線鶴舞駅、または

地下鉄鶴舞駅下車、名大病

会費

無料
※会員以外の方の参加も大歓迎

七月本部例会予告

水と珪素の集団リズム力

講師 中島敏樹氏

水は、数千万個から数億個の集
団を構成。集団の秩序(リズム力)
と活力(電気エネルギー)で、魅惑
的な仕事を成し遂げている。現代
科学が置き忘れた「水の集団の神
秘な突然変異機能」の話です。水
集団の調律リズムが、命の場を為
している。その秩序と活力の助っ
人が、土や岩石の素「珪素」の大事
な特性『表面陰電荷力』です。命
の素「寄り集い群れて輪す」は、東
日本大震災で人々の心に灯された
『絆』そのものです。宇宙に顕在化
した「もの」の始まりです。

いのちは、水の二大特性『双極
子特性』『水素結合』と珪素の『親
水力』に支えられています。水は
宇宙と同じ階層構造を成している。
水のリズム力に影響を与える人の
意念、感謝・祈り、そして音響リ
ズムを水に映し測りました。何と

未確認物質「気」の関与が、透けて
見えてきました。人々の関心が高
い「珪酸コロイド粒子の表面陰電
荷作用」、「低線量放射線ホルミシ
ス作用」、「生体内原子転換の現実」
などの神祕例を挙げ、科学の紐を
解いてみます。

※水の不思議な性質と今まで知ら
れていないパワーを分かりやす
く解説していただきます。会員
の皆様は是非ご友人、知人をお
誘いして御参加ください。

●中島敏樹氏プロフィール

昭和16年生まれ。石川県出身。
平成12年〜23年 東洋化学株式会
社技術顧問。

水の分析器アクアアナライザと
出合い、「水の集団リズム力」の解
明に取り組む。水集団の新たな振
動領域(500〜4000キロヘ
ルツ)を世界に先駆け明らかにし
た。気、想念、音響など微弱エネ
ルギーをも水で測った。『場のエネ
ルギー』の確かな関わりを、水が
語りかけてくれました。水の神祕
な統合科学に一石を投じている。

第16回宇宙生命研究分科会

日時 平成24年7月14日(土)
午後1時半～5時
会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

第6回 UFO・オーブシンポジウム

コンタクト準備!

日時 平成24年7月29日(日)
10時～17時30分
会場 品川健康センター会議室
(品川区北品川3・11・22)

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円

会員会費 一〇〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー学会・

太陽の会・国際問題研究会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

今回もUFO・オーブ賞ならびにマージナル・サイエンス賞が授与されます!

われこそはという方のチャレンジ、お待ちしております。

(世話人 阿久津淳)

◎九月本部例会報告の訂正

鈴木俊輔氏の講演録で四頁第一段に記された数字に誤植がありました。

12行目 誤「61」↓正「64」

一月本部例会報告

縄文スピリットでサバイバル

講師 ミッツィ 植田氏

今ご紹介にあずかりましたミツ

ツイ植田と申します。八ヶ岳の原

村から来ました。「縄文スピリット

でサバイバル」というタイトルにつ

きましては、おいおい分かってい

ただけだと思います。

最初に「マヤの予言」についてお

話し致します。16世紀にマヤ文明

はスペイン人によって滅ぼされま

した。マヤの子孫であるラテンア

メリカインディアンが残したカレ

ンダーが、2012年の12月21日

で終わっている、そこからこの日

が人類の運命の日なのか とい

ことで映画等でも話題になりました。

マヤの偉大な王でもあり、哲学

者にポカル・モダーンという有名

な王様がいて、その王が埋葬され

ているパレンケの遺跡に宇宙飛行

士が宇宙船の中で操縦しているよ

うに見える石版があります。

ポカル・モダーン王が残してい

る予言に、「古き世界のサイクルは

2012年の12月21日に消滅し、

新しい黄金時代の幕が開く」と書

いており、また「人類が消滅から

自らを救うためには、人類は、ナ

チュラル・タイムで生きること

に立ち返らなければならない。」とも

書いております。

では「ナチュラル・タイム」とは

何かということですが、これが今

日の「縄文スピリットでサバイバ

ル」というものにつながっていきま

す。また私達が物質的価値の限界

に気づいて、人間の真からもって

いる可能性に目覚めていく、この

ときに新しい黄金時代の幕開けが

始まる、ということになります。

この予言を信じるか信じないか

に関わらず、2012年といいま

すと既に今年ですので、この成り

行きはあと少し待てばいいだけと

いうことで、非常に楽しみです。

私の友人でジョー・マクモニー

グルというリモートビューアーが

います。彼がマヤの予言について、

「やあ、あのねー、マヤ人が今も

生きていたら、また新しいカレン

ダーを作っていたと思うよ。心配

しなくてもいいよ。」とよく言っ

ておりました。なので、2012年

問題は心配しなくてもいいですし、

それよりも我々の意識が変わるこ

とによって、黄金時代の幕が開く

ということ、そちらのほうが有意

識を向けていかれた方が楽しいの

ではないかなと思います。

では「縄文スピリットでサバイバル」ということなのですが、私は今、標高1250mの長野県諏訪郡原村に住んでおり、今日はそこからいきなり標高0mのところを下りてきたわけです。

ここはナウマン象を発見したナウマン博士がフォッサマグナを発見・命名し、原村はその西側寄りにあります。原村はフォッサマグナと中央構造線と鹿島香取神宮につながる、太陽の道構造線の3本の構造線の交じわっている場所にあります。ですから、地殻が地下の深いところでぎゅーっと押し合っている、ゼロ磁場なので、原村はエネルギーが湧き上がるパワースポットにあります。

私は考古学者でもありませんしプロの発掘の研究者でもありませんが、原村近辺の考古館や博物館に行ったり、縄文の講座に参加したり、自分で土器を造ったりしているうちに、「この縄文の人達はただ者じゃないな」ということが、何か直感的に分かってきたんですね。それで益々面白くなって、今夢中になって勉強させていただいております。

縄文時代は長きに渡っておりまして、諸説ありますが今から一万六千五百年前から始まったとも言われています。長いので、草創期、早期、前期、中期、後期、晩期等に分けられます。

私の住んでいる原村には縄文時代の「阿久遺跡」がありますが、前期から中期にかけてのものだと言われております。この阿久遺跡は「世界最古、世界最長、世界最大の遺跡」なんです。長さ120m、幅30mの広さに人間の頭位から拳位の石が二十万個以上散らばっていました。

阿久遺跡はイギリスの「ストーンヘンジ」よりもはるかに古く、「ストーンヘンジ」は暦と関係する遺跡と言われていますが、私は阿久遺跡は何かの装置ではないかと推測しております。二十万個の石を持ち寄って何をしていたのだろうと思います。その土器とか出土物から非常に精神性が高いのではないかと思われるものが沢山出ています。

新潟あたりで出土した「火炎土器」に対して、阿久遺跡周辺では「水煙土器」が出ております。弥生時代のシンプルな土器に対して、

日常生活で使っていたであろうこれらのデザイン性の高い縄文土器は平和な時代のものだと考えられます。

この貴重で世界遺産になってもいいと思われる阿久遺跡が、中央高速道路のコースとぶつかり、研究者と住民の再三のコース変更の陳情にも関わらず、埋没保存」ということで遺跡の上に土を盛って今は阿久遺跡を見ることができません。私は利権により「抹殺された遺跡」だと思っております。

一万数千年前から始まったと考えられる縄文時代は、世界のどの古代文明よりも古く、文化も発展していました。縄文時代は弥生人が入ってきた三千年前まで続いたのですが、武器で傷つけられた骨が出る戦闘的な弥生人に対して、縄文人にはそういう骨がないのです。

縄文人はポカル・モダン王にもつながる、スーパーナチュラル（超自然）で生きていたとみられます。スーパーナチュラルとは、現世だけでなく、次元の超えた世界、聖霊や超意識生命体と同居する世

界、直観の世界であり、縄文人にとつて阿久遺跡はそういう次元を超えた世界と交流するための装置ではなかったかと私は推測しています。

「リモートビューイング」は、一九七〇年代米ソの冷戦時代に、ソ連が人間兵器として、開発していました。アメリカは始めは鼻も引っかけなかったのですが、スキップ・ドータという少佐が、ソ連の人間兵器としてのリモートビューイングについてCIAの調査を読んで、上官に進言し、軍事関係で国家予算が出て始めました。

ジョー・マクモニグルは、私も知っている中でもリモートビューイングではトップクラスの方で、ターゲットヒット率85%以上というところで、これはすごいことです。彼が一番活躍したのは、モスクワにあるアメリカ大使館の改修工事のときにひそかに仕掛けられた盗聴器を、ワシントンからリモートビューイングし、185個の盗聴器をすべて指摘し、現場で撤去されました。

またマクモニグルは、キューバ危機でも活躍し、さらにソ連の

北海に面した軍事工場で海岸から四キロ離れた場所で、潜水艦を製造していることを指摘し、始めはあり得ないと思われたのですが、ソ連はそこから運河を掘ったことで、指摘が正しいことが分かりました。

実はマクモニークルには双子の姉がいて、二人はテレパシーで会話もできたのですが、彼女も能力者なので見えたもの感じたものすべてをおしゃべりしていたら、周囲から気がふれているとみられて、強制的に施設に入れられ、ずっと薬物を使われたので、心臓に負担がきて心臓病で亡くなりました。

マクモニークルはつねに言うのですが、「僕が今、命があるのは、おしゃべりでなかったからだよ。」と。また彼は、ベトナム戦争のときにも陸軍兵士として戦場に行っていたのですが、最前線の部隊がほぼ全滅のときにもただ一人生き残ったことが何回もあり、そのサバイバル能力がリモートビューイングの被験者の第一号として拔擢されることになったのです。

リモートビューイングは「遠隔透視」と訳されますが、本当は距

離を超えるだけでなく、時空を超えるもので、月や火星だけでなく、過去や未来の世界も見ることができまます。



リモートビューイング・プロジェクトはいろいろ変遷がありましたが、一九九五年に終了しました。リモートビューイングのシステムはマクモニークルだけでなく、インゴ・スワンやデビッド・モアハウス、ポール・スミスらによって確立されてきましたが、特にインゴ・スワンはリモートビューイングのプロトコルを創った父と言われています。

現在マクモニークルは表にはあまり出ていませんが、行方不明の子供の捜索や鉱物資源の探索等において、今でも毎日訓練は欠かさな

いそうです。

リモートビューイング・プロジェクト(最後のコードネームは「スター・ゲート」)が終了したことでいいこともありました。それまでは国家の軍事機密で、一般の人々は一切知る余地がなかったのですが、職を失ったリモートビューアーが本を書いたり、セミナーを開催することで私達が学ぶことが出来ました。

リモートビューイングは、人間が本来持っている五感を超えた知覚能力を高める可能性をもったテクノロジーだと私はとらえています。精神エネルギーの科学的応用ともいえるのではないかと思っております。

※この後、出席者全員がリモートビューイングの簡単な訓練に参加した。そして、何人かが結構ターゲットの写真に近い成績を上げた。

各自、紙となめらかに書ける筆記用具を用意し、ミッツィ植田氏が用意した沢山のターゲット封筒から一つの番号を読み上げる、その直後に参加者は

1. 筋肉反射で紙に自由に線を引

く↓イデオグラム

2. 描いた絵が、「ランド(大地、土地、地面、山、平原、農地、田園等)または「ウォーター(水、水中、池、川、湖、海、水脈等)」または「ストラクチャー(人工の構造物)」の3つから感じるもの一つを選択する

3. その絵から五感で感じる「形容詞」を書きあげる↓熱い、寒い、赤い、青い、丸い、尖った、ふわふわした、光っている、静かな、騒々しい、くさい等

ターゲットが具体的に何であるかを先に言うよりも、この順番で感じていくことが大切で、あくまでも左脳を動かさずに、直感だけで描き、感じるのが大事です。

最後にまとめますと、私達の立ち返りたいのは
・戦いの無い分かち合い、支え合
いの世界すなわち共存、共栄で
きる世界をつくる。

・永続可能、再生可能な資源の使
い方を目指す。

・「ナンバーワン」ではなく、「オン
リーワン」を目指す。自分の役
割に気づいて、それを実行する。

今日の講演タイトル「縄文スピリットでサバイバル」とつけたのは、日本人の祖先系である縄文人と同様、直観力から来る智慧を日常生活に活用して生きましょ、そのためには行動あるのみです。

「出来ると思ったらできる、出来ないと思ったらできない」by ミツツイ植田

「夢は思い描くものではなく、実行するもの」で、ステイブ・ジョブズの名言で「自分が世界を変えられると本気で信じる人達こそが、本当に世界を変えている」という言葉があります。

今日日本は政治も経済もこんな状態ですが、我々はへこんでいる場合ではなく、日本人が立ち上がってほしいと思います。縄文スピリットのエネルギーはそういうものを持つています。

岡本天明氏の日月神示に、「うれしうれしで世界をころんとひっくり返すぞ。」とありますが、私達は何事も楽しみながら行動することが一番です。

第三百六十四回関西日本サイ科学会研究集会報告

スピリチュアルの世界を探る
—潜在意識から宇宙意識へ—

講師 檀上洪司氏
(西光寺住職)

とき 平成24年1月21日(土)
ところ 大阪科学技術センター

檀上氏は昭和9年(1934年)1月2日生まれ。神戸大学教育学部卒、同研究科修了。兵庫県立高校教諭、兵庫県いなみ野学園(高齢者大学)教授などとして勤務。昭和32年より西光寺住職を務めている。

「私は小学生の頃、先生から催眠(当時は催眠術といった)の話聞き、興味を持ち、その後、通信教育や直接講習を受けたり、教員になってからは、教育催眠研究会などで潜在意識、潜在能力の開発などについて研修してきました。そして日本サイ科学会などを通じて色々な方と知り合い、ユニークな

ことも体験しました。また僧侶として見えない世界と接する中で、宗教と科学の関係について学ぶところも多くありました。」として次の話があった。

1. 催眠について

田宮馨氏の、「神秘流催眠術」通信教育に始まり、講師による直接講習、または関西教育催眠心理研究会などで催眠講習を受講。

当時「催眠は急速な教育であり、教育は緩慢なる催眠である」ということが言われた。

(医師グループの)臨床医学催眠研究会と(教員グループの)教育催眠研究会が合同で研究会を持つこともあった。

「プロ催眠術師」の著者であるプロの催眠術師の世和玄次氏は催眠の根本原理は「あなたがそうであると思うようにあなたの人生は創られる。」ということだと述べている。

「顕在(潜在)意識の下に潜在意識があり、潜在意識の下に宇宙意識がある」といわれている。

檀上氏は潜在能力活用について、若い時に影響を受けた書物として、次の3冊を挙げている。

豊沢豊雄『あなたの力を倍にする』
C・Mプリストル『信念の魔術』
ノーマン・ピール『積極的考え方の力』

2. 清田益章君のスプーン曲げ、念写

西光寺で曲げたスプーンの実物の説明。

清田氏曰く「霊がついて前以て色々教えてくれる。スプーンが曲がったり、捻じれる瞬間には見えなくなる気がする」。

檀上氏の話では「他の人たちの見ている前で、貸しビルの掛け時計の針を、清田君が曲がれと曲げたこともあった」という。

3. 菊花会・小田秀人氏の交霊会 霊媒・竹内満朋氏とローム霊の 声(ダイレクトボイス)の録音の紹介、「竜」の色紙のコピー配布。

これらはエクトプラズム(ギリシヤ語でエクトは外部、プラズムは作られたもの)のことで身体の中から外へ引き出された意味)の作用とされ、この名称はノーベル生理学・医学賞受賞者・フランス人のシャルル・ロベール・リシエ博士によるものであり、エクトプラズ

ムは煙、霧、ガスのような感じである。幽霊の正体に名前をつけたのがノーベル賞受賞の学者であったというのも面白いことだと思う。

4. 日本念写協会の会長であった巽直道氏は般若心経の心を治病にあてはめると「治る、治る、すぐ治る、きつと治る、必ず治る」と念じることだとして多くの難病者が救われた。そして巽氏は体の末端には神経が通っていないところもある。それがうまく動いているのは細胞のテレパシーではないかと言っていた。

5. 日本念写協会専務理事をしていた宮内力氏は理論物理学者で著書も出されているが、「念波は光波に通じる」「佛の光明は灯りではない、想念のことを指している」と述べていた。

佛教で無量光如来・不可思議光如来というのもその意味と思われる。

6. 尾崎里美さんについて

尾崎さんは「私は学年でも一番貧乏な家に生まれ育ちました。家は雨漏りし、お腹いっぱい食べた

記憶もほとんどありません・・・」という生活から美容師になる道を選び、23歳で独立し、会社設立。月給8万円から7年で年商5億円の企業にまで成長させた。



その後すべてを手放し、イメージトレーナーに転身した。さらに48歳でアメリカ、フロリダ州の4年制単科大学でヒプノセラピー（催眠療法）を専攻、卒業した。

ホ・オポノポノのヒューレン博士を招聘、オーラ撮影、カンボジアに小学校を建設するなどのボランティア活動を行っている。「わくわくと心踊る感情が、あなたの潜在意識を突き動かす」「すべての出逢いには波動が影響しています」

著書 尾崎里美著『想像して創造する』（発行 カナリヤ書房）他

7. 共時性と量子論

甲南大学名誉教授の佐藤明雄氏はユングの共時性（シンクロニステイ・意味のある偶然の一致）から量子力学に興味を持ち研究されている。

「そっくりの双子同士はたとえ遠くに離れていてももう一方が危険にさらされているとき、それを察知するといわれる。テレパシーの話はたくさんある。だが科学者はこのような主張に疑いの目を向ける。それは主に、こうした不思議なつながりがどのようにして成り立つのかはつきりしないからだ。

だが科学者は物理の世界でこれに劣らず奇妙なことが起こるといふことを受け入れなければならなくなっている。それは粒子の間に瞬時に成り立つ繋がりが。これは粒子同士がどれだけ離れていても弱まらない。テレパシーに相当するこの量子現象は世界中の実験室で日々実際に引き起こされているのだ。」

（『テレポーターション・瞬間移動

の夢』デヴィッド・ダーリング著林大訳・発行光文社）

檀上氏はこの偶然の一致が佛教でいう因縁と通じるものであり、よい因縁がよい運につながり、悪い因縁が悪い運につながるのではないかといっている。

そして量子論でいう「物と心」の関係が佛教でいう「物心一如」につながるのではないかと述べている。

8. 政木和三氏（大阪大学に勤務、工学博士）
仏像の物質化、バイオライト他、啓示による実用化研究多数。

9. 村上晋一氏（神戸大学名誉教授・工学博士）

「霊界の様相」などのテーマで講演、未知の世界の研究に挑戦しておられる。

現在、世界は宗教、民族、国籍、主義の違いで対立、紛争が繰り返されている。それらを超えて「ありがとう（感謝）」「すみません（反省）」の世界を目指していくことが大切ではないだろうか。

今回は西光寺の住職を務めながらサイ現象を研究されたお話で中々興味のあるものでした。お寺にも呼んで親しくお話をされたということで、実験の真実性を実感しました。

当日の参加者は会員11名、非会員12名、合計23名でした。今回のカセットテープはありません。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三百六十五回関西日本サイ科学会研究集会報告

あの世から見た般若心経

講師 徳永康夫氏

とき 平成24年2月18日(土)
ところ 大阪科学技術センター

徳永氏は1942年満州生まれ。九大法卒。50歳で三菱商事退職後、東洋医学、アーユルベータ、ホメオパシー、物理、生物学、天文学、

量子力学、釈迦の経典、新旧約聖書の、水・波動・気・輪廻転生などを独学研究。(株)恒常 代表取締役、元日本ソマチット学会副理事長、日本サイ科学会理事。近著『命の不思議探検』(たま出版)。

あの世と言っても宗教ではなく、科学をベースとした解説です。「般若心経」は日本人の中では、昔から写経するだけでも、読むだけでもご利益があると言われるいますがその「真の意味」は、謎のまま二千五百年間、解明されたことはなかったようです。今回その謎を、あの世から見るといふ観点、でも、同時に科学的な観点から解き明かしました。その結果はとても納得のいく、心が安らかになる素晴らしいものでした。そのすべてを、皆さまに公開いたします。

いろんな勉強をしてきたが、一般の解説書では分からないことが多い。

一般人は洗脳されている

科学的とは正しいと証明されたものを信じることになっている。非科学的なものは「怪しい」と

し、証明されていないものは、信じない。

たとえば、幽霊、UFO、宇宙人などは信じないのが科学的とされる。

このような「洗脳」は学校や、新聞、TVでなされている。

お経が基本である

お釈迦様は「慈悲」、イエスキリストは「愛」を基本とし、いずれも二千年続いたが、両方とも諸派が発生している。

本来一般の人に真実を伝えるための存在であるべきである。

宇宙は二重構造であり、人間も二重構造

この世 見える世界 見える世界

物質界 非物質界

三次元 5次元

たて、横、高さ ない

質量 ない

※質量がなければ速度は無長大
肉體 霊体+魂(本質の生命体)

人間は70%は水である。水は水素と酸素である。あとはタンパク質でC、H、O、N、石ころはH、O、Fe、Zn、Siからなり原子のレベルでは同じである。

その違いは命であるが、その命が現代科学では分からない。

現代科学では命は研究していない。現代科学では最小単位は細胞であるとしている。

細胞は400億個の原子できている。この原子の観点からすれば人と石ころに違いはない。

命とは何か
人間は死んだら終わりという思想がある。

一方で臨死体験の手記は数多くある。欧米では文献が多い。

死とは心肺停止してから5分経過すると再生率は50%、10分経過すると10%になるといわれる(トリーカー曲線)。

これらの臨死体験に共通していることは、自分の身体が上の空間に上がり、上から家族が泣いているのを見下ろしている。家族に声をかけても通じない。そのうちに光が見え、亡くなった人たちの顔が見えてくる。

しばらくして自分の名を呼ばれて気がつくともとのベッドの上に横たわっている。

このように空間にいる自分が戻ると生き返るといふ現象になる。つまり本質の生命体が命である。

臨死体験は体脱(現象)である。

一般の人は臨死体験を夢で見ることはあるが、この体脱が意識的に出来る人がいる。それはロバート・モンロー氏である。

ロバート氏は瞑想により体脱で出来るようになった。これがヘミシンクの研究である。

エマニエル・スウエーデンボルグは20分野を極めた18世紀の大科学者であるが、60歳を超えてから体脱し、その体験を哲学者カントにも見せたという。

般若心経について

般若心経にはサンスクリット語の音写の部分と意味のある部分がある。

「ハンニヤハラ」は音写であり、「菩薩」はボータ、「舍利子」とはシヤリーという女性の子供という意味である。

ネハン ニルバーナ

「アノクターラ」は音写であり、「照見五蘊皆空」これは中国語で、サンスクリットもある。

このように語の音写と中国語訳の漢字訳とが混在していて解りにくい。



前提条件

1. 大本/小本

「如是我聞」 私はこのように聞いた。

舍利子が質問する。

私たちは師の話を聞いているが、ほかの人はどうなのか。

「一切苦役」までは菩薩の状況の紹介である。

弟子ではなく一般大衆に向けて説かれたものである。

2. 輪廻転生

これを理解していないと解らない。何回も生まれ変わって佛へ近づく。

3. 体脱ができること

要因の一つは瞑想である。禪定という言葉と同じ。

心を統一して瞑想し心を落ち着かせると目の前に真理が現れ心がゆるがない。

本質の生命体は永遠に生きている。

時々肉体に宿る。死は本質に戻ること。

本質の生命体が主である。

釈迦は菩提樹の下で7年あまりの瞑想の結果、生老病死を理解した。

この世 あの時

肉体 本質

従 主、

そのやり方、密教、阿含経、

法灯 人によって異なる方法を説いた

これらを方便という 教えが違ふ

いつ 誰に どんなお経を説いたかがポイントである。

(法論はどちらがまけても釈迦の恥)という川柳もある。

50歳〜72歳は弟子のレベルが作った。

72歳〜82歳は法華経を説いている。

妙法蓮華経について

サツタルダー、プングリカー、スートラ

尊い法は白蓮のようにきれいである。

ダルマは60もの耳がある。

「ある」といふ言ひ方は所有物の意味。

例えば靴は赤い色を持っているといふ言ひ方をする。

信条、哲理 最後に涅槃経を説いた。

日本にいろんな宗派があり宗論といふのがあつた。

(宗論はどちらがまけても釈迦困り)と川柳に詠まれるくらいであつた。

般若ハラミッタ サンスクリット

知恵 完成 パラ 彼岸

ノウハウ イタ 至

あの世へ行くノウハウ

五蘊受想行識 人間そのものは空である

度一切苦厄 何もないから苦しむなよ

無明 無知ということ あの世界
で知がないことはない

12縁起があるか それはない
無苦集滅道 苦に気づきなさい
苦は消せる

悟らなくてよい 悟るべきこと
もない

菩薩のレベルはノウハウを知っ
ているから苦しみはない

ボサータ

いろんな佛もあの世へ行くノウ
ハウがあるのでノウハウを知りな
さい

それは素晴らしいマントーラで
あって本当である 比べるものも
ない

これがマントーラである

ギャティ ギャティ

行った 行った、完全に行った
ときにそこに悟りがあり幸せがあ
る

行ったときに スヴァ

スワーハ 幸いあれ

この「ギャティ ギャティ」が般
若心経のいわんとするところで、
それまではそこに到る説明である。

☆ ☆

物理的な観点と「あの世から見
る」という高次元の解析を対比し
ながら、般若心経を読み解く解り
やすい講演でした。これからこの
ようなもの見方の時代になつて
いくのでしょうか。

当日の参加者は会員14名、非
会員16名、合計30名でした。今
回のカセットテープは20000円
(送料込み)です。ご注文は関西
日本サイ科学会事務局木村(電話
0797・22・6425)まで。

今後の予定

5月19日(土) 上森三郎氏

「地上絵の発見から邪馬台国の
謎を解明」

6月16日(土) いよのいし氏

「ニュートリノ光速超えの謎を解
く鍵は正四面体(プラトン立体)

[SOH]の生まれるメカニズムに
あつた」

7月21日(土) 重川風天氏

(関西日本サイ科学会会長
河野 明夫)

《本部月例会講演録の販売》

本部月例会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子 wma)なので、聞くためには「CDあるいはDVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるCD、DVDプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2000円)を記入し、「郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会」にお振込願います。皆様からの御注文をお待ちしております。

- 2008/ 4/12 石川幹人氏「21世紀の超心理学」
- 2008/ 5/10 茶丸氏「ジョーティシャ(インド占星学)の宇宙観と哲学」
- 2008/ 6/14 木内鶴彦氏「宇宙の記憶」
- 2008/ 7/12 佐田弘幸氏「プラス思考」から運命を創造する「ゼロ思考」へ
- 2008/ 9/13 徳永康夫氏「神秘の生命体ソマチット」
- 2008/10/26 第19回全国大会
- 2008/11/15 宇治橋泰志氏「『難病を根本から改善する』新治療法を求めて」
- 2008/12/13 加藤隆吉氏「催眠と変性意識」
- 2009/ 2/14 天野聖子氏「大いなる自己と対話する自問自答の重要性と地球の現状」
- 2009/ 4/18 小牧昭一郎氏「人間の体の周辺に観察される磁気」
- 2009/ 5/ 9 膳 敬子氏「若返るって本当？」チベット体操を体験、感じるワーク
- 2009/ 6/ 7 山本 輝氏「言霊の幸はう日本国の復活」
- 2009/ 7/11 高月美樹氏「太陰太陽暦の活用法」
- 2009/ 9/12 高峯秀樹氏「未来を探る手相の神秘と科学」
- 2009/10/11 第20回全国大会
- 2009/11/14 山口敏太郎氏「真実とフェイク」環境汚染とDNA操作による未確認生物(UMA)の誕生について
- 2010/ 1/16 前田知則氏「21世紀への適応プログラムとしての心のデトックス」
- 2010/ 2/20 須田泰心氏「超能力者の構造」
- 2010/ 4/10 根本泰行氏「映画『ウオーター』にみる水の真実」
- 2010/ 5/ 8 堤 裕司氏「レイラインと富士塚信仰」
- 2010/ 6/20 久保田昌治氏「水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。」
- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 浪平、苗、小林「感じられる“サイ”3種類のサイデバイス・ソフト体験会」
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11 新文明の幕開け ～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ 植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」

(2) 紫外可視吸収スペクトル

紫外線 (200～380nm) と可視光線 (380～780nm) の吸収スペクトルは分子の電子スペクトルである。光を吸収すると、結合電子の基底状態から高エネルギー状態へと励起されることになる。具体的には、気功師が放射して得た気功水を、透明な容器にいれ、光を当て、反対側に出てくる光の強さを測定する。つまり、当てる紫外線の光の波長を変化させて、波長に対応して吸収される度合いをプロットすることになる。李昇平らは、上記のラマンスペクトルと同一内容の実験を行った (1988)。遺伝子DNAとRNAの溶液にサイ (気) を放射して、紫外線吸収スペクトルの変化を求めた。遺伝子は、約280nmに紫外線吸収のピークがある。発功時と10時間経過後のあいだに、3～4回、測定した。結果をみると、DNA・RNAのピーク値 (曲線) が変化する「増殖効果」等が測定された。これは核酸のプリン・ピリミジン塩基対の水素結合が結合されたり、又は切断される事を意味するものと推測出来る。

(3) 電気伝導率変化

水は優れた溶媒の性質を持っている。純水は電気を通さないが、電解質を溶け込ませると電気を通すようになる。電気伝導率は、電気の通しやすさを示すものであり、電荷を持ったイオンが電流の担い手であるといわれている。また電気伝導率は温度が高くなると上昇するので、測定は恒温水槽中で行い、また電極には交流電源を用いるのが一般的である。

佐々木茂美らは、室内の空気汚染に馴染ませた (汚染を飽和させる) 市販蒸留水を用い、恒温水槽中に、サイ (気) を放射して造った気功水と、対象水を置いて、両者を比較する場合の電気伝導率の変化から、サイ (気) を測定した (1985)。サイ (気) の混入の内容に応じて、電導率は様々に増加した。一方、零磁場を用いて造った人工気功水は、気功師の放射によるものと、ほぼ同一程度の値を示す事がわかり、さらに、長時間にわたって気 (サイ) が保

持される場合もある。他方、恒温水槽の温度を変えて測定した電気伝導率の変化を、熱活性化過程として求めた活性化エネルギー値は $\Delta H=32\text{kcal/mol}$ 、($=1.38\text{eV}$) であった。また赤外線吸収スペクトル測定、レーザーラマンスペクトル測定、核磁気共鳴測定 (NMR) 等を用いた検討結果から、水の分子構造は変化しないで、水素原子の結合の程度が変化し、結合したり、又は切断したりする場合がある。つまり気功水は、水分子のクラスター (集合状態) の変化が伝導率変化の原因であるらしい、と推定した。

4) 生体変化によるサイ (気) の測定

政府の助成金を得て行ったISLISグループ (代表者、山本幹男) の多数の優れた研究結果がある (2004、潜在能力の科学)。これらについては、別に報告する予定にしたい。

5) 脈診による気場の測定

苗鉄軍、佐々木茂美らは、上述のBACSを用いて、気場 (パワースポット) に存在するサイ (気) を測定した (2012)。気場に潜在する気のエネルギーと、そこに参入した人体とは、確かに、サイ (気) を介して交流している事が定量的に推定できる。

参考文献

- (1) 巖新、陸租蔭ら、各種水溶液に外気を放射した時のラマンスペクトルの変化 (1988、自然雑誌、11-8、pp.567-571)
- (2) 巖新、陸租蔭ら、遺伝子DNA・RNAに外気を照射した時の紫外線吸収スペクトルの変化 (1988、自然雑誌、11-9、pp.647-649)
- (3) 陳鳴、張明安ら、紫外線分光光度法を用いた気功水の実験報告 (1990-3月、中華気功、pp.6-11)。その他省略。

D2=1.98~2.29のカオスアトラクターである事等が判明した。さらに此を基に念写形成のモデルを構築し、シミュレーションと考察により、このモデルの正当性を主張した(2007、苗鉄軍、佐々木茂美)。

(3) 脈動する赤外線変化など

外気を直接測定したのは中国上海原子核研究所の顧函森ら(1979)であるといわれている。気功師の手の平の経穴から放出される外気の一部を赤外線センサーで測定したところ、周波数0.5~0.9Hz、出力1.2~数 μ wのランダムパルス状に変調された脈動赤外線放射が観測された。作用距離を調べたところ、3.0~3.5mの途中に、速度がより加速される区域があり、その速度は20~50cm/sであった。また微粒子状の信号情報も測定された。その他として、音、静電気、放射線などが測定されている。

(4) バイオホトンの観測

すべての生物は何らかの形で光っている。稲葉文男バイオトンプロジェクトは生物トン発光を研究・調査している。光子1個/sec(1000カウント/10秒)が計測可能なセンサー(光電子増倍管)を用いて、人体の皮膚表面の発光状況を調べている。プロジェクトの宇佐史らの報告(1992)によると、気功師(中国人)も通常人と同程度に光っている。しかし気功師は、通常人とは異なり、その光りを強めたり、弱めたり制御する事ができる。なお皮膚表面の温度と発光の強さとは別であり、両者間に負の相関が存在する場合がある。また表面温度上昇は手の平のまんなか(老宮)が最大である。発光スペクトルの波長分析によると、赤色(600~700nm)が多い。しかし緑色範囲にも発光の山がある。気功治療の患者に対して放射する時には、光の出方が異なる場合がある。40名以上の測定によると、年齢差は無いが個人差は大きい。

(5) 磁気(磁場)変化の観測

小牧昭一郎らは、xyz座標軸のそれぞれに3

個の磁気フラックスゲート方式センサーを置いて、被験者(気功師)の身体周辺に発生した磁気の3次元的な時間変化を観測・計測した(1996)。発生した磁気は、磁束密度のピークが0.5Gに達し、数秒程度存在しており、方向は多様であり、立体的な空間を占める事が多い。町好雄らは低周波脈動磁場を観測・計測した(1980)。瀬戸明らは人体磁気異常輻射現象を観測・測定した(1995)。小久保秀之らは異常生体磁場の観測を行った(1999)。

3) 水に吸収させて測定する

人体の60%以上は水である。水は生命の基であり、また水は総ゆる物を溶かし込む性質があると言われている。サイ(気)は直接測定が出来ないので、水に溶かし込んで、水溶液(気功水)として、測定する事が行われている。

物質に光を照射すると、光と物質の相互作用により反射、屈折、吸収の他に散乱が起きる。散乱光の中には入射光と同じ波長の光が散乱するレイリー散乱(弾性散乱)と、入射光とは異なるラマン散乱(非弾性散乱)がある。しかしラマン散乱はレイリー散乱よりも弱く、10(-6乗)程も微弱の場合がある。

(1) ラマンスペクトル

中国精華大学の李昇平らは、巖新気功師が放射した時のサイ(気)を、水道水、0.9%生理食塩水、50%ブドウ糖溶液、抗生物質水溶液に溶かし込み、レーザー光を当てる方法でラマンスペクトルを求めた(1988)。例えば、水道水にサイ(気)を放射して得た気功水の場合には、ラマンシフト(raman shift) 400.00~4000.00 {cm}の(-1乗)の間の2100.00付近に強さ(intensity)の山峯頂のある山状の幅広い散乱が発生したが、約2時間後には消失した。1986年12月22日~1987年1月23日のあいだに10回のテストを行い、発功距離を3m~1900kmに変えてテストしたが、何れの場合にもほぼ同一の変化が認められた(距離には依存しない)。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ(気)の測定について

佐々木 茂美

1) はしがき

人間は心(精神、魂)と肉体から出来ているが、形而下学としての肉体面の進歩に比較すると、形而上学としての精神面の進歩発達は無いに等しい。これは、宗教や倫理などの立場から、心の科学的な分析や解明が、永い間、タブー視されていた為であると言われている。最近になると、人工知能やロボット開発の工学的な立場から、人間の精神面の研究の必要性が議論される様になってきた。他方、人間と動物を分けるのは、信仰心の有無である、とも言われている。これは、人間には魂があり、精神と信仰心が重要である事を意味しているのであろう。他方、「こころの宗教」と「ものの科学」の間を埋めるのはサイ(気)科学であるとも言われている。今回は、健康や元気の基であり、また心と物の間を埋める意味を持つ「サイ(気)」について検討することにした。

2) サイ(気)の直接測定

体内にある気(サイ)を内気、体外にある気(サイ)を外気と言う。便宜的にそのように呼んでいるが、本質的には同一である。「経絡(経穴)」を対象にした電気科学的な内気の測定は、本山博によって1974年頃から開始され、現在は、AMI(体液-自律神経機能測定器)として

実用化・販売されている。最近になり、伝統医学(漢方)の内気としての「脈診(触診、定性判断)」の、複雑系カオス解析を用いた計数・定量化が鹿児島大学(医)の「重要課題解決型推進研究」として実施され、実用化製品が(株)CCI社からBACS(生体系の活性度チェック、カオス解析計)として販売されている(苗鉄軍開発)。都合により、本稿では外気の測定を扱う。

(1) 遮光カメラからの光群湧出

宮内力、福田豊らは、透視・念写(イメージで見て、画像を画く)実験(1975)において、念力現象(PK、画像)生起時に遮光カメラ内から物理的な光子群が湧き出す事を発見し、その時間変化等を観測・記録した。

(2) 念球のカオスアトラクター

佐々木茂美、小川雄二らは、零意識(変性意識、ASC)下での透視・念写(イメージで見て、画像を画く)実験(1976)において、念力現象(PK、画像形成)発生点付近で遮光TVビジコン内に念球(球状光子群)が発生すること、並びに念球の特徴的な経時諸変化を観測・記録し、その軌跡変化から念写像が形成されるものと推定した。約30年後、それらの軌跡の経時変化を、指尖脈波カオス解析計(BACS)を用いて測定・解析したところ、フラクタル次元



サイジナル

月刊
24-7・8
第404号

日本サイ科学会 平成24年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 <small>〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号</small> 佐佐木 康 二 <small>☎ 022 (279) 0908 FAX 022 (274) 0097</small>	中 部 <small>〒503-0981 大垣市松町1290</small> 山 田 哲 三 <small>☎ FAX 0584 (91) 1192</small>	北 陸 <small>〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内</small> 佐 藤 禎 花 <small>☎ 076 (234) 6634</small>	関 西 <small>〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39</small> 木 村 のり子 <small>☎ FAX 0797 (22) 6425</small>	九 州 <small>〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7</small> 金 子 輝 夫
---	---	--	--	---

七月本部例会のお知らせ

水と珪素の集団リズムムカ

講師 中島敏樹

水は、数千個から数億個の集団を構成。集団の秩序(リズムムカ)と活力(電気エネルギー)で、魅惑的な仕事を成し遂げている。現代科学が置き忘れた「水の集団の神秘的突然変異機能」の話です。水集団の調律リズムムカが、命の場を為している。その秩序と活力の助っ人が、土や岩石の素、珪素の大事な特性『表面陰電荷力』です。命の素「寄り集い群れて輪す」は、東日本大震災で人々の心に灯された『絆』そのものです。宇宙に顕在化した「もの」の始まりです。

いのは、水の二大特性『双極子特性』『水素結合』と珪素の『親水力』に支えられています。水は宇宙と同じ階層構造を成している。水のリズムムカに影響を与える人の意念、感謝・祈り、そして音響リズムムカを水に映し測りました。何と

未確認物質「気」の関与が、透けて見えてきました。人々の関心が高い「珪酸コロイド粒子の表面陰電荷作用」、「低線量放射線ホルミシス作用」、「生体内原子転換の現実」などの神秘例を挙げ、科学の紐を解いてみます。

※水の不思議な性質と今まで知られていないパワーを分かりやすく解説していただきます。会員の皆様は是非ご友人、知人をお誘いして御参加ください。

●中島敏樹氏のプロフィール
なかしまとしき
昭和16年生まれ石川県出身。平成12年〜23年 東洋化学株式会社技術顧問。

水の分析器アクアナライザと出会い、「水の集団リズムムカ」の解明に取り組み。水集団の新たな振動領域(500〜4000キロヘルツ)を世界に先駆け明らかにした。気、想念、音響など微弱エネルギーをも水で測った。『場のエネルギー』の確かな関わりを、水が語りかけてくれました。水の神秘的な統合科学に一石を投じている。

日時 平成24年7月14日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

今月号の記事

- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎第22回全国大会研究発表募集
- ◎御寄付御礼
- ◎関西サイ科学会七月例会予告
- ◎第16回宇宙生命研究分科会予告
- ◎九月本部例会予告
- ◎二月本部例会報告
- ◎第三六六回関西サイ科学会報告
- ◎第三六七回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎サイ(気)の応用と実用化

※8月は本部例会は休会となりま
す。九月本部例会予告は次頁に
掲載されております。

平成24年日本サイ科学会 第22回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月14日(日)北とぴあ第一研修室にて、開催されます。会員の研究発表、シンポジウム(テーマは「コンタクト」)が予定されておりませんが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

8月末までにタイトルと簡単な内容(2000字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら9月20日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思います。原稿の書式は後でお知らせ致します。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(5/25受領分まで)

金六万円也	木村 陽一 様
金五万円	吉田 一美 様
金一千万	小林 信正 様
金一千万	山田 真理 様
金一千万	信太 民久 様

関西日本サイ科学会
七月例会のお知らせ

誰でもが幸せになる
プラチナの風が吹く

講師 重川 風天氏

日時 平成24年7月21日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千円 一般三千円
学生 一千円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

第16回宇宙生命研究分科会

第6回 UFO・オーブシン
ポジウム

コンタクト準備!

日時 平成24年7月29日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室
(品川区北品川3・11・22)

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分
JR京浜東北線大井町駅東
口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円
会員会費 一〇〇円(日本サイ科
学会・サトルエネルギー学会・

太陽の会・国際問題研究会)
※会員以外の方の参加も大歓迎

今回もUFO・オーブ賞ならび
にマジナル・サイエンス賞が授
与されます!

われこそはという方のチャレン
ジ、お待ちしております。

(世話人 阿久津淳)

九月本部例会予告

未曾有の天災・人災を目の
当たりにして、サイ科学は
何ができるのか!?

講師 ホンマシユウジ氏

(株式会社ビジョンプラス
エグゼクティブ・プロデューサー)

◎ゲスト講演

井戸 理恵子氏

(多摩美術大学講師・民俗情報工
学研究)

昨年、東日本大震災の発生によ
り、これまで想定していなかった
規模の大地震、大津波が実は、頻
繁に日本列島を襲っていた歴史が
あったことが明らかになりました。

地震学者がこれまで黙殺してい
た歴史的記述や口伝の重要性が再
認識されることとなりました。被
災の中心地・石巻市出身の筆者は、
今回、奈良時代から貞観期、鎌倉
時代初頭にかけて、石巻を中心と
した歴史的出来事と大災害の因果
関係に着目して調査を行ったところ、
数多くの神社仏閣が大震災と

の関連において創建されたという事実に遭遇しました。

神仏のルーツや地域信仰をつなぎ合わせるにより、日本人と自然災害との関係を考察します。

※中国や日本における超能力者や超能力少年少女達の取材、検証番組を沢山制作してこられたホンマ氏が、今回の東日本大震災に際して、出身の地震・津波被災地の地道な取材と調査をされた内容を、被災地の映像も含めているいろいろな観点から問題意識をもって、お話をされます。

ゲストの井戸氏もそれらに対して研究者・能力者の観点から、貴重なお話が聞ける希な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加ください。

●ホンマシユウジ氏のプロフィール
宮城県石巻市生まれ。CMプランナー、CMディレクター、番組ディレクター、番組プロデューサーを経て、現在マルチメディアプロデューサー。自然ドキュメンタリー、歴史の謎・人間の不思議な潜在能力の謎をテーマにしてノンフィクションシリーズ作品など数多

く手がける。現在、日中韓共同制作による「大型ドラマ」企画と「東アジア・情報バラエティー」の準備に奔走中。

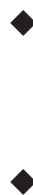
主な作品：TBS「ギミアぶれいく」「プレゼンター」未知能力シリーズ、「アニメ・ムンデイ」、「世界謎紀行・神々のいたずら」シリーズ、「自然ドキュメンタリー・神々の詩」シリーズ、TBS 50周年SP「地雷ZERO 21世紀最初の祈り」、「Mrマリック・超魔術の逆襲シリーズ」、NHK・BSスペース「バチカン外交」ヨハネ・パウロ2世と冷戦後の世界、「日テレ」スーパーテレビ情報最前線（サイババほか）、「木曜スペシャル・Mrマリック・超魔術」、BS11「第2ニッポン国・独立宣言」ほか著作：「未知能力ーあなたの知らない不思議世界」（青春出版）、「カメラがとらえた人間の不思議な力99の謎」（二見書房）、「ワールドミステリー・ツアー・アジア編・中国怪奇譚」（角川書店）日本サイ科学会理事・日本人体科学会学術会員

日時 平成24年9月8日（土）

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 会員二千元 一般三千元
学生一千元



二月本部例会報告

サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介

講師 小林 正典氏
(茨城大学)

最初にトマトの種子の潜在能力についてお話させていただきました。これは一万数千個の実を成らせたトマトの巨木です。遺伝子操作とかホルモン処理は全然行っておりません。露地栽培のトマトの種子と全く同じ種子を使って、トマトの持っている能力を引き出した結果、一本のトマトの木に一万数千個の実を成らすことができた技術がございます。

この技術は1985年のつくば万博の政府館において、展示されました。こういうものに私は非常に興味を持ちまして、いろいろな実験を進めて参りました。この「ハイポニカ」という製品も購入してトマトを実際に成らす実験もして参りました。

この一万数千個の実を成らすトマトの潜在能力の根源は、ここにある根なのです。根がものすごい活力があつて、生き生きとしています。その根が直接接している水は常に流れているのですが、その水には酸素を供給しているのが一つのポイントとしてあり、それに温度コントロールと太陽光をコントロールして実現した技術です。

通常メロンは一本の木に一個しか成らないので、お値段が高いのですが、この写真の木は90個の実が成っております。このキュウリは一本の木に、三千三百本の実が成っております。

これは種子の中にこれだけの実を成らすことのできる潜在能力が元々宿つているということですね。それを出来る範囲内で取り出してやろうというふう考えたのですね。これは協和株式会社野澤重

雄氏が「ハイポニカ」という商品名で開発したものです。野澤氏は残念ながら2001年に亡くなられましたが、1960年代からだいたい22年間で23億円のお金を使って開発した技術でした。

私もいろいろな高校に呼ばれて出前授業をしておりますが、今ご紹介したようなお話をするわけです。そして高校生に「元々一人一人がそれだけの能力を持っているのだから、それを自分自身で引き出してみようよ。」そして「根というものが非常に大きな根源になっている」ということで、根に相当するものが学校の教育すべてだよ。」というお話をして、一応感激してもらっていました。

地球上に生きているものにとつて、地球の環境というのは、生存に無視できないものであるというのは、当然のことです。その一つとして、「シューマン共振」というものがございます。「サイ科学」に掲載されているいろいろな論文や資料の中に、「シューマン共振」というものが頻繁に出て来ているのを私も存じております。

今日はそのシューマン共振、す

なわち7・8ヘルツという基本周波数とそれのだいたい整数倍の14ヘルツとか、21ヘルツなどの電磁場が地球と電離層との間に存在していて、生命に影響を与えていること、また地磁気に関係するお話を致します。約40億年前に地球上に生命が誕生してから、今日までの進化の過程で何らかの影響を地磁気とシューマン共振から受けてきたはずと考えると、生き物にとつて最適な磁場環境が必ずあるはずだと発想しました。

論文ではこの地磁気とシューマン共振に関係したミツバの種子の実験を進めて参りました。そして私が考えたのは、先ほどのハイポニカトマトの技術の根本的な考え方として、トマトにそういう潜在能力があるということから、電子電気工学に携わっております私としましては、磁場として周波数7ヘルツに着目して、研究を進めて参りました。

最近の新聞記事で「サイエンス」の論文として、地球の外殻が二層構造になっておりマントルが別々に対流していて、それらが混ざり合うと磁場の反転が起こるのではないか、と載っております。地

球はこの四百万年間に9回くらい磁場の反転が起こっております。

私はこの説が出る前に計算していたことがありまして、地球の赤道断面上の外殻の中央円形リングに、東から西に向かって30億アンペアの電流を流すと、だいたい地磁気を再現することができました。すなわち地磁気というのは、地球の中に電流が流れていることから生じますが、その電流は外殻の液体状になっている鉄の中のイオンの動きによってつくられているという事です。

落雷のときによくラジオに雑音が入りますが、そのときいろいろな周波数の電磁波が同時に発生していて、光速の30万キロメートルを地球の周囲4万キロメートルの波長で割りますと、シューマン共振に近い7・5ヘルツとなります。

地球の100キロメートル上空に電離層がありまして、その電離層は導体で、地球表面も海が大部分なので導体であつて、その二層の間から電磁波は逃げる事ができません。落雷等で発生した電磁波の内、波長が地球周囲と同じ長さの電磁波(周波数7・5ヘルツ)だけはその二層の間で共振します。

他の周波数の電磁波は山谷がぶつかって消えていきます。

私はそのシューマン共振に近い、「ラッキー7」の7ヘルツに着目して、実験を進めました。7ヘルツの弱磁場を使ったのですが、弱磁場というのは地球の地磁気約50マイクロテスラの15倍位のもので、その成果が世界的にこういう方面の研究者が投稿する学会誌の「Bioelectromagnetics」に掲載されました。

シャーレの中に濾紙を三枚引きまして、ミツバの細長い種子を50粒、ピンセットで一粒ずつがくを南側に向けて南北方向に並べます。それらに2つの方向から弱磁場をかけたときに次の有意な結果が出ました。

「Bioelectromagnetics」の論文で、

発表したことを要約致します。

・地磁気の鉛直方向に

周波数7ヘルツ、磁束密度750

マイクロテスラ

周波数14ヘルツ、磁束密度500

マイクロテスラ

のAC磁場を印加した場合にはミ

ツバの種子の発芽を促進させる

・地磁気の向きに並行に

周波数7ヘルツで磁束密度750マイクログテスラと磁束密度500マイクログテスラの微弱な磁場を印加した方が、垂直に印加した場合よりはミツバの種子の発芽を促進させる

「サイ科学」掲載論文を紹介させていただきます。

この実験では水が非常に大事なものになりますが、水は分からないことも沢山ありますし、水はすべての物質を溶かしてしまうので、非常に実験が難しい代物です。ところが水というものは、非常に生命活動にとってなくてはならない物でして、タンパク質や核酸、そういう生体高分子の細胞がうまく働いているかどうかなど、水はそれらをコントロールしているといわれております。

人間の意思が水に変化を与え得るという論文もありますし、また水が情報を蓄える能力：ホメオパシーでの体験、気功のエネルギーやヒーラーのヒーリングパワーなどの微弱エネルギーを与えたときの水の変化を扱った論文もあります。

また水には「エピタキシー」と

いう仕組みが働き、元の実体が無くなっても、その本質を記憶している、いろいろな操作をするということがあります。エピタキシー(Epitaxy)は、半導体関係でよく使われるのですが、「一定の結晶面上に別種(あるいは同種)の単結晶が結晶方位を揃えて成長していく現象」、あるいは「半導体結晶基板上などに、そうした単結晶膜を成長させる技術」で使われる言葉です。



また、微弱エネルギーの存在を認めて、その橋渡しをしているものとして「ベクトル磁気ポテンシャル」があるのではないかという論文もあります。

その微弱エネルギーを水に与えるその影響を実験するとき、精製

水(純水)の場合には微弱エネルギーの注入が難しく、イオンやミネラルなど若干の不純物の存在が必要だという論文もあります。今回の私達の実験でもそういうことが出て来ました。

水を扱う場合、熱エネルギー以外のエネルギー、たとえば光、電気、磁気あるいはこれらが相互に絡み合った場合などは、何が起るかは、やってみないと分からないのが実状だという論文もあります。

最近、AC磁場の「零磁場」が注目され、植物の初期成長に与える影響などが研究されています。そのとき成果が出ているのですが、地磁気というDC磁場は打ち消さないで、AC磁場を打ち消した実験となります。その零磁場は、テスラコイルや、8ヘルツの単一パルス波、複合サイン波(10の6乗ヘルツ位)などを、渦巻き型の無誘導コイルに流してつくりまします。そこから発生する「人工外気」を稲の種に直接暴露した場合には、根と苗の成長30%〜50%の成長促進効果が認められた、また人工外気を直接稲の種に直接暴露しないで、予め水に暴露処理した人工外

気水に稲種を浸した場合にも、ほぼ同一の効果が得られた、という論文発表があります。この結果は水には人工外気という情報を記憶する潜在的な能力があるといえます。

そういうことで、今回はミツバの種子の発芽というものに水の性質をうまく利用して、何か変化があることのメカニズムの背景の究明が出来るのではないかと考えて、実験を進めたわけです。

ミツバの種子に毎日給水する水のみ磁場を印加した場合と、発芽実験時の種子にも磁場を印加する、両方の場合を実験しました。その他に地磁気を打ち消す実験も行いました。

前者の場合の実験は、上述したように水が情報を記憶することをチェックする実験と考えられます。それから蒸留水と水道水の比較実験もしました。「サイ科学」の論文の中でも紹介されておりますように、やはり蒸留水ではなくて水道水の方がいろいろな情報やパワーを加えやすいといえると思います。またイオンサイクロトロン共鳴の効果を明らかにするために、地

磁気を打ち消した場合と地磁気環境下の場合の両方を実験しました。印加磁場の周波数はシューマン共振の基本周波数に近い7ヘルツ、磁束密度は地磁気のオーダーとなり先の論文の約10分の1の75マイクロテスラの微弱なAC磁場を使用しました。地磁気を打ち消した場合にAC磁場を印加した場合の実験は、DC磁場の零磁場の環境下での水の情報(本論文ではAC磁場)の記憶に関する実験となります。ミツバの種子に水は16日間、毎日5CCずつ加えました。

実験のまとめと検証をします。

ミツバの種子に毎日給水する水の中に磁場を印加した場合と、発芽実験時のミツバの種子にも磁場を印加する両方の場合を実験しました。

種子に加える水は、水道水と蒸留水の2種類で行いました。また地磁気を打ち消した場合と地磁気環境下の場合の両方の場合で実験しました。

発芽時の給水に用いる水道水を周波数7ヘルツ、磁束密度75の磁場で磁場処理するときの地磁気の有無により、地磁気有りでは発芽

が促進され、地磁気無しでは発芽が抑制されました。

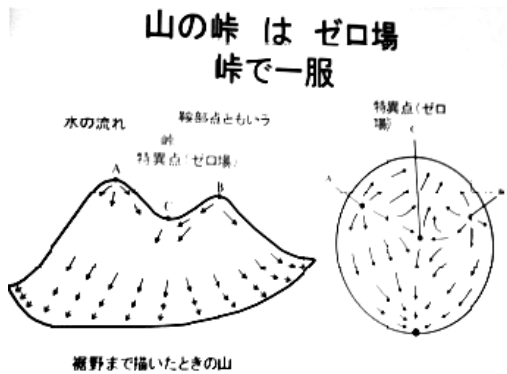
両者とも1検定で危険率5%以下の有意差が認められ、前者は後者より、発芽促進増加率が約10%も高くなりました。水道水の場合の発芽は、発芽時の磁場の環境にはほとんど左右されず、水の磁場処理の方法でほぼ決まり、ミツバの種子の発芽促進の作用は、発芽時の生化学反応に印加磁場が直接作用するのではなくて、水の性質に影響を与えることを介して作用すると推察されました。

水の磁場処理の際の地磁気の有無が水道水と蒸留水との発芽特性において大きく異なりました。水道水において、AC磁場を情報とした「水の記憶」が認められたといえます。

これは、水道水は種々のミネラルを含有しており、電気伝導に寄与する各種イオンが蒸留水に比べてそれだけ多いことを意味します。水の磁場処理の際に、含有されているイオンの量の違いにより、磁場処理後の水の性質に差が生じたと考えられます。すなわち、水に情報を記憶させる場合は、若干の不純物の存在が必要なことが、改

めて確認されました。

2011年度「サイ科学」発表2編目の論文タイトルは「ゼロ場と特異等ポテンシャル線の図形の性質」で、サイ科学の分野での超常現象のゼロ磁場に関連した論文となります。



地図上の山を比較に使いますと、等高線が電位が等しい等電位線にあたり、等電位線が混んでいるところは電場が大きいとみえます。図のAとBという+の電荷が2つあり、高さが違うので、電位も少し差があります。地図ですと海拔0

mの高さが、電気の分野では0Vにあたり、そこからの電位差が、山でいうと海からの高さとなります。図のAとBから来る+電荷のエネルギーがぶつかるのが、Cという点です。「零磁場」というのはこういう点で、地図でいうと峠にあたり、真つ平らというより、馬の鞍のようになります。Cという点は電場が0の特異点となります。その特異点であるゼロ場の点を通る等電位線を私は「特異等電位線」と名付けました。この「特異等電位線」は非常に均衡のとれた美しい図形を生み出します(「サイ科学」第33巻に多くの図を掲載)。

この美しい図形というのが、実はサイ科学における零磁場が癒し効果を生み出すことにもつながるのではないかと考えられます。また均衡が取れた状態から、「カタストロフィ」や「フラクタル」等の現象も生じてきます。

※後半は小林氏がダウジングの器具(レヨテスト)を使って、会場に参加者や持って来られた多数の品の周波数を測定して、会場が盛り上がりました。



第三百六十六回関西日本 サイ科学会研究集会報告

出口王仁三郎の遺言

講師 櫻井 喜美夫氏

とき 平成24年3月17日(土)
ところ 大阪科学技術センター

櫻井氏は昭和22年10月12日生まれ。櫻井氏の名付け親は、大本教の出口師である。また、出口師の本名は上田喜三郎であるが、名前を訓読みで読むと「きみお」とも読める。訓読みの名前を櫻井氏に与え、すぐ危篤になり3ヶ月後に亡くなる。出口師の願いは、宗教がなくなり、世界が愛のある世界になることであった。

出口師が櫻井氏にして欲しいことは何かを探求し、そして、そのことが『出口王仁三郎の遺言』として結実していった。
著書『出口王仁三郎の遺言』太陽出版

「霊界物語」全83冊を著した出口王仁三郎氏は、単に一宗教家と

いう枠にはまることのない器の大きさで、天地剖判、太古の神々の歴史はもとより、霊界の構造、祭式、言霊学などの霊的な世界から、政治、経済、教育、医療、健康、食事、芸術など多岐にわたった現実世界の理想的なあり方についても言及している。

龍の形をした日本
イラスト説明「龍の形をした日本」



日本列島はイラストのように龍の形をしています。九州が頭、北海道がしっぽです。

奄美大島も入っている今の沖縄にはストレスが溜まっています。ドラゴンの珠・沖繩が光らないと日本は光りません。沖繩が変われば日本が変わります。淡路島、沖

繩は日本の大事な場所つまり人間でいうところの経穴すなわちツボにあたります。霊的なスポットで龍の穴です。

王仁三郎が望んだ「スの神」の顕現

王仁三郎のスケールの大きさは、「神」の捉え方にも見て取れます。宇宙の本源であるまことの神を「主(ス)の神」と呼んでいます。

スの神は、古事記では国之常神、日本書記では国常立尊のことです。宇宙の創造神でもあり、イザナギノミコトやイザナミノミコトの産みの親にあたります。

また、聖師は同年3月、「日本の神社に祭つてある神様は昔の英雄で死神死仏ばかりで、キリスト

教のゴッド即ち不老不死の生神を祭つてあるところは一ヶ所もない」とも述べています。

つまり、第二次大本事件の根本原因は、天皇を神として崇めた国家神道ではなく、スの神を祀っていたからで、スの神こそがまことの神であり、スの神に帰れというのが聖師の一貫した主張だったわけです。

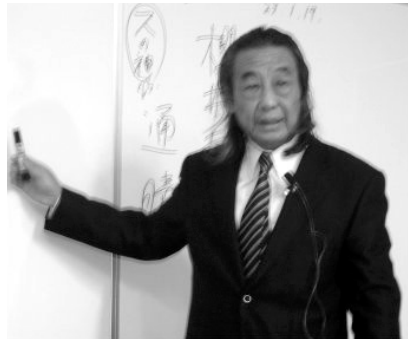
以上のことから、人間を神格化したり、偶像崇拜による従来の宗教に終止符を打ち、宇宙創造の神、スの神の顕現によって世界平和に寄与することが、日本人全体に対する王仁三郎聖師の遺言であることがわかりただけかと思えます。

日本は世界の雛型
イラスト説明「日本の地形と世界の地形の相似性」

王仁三郎は、日本は世界の雛型だといいました。これは、地形にも現れていて、日本の地形と世界の地形が相似形であることから、同じパターンの現象が起きることを意味しています。

日本列島が五つの島からなるよ

うに、世界は五大州からなつていて、その形状もそっくりです（イラスト参照）。九州はアフリカに、四国は豪州に、北海道は北米に、台湾は南米に、本州はユーラシア大陸にそれぞれ相当しています。



さらに細かく見れば、紀伊半島はアラビアに、琵琶湖はカスピ海に、大阪湾は黒海に、伊勢の海はアラビア海に、駿河湾はベンガル湾に、津軽海峡はベーリング海峡に、土佐湾はオーストラリア湾に、能登半島はスカンジナビアの半島に、瀬戸内海は地中海に、関門海峡はジブラルタル海峡に相当します。

王仁三郎は、霊的な視点で見たら、大本で起こることは日本で起

き、日本で起こることは世界で起こるといい、これを3段の仕組みといいました。



霊的な経緯のプログラムから見ると、現在は日本の立替え・立直しの時期に当たります。

日本が新たな立替え・立直しを行うことで、世界の立替え・立直しにつながるのです。

私たちは、「一人では何もできない」と思ったり、困難な状況に見舞われると不安や怖れなどのマ

イナスの感情に浸りがちです。しかし、始に述べたように日本列島を強い生命力を持った大きな龍だと考えてみればどうでしょう？

私たちは一人ひとりが、龍体の一枚の鱗であり、細胞です。そう考えれば、「自分もこの素晴らしい日本国の一員なのだ」という自覚と希望が湧いてきます。

宇宙の中心(COU)との一体化

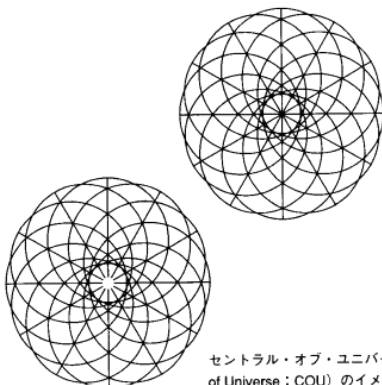
私は自分で開発した「オーロラX36」をサポーター役として、宇宙の中心に意識をチューニングしていきました。人間は神の分霊である以上、宇宙創造の神は必ず自分の魂の奥底に存在しています。その意味で、宇宙神との一体化はインナートリップともいえるでしょう。

私は何度かそれをくり返しているうちに、意識(エネルギー体)が猛烈なスピードで宇宙の中心に向けて進んでいくのがわかりました。宇宙の中心に近づくと、黄金の光の中に、緑色、赤色、薄い虹色が放射状に見え、とりわけ緑色や赤色の小さな球が私の方に向かって流れ飛んでくるようでした。

その周囲は黄金色で、流れ飛んでくる光からは、嬉しさや喜び、愛を感じました。

そして、さらにその光源の元(中心点)の奥に進んで行くと、そこには無限大のような純白の世界が広がっていました。そこには光も何もなく、ただただ透明に近い純白の無限大の世界で「無」や「空」という表現で現すしかない、とても不思議な世界です。

イラスト説明「COUのイメージ」(イラストはその時のイメージです)



セントラル・オブ・ユニバース (Central of Universe : COU) のイメージ。

これが王仁三郎のいうスの神の次元……。

私は、この宇宙神の懐(中心)を「センター・オブ・ユニバース(Center of Universe: COU)」と呼ぶことにしました。

このCOUとの一体化を経験した直後、私の身体に奇跡が起きた。全身のひどい皮膚病が嘘のように改善し、日ごとに元の状態に戻りだしたのです。

宇宙神と一体化すれば魂の岩戸は開く

宇宙神、内なる神と一体化する体験を通して私は一つの確信を得ました。それは、松果体を発光させて宇宙神と一体化することができれば誰でも魂の岩戸が開く、すなわち意識が覚醒し、宇宙(神)意識に至れるという確信です。これが王仁三郎のいった「一厘の仕組み」ではないでしょうか。

すなわち、「一厘の仕組み」とは、最も困難状況に置かれた状況の中で、一人でも多くの人が神と一体化し、覚醒した意識によって新たなみろくの世(水瓶座時代)を開いてそして、人びとの覚醒のスイ

ッチをオンにするための、最後に最大の試練が惑星X(ニビル)の到来である。なぜなら、困難な状況の中でこそ覚醒のスイッチがオンになり、そこで各自が神と一体化できれば、宗教不要の世界平和や愛善に基づく理想社会を築くことができるからです。

意識の覚醒とは、魂のふるさである無条件の愛、すなわち神意識に立ち還ることです。大いなる光への帰還といってもいいかもしれません。

宇宙神、内なる神と一体化した状態は無量大の純白です。

高波動のテラヘルツ波を放射する石がやってきた

ひとが鉱石を選ぶように、鉱石も人間を選んでくれるようです。

私の場合も、とくに神との一体化を経験した2010年の終わり頃からそのような鉱石たちが立て続けに集まってくるようになりました。そんな中、驚くべきことが判明しました。それらの鉱石から、「生命そのもの」といわれる特殊な生命光線が放射されていることがわかったのです。

それは「テラヘルツ波」と呼ば

れる放射線です。テラヘルツ波とは、光と電波の境界領域(両方の性質を持つている)にある電磁波で、周波数が10の12乗ヘルツ(1テラヘルツ)という領域にあることに由来します。これは1秒間に1兆回振動する高周波数です。

テラヘルツ波は、情報通信・生命・医療・安全・健康・産業・環境・宇宙・科学など幅広い分野での展開が期待され、次世代のキーテクノロジとして熱い注目を浴びています。

また、テラヘルツ波は人体からも放射されていて、最も多いのは子どもで、ヒーラーなども高い数値を示していることから、癒しや蘇生効果があると考えられます。要するに、テラヘルツ波は生命エネルギーそのものともいえ、非常に高い波動を持っているのです。このテラヘルツ波に関する研究は世界でも日本が一番進んでいます。

みろくの世の岩戸開きは一人ひとりに委ねられている

世界中の予言が、とくに日月神示や、大本系の予言は警告を発し、注意を促しています。

「私一人くらいがさぼってもいいじゃないの……」という人がいるかもしれませんが。しかし、そんなことはありません。すべての存在はつながっている以上、一人の意識は全体に影響を及ぼし、全体は一人に影響を与えているのです。

極論に聞こえるかもしれませんが、一人の人間が怒りや憎しみの感情を抱いていると、地球全体に苦痛を与えてしまうことになるのです。その意味で、地球が混沌としているのは、私たち人間の責任です。であるならば、一人ひとりが悪想念を出さないように改心し、神の分霊としての意識を目覚めさせる必要があります。

混沌する世の中であって、高い波動、精妙な心を維持するのは容易なことではないかもしれません。しかしだからこそ、意識の覚醒が求められているのであって、「人生は修行」といわれるのです。

肩に力を入れすぎないで、慌てず、そして内省しながら内なる神と対話しましょう。あなたと宇宙の光が融合して霊止(ヒト)となり、無限の力を発揮する。そう、王仁三郎も断言しています。「すべての宗教の根源は一つの

神であり、万教は同根である」、であるがゆえに、「神とともに生き、働き、楽しむ愛善世界の実現は人類の使命である」。

愛善とは、すべてを生かしている主神(宇宙神)の愛であり、我よし(エゴイズム)を去り、強いもの勝ちを改める調和の心であり、人びとがこのようなきれいな身魂で生きる世界が「みろくの世」です。

それが、来るべき惑星X(ニビル)の接近による被害を少しでも軽くすることにつながると思いますが。

神の分霊としての自覚が持てない人は、「良心」と置き換えてみてはいかがでしょうか。良心を発動させることが本当の自分を生きることに、すなわち魂の岩戸開きです。

みろくの世の扉を開くことができるかどうか、それはあなた自身に委ねられています。

☆ ☆

出口王仁三郎氏にまつわる話から現在の問題、これからの進め方それは各目の魂(良心)の岩戸開きであることを聞かせて頂いた。

近々「コスモドラゴンの大降臨」

の著書もだされるとのことで期待しています。

当日の参加者は会員19名、非会員52名、合計71名でした。今回のカセットテープは2000円、御注文は事務局(0797・22・6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三百六十七回関西日本サイ科学会研究集会報告

水のはなし 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど

講師 久保田 昌治氏

とき 平成24年4月21日(土)
ところ 大阪科学技術センター

久保田氏は1936年生。新潟県出身。理学博士。東北大学理学部卒、1962年同大学院理学研究科修士課程修了。東北大学助手、静岡大学工学部講師、日立研

究所主任研究員。(財)造水促進センター国の水関連プロジェクトなど。

著書「水のはなし」、「水の再発見」、「水の百科事典」編集・執筆(丸善)、「浄水器・天然水の選び方」、「これでわかる水の基礎知識」、「よみがえる水の不思議」ほか多数

水は水分子同士がばらばらならば、マイナス80度で沸騰するはずだが、実際にはクラスター(塊)を作っているので沸騰温度は100度である。クラスターの大きさは活性水、機能水に関係し、冷水よりお湯の方が汚れが落ちやすい。

今回は久保田氏の主な研究テーマである水の活性化と活性化メカニズムの解明、活性水・機能水の評価と評価法及び利用法の開発などについてお聞きした。

水の分類

海水↓河川水(または地下水)↓
工業用水(水道水または地下水)
↓飲料水↓純水↓超純水↓超々純水↓理論純水

活性水・機能水

活性水や機能水とは主として物

理化学的な方法で水を処理することにより、たとえば優れた殺菌力とか、洗浄能とか、成長促進作用その他の活性や機能を付与した水、またはこの種の高い活性や機能をもった水を総称した意味で用いられている。しかし、厳密には機能のない水はないと考えられることから、このような水を表現するには、活性水のほうがより適しているのではないかと思われる。ただし、現状ではほぼ同義語として用いられている。一般に、活性水にしろ機能水にしろ、元はふつうの水であり、時間の経過とともにまた元の水に戻る性質がある。

1. 電気処理法
2. 磁気処理法
3. 電磁波処理法
4. 金属処理法
5. 機械処理法
6. 音波・超音波処理法
7. ガス溶解法
8. 脱気法
9. ミネラル添加法
10. 大然石・セラミックス処理法
11. 情報転写法
12. その他

水の活性化・機能化とは常温で熱エネルギーでは起こり得ない水の変化や水が関わる反応を熱エネルギー以外のエネルギーを利用して起こすことであり、それにより生成・獲得した各種の活性や機能を持った水を活性水・機能水という。



活性水の用途

分類と用途

●農業 ①発芽と成長促進②冷害干ばつなどの耐候性の増大③農産物の味覚、品質改善④収穫⑤鮮度保持⑥農薬の使用量低減

●水産業 ①養殖漁業の歩留まり向上②病気の解消と肉質改善③成長促進④鮮度保持

●酪農、養豚、養鶏業 ①乳牛の病気の解消、健康保持②品質改善と搾乳量の増加③病気の解消と肉質の改善④鮮度保持⑤成長促進

●食品産業 ①加工食品の味と品質の改善②醸造発酵期間の短縮と品質改善③生鮮食品の鮮度保持

●一般産業 ①洗浄効果増大による洗剤使用量の低減②ボイラー、熱交換器、温水器のスケール防止

③フロン、エタンの代替
●半導体産業 ①ウエハー洗浄②RCA洗浄の代替

●医療産業 ①止血剤②創傷治療剤③殺菌・消毒剤④生活習慣病の予防と治療

●健康産業 ①体力増進②免疫力向上
●化粧品産業 ①化粧水②化粧品製造用水

●水処理 ①殺菌効果による殺菌剤使用量の低減②家庭排水、産業排水の浄化作用促進③ビル、マンションの給水管のスケール防止や赤水防止④水道水のカビ、藻等による臭気の除去⑤プール水の殺菌処理と浄化、水質改善

●その他 ①家庭やオフィスの洗剤代替②洗車

アルカリイオン水の特徴

1. 医療効果：消化不良、胃酸過多、慢性下痢、胃腸内異常発酵に効果がある。

2. アルカリイオン水の性質・特徴

①豊潤作用 材料を柔らかくし、水分や味がよく浸透する。

②溶解力 材料の持ち味(味、香り)を引き出す。

③熱伝導 熱伝導がよいので調理時間の短縮になる。

酸性イオン水の特徴

1. 美容効果：アストリンゼントとして、美容・美顔効果がある。

2. 酸性イオン水の性質・特徴

①収斂作用 素材を引き締める働き。(でんぷんなどの凝固時間に影響)

②洗浄力 生鮮食品や台所の洗浄などに利用。

③殺菌作用 フキンやまな板の漂白、殺菌に利用。

水利用の歴史

第一段階 生命維持のための飲み

水：料理用の水など↓水そのままでの利用

第二段階 農業用など食料生産用の水↓水そのままの利用

第三段階 18世紀後半から始まった産業革命以降の工業用の水↓水の相変化の利用が中心

第四段階 20世紀後半から始まった半導体製造工程の洗浄用などに多用されている高純度水↓水中の溶解成分や分散成分や脱塩や脱ガスが中心

第五段階 活性水・機能水など化学薬品の働きをする水↓主として熱エネルギー以外のエネルギーの利用による水の活性化処理

第六段階 今世紀に期待される水素エネルギー源としての水↓水から低コストで水素を取り出す技術および酸素と水素の混合ガスの安定保存技術

水がクラスター構造をとっていると考えられる根拠

1. 水の18という分子量から推測される融点・沸点に比べ、実際の融点・沸点が非常に高い。

2. 赤外吸収スペクトルがブロードである。

3. HプラスイオンとOHマイナスイオンのモル伝導率が他のイオンに比べはるかに大きい。

4. 融解熱に比べ蒸発熱の方がはるかに大きい。
5. マススペクトルの測定結果から沢山のクラスターが検出されている。
6. コンピューターシミュレーションの結果から。
7. その他

水素水と放射能・放射能と水素水

我々が放射線を恐れるのは放射線、特に一番関わりのあるγ線を浴びると体内の水がγ線により分解し強力な活性酸素であるヒドロキシラジカル(OH)を生成し、このヒドロキシラジカルの酸化力により正常細胞が酸化されたり、遺伝子が酸化されたりするとがん発生の原因になったりする。

2007年東京医科大学の太田成男教授により水素がヒドロキシラジカルを直接たたき安定な水にしてくれることが明らかにになり一躍水素が注目されるようになった。

したがって水素水の飲用は放射能の影響を減らすという点で意味のあることであると考えられる。

水研究の必要性と重要性

1. 新しい水の概念に立てば水は正にこれからである。新しい水の概念で重要なことの一つは水の構造とその変化である。
2. 水の研究を進めていけば今良く分らないことがかなりはつきりしてくる

例えば

- イ. 桜はどうして春に咲くのか？
- ロ. がん細胞は42℃でまいてしまうという。何故か？
- ハ. 心配事があるとどうして食欲がなくなるのか？
- ニ. ストレスが活性酸素の大きな発生源の一つであると言われているがどうしてか？ そのメカニズムは全く説明されないで平気で使われている。
- ホ. 生きていれば容易に腐敗はしない。しかしどうして死と同時に腐敗が始まるのか？
- ヘ. 記憶には脳内の水が関わっているという。さらに我々の意識までもが・・・
- ト. キセノン(Xe)は不活性ガスであり他のものとは反応しない。それにも関わらず笑気ガス(N₂O)と同様な麻酔効果があるという。これまで麻酔剤の作用メカニズムは

脳内の情報伝達物質に作用して麻酔効果をもたらしている

と説明されて来ている。しかしXeの場合はこのような考えでは全く説明出来ない。Xeが脳内の水の構造を変えた結果の効果と考えると無理なく説明できる。

チ. 今話題のテラヘルツ波と水、そして人体との関わりが明らかになる。

リ. 草食動物はかなりの速さで草を食べている。しかし毒草は瞬時に選り分けていると考えられる。そのセンサーは何か？ この能力は親から教わったものでも、また以前に自分で毒草を食べてひどい目に遇い学んだものでもないと思われる。

ヌ. 気功師は手かざしで瞬時に患者の痛みを取ったりする。これは気功師の手から出たある種のエネルギー(気エネルギーなど)が痛み箇所の水に作用した結果ではないかと思われる。

ル. 今の科学では完全に否定されることであるが水研究が進むと水を直接燃料とした経済的な発電機や熱機関などが出てくる可能性が予想される。

☆ ☆

水がクラスターを作っていないければ融点はマイナス100度となるというのは全く意外であったが、メタンと比較すればそのとおりである。このあたりに水の不思議さがあつたこと、そしてこれからも水研究の必要性が大きいことを改めて感じた。

当日の参加者は会員13名、非会員6名、合計19名でした。今回のカセットテープは2000円、御注文は事務局(0797・22・6425)まで

今後の予定

7月21日(土)

重川風天氏「誰でもが幸せになるプラチナの風が吹く」

9月15日(土)

藤川緑氏「真実さえ広まれば世界は今にでも理想郷にできる

―代替医療の現場から―」

※8月はお休みします。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

故 関英男先生のサイ関係(+ α)の主要な御著書(在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法(1990:加速学園出版部)	2100円	(310円)
加速学習法(1995:加速学園出版部)	2550円	(210円)
サイ科学の全貌(1991:工作舎)	1995円	(210円)
グラビトニックス(2000:加速学園出版部)	1000円	(160円)
念波(1990:加速学園出版部)	800円	(160円)
CD:生命と宇宙[講演録72分](1998:船井メディア)	3000円	(160円)
電気磁気学[加速教育用](1983:加速学園出版部)	1340円	(160円)
謎のオズマ計画 - UFOとの関連 - (1976:USL)	190円	(120円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD(1974:英語版)	1000円	(160円)

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記(上)(1991:加速学園出版部)	2500円	(210円)
深宇宙探訪記(中)(1992:加速学園出版部)	1800円	(210円)
深宇宙探訪記(下)(1992:加速学園出版部)	2200円	(210円)
VHSビデオ:オスカー・マゴッチ氏の講演(2h40m)	3000円	(300円)
VHSビデオ:ティモシー・ワイリー氏の講演(2h45m)	3000円	(300円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記のE-mail、またはFAX宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から2週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記のE-mailまたはFAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

しが問題であり、制御はあまり検討されていなかった様に思う。他方、広い世界を見渡し、古来から現在までの永い伝承を踏まえて考察するとピラミッド、水晶、コイル、磁石、木炭等がサイ（気）制御に共通した重要部品（装置の部分）であると判断出来る。しかし、これは科学的な実験に基づいている訳ではなく、特種能力者の「カンとヒラメキ」に依るものであるが、広く、永い間にわたって、実用化の為に使用されてきたという実績がある。

(1) 無誘導コイル、ゼロ磁場

無誘導コイルは、ゼロ磁場を造り、スカラ波を発生させることが出来る。2本の絶縁銅線を密着・併置して、たがいに逆方向になる様に交流電流をながすと、誘導磁気は(+) (-) が互いに打ち消し合ってゼロになり、ゼロ磁場が出来る。無誘導コイルがセンサー水、植物（小麦、稲、小松菜）、魚、受精卵（鶏卵）、幼雛、魚、さらに気功師との比較実験、の影響を調べる為に、日本と中国の共同実験が実施された。中国政府所属の人体科学研究院（理事長、張震寰）と、(社)日本科学技術振興協会の「サイエネルギー応用実用化委員会（委員長、佐々木茂美）」が担当する事になった。実験場所は北京の首都師範大学内の実験室。期間は1994年～2004年。

得られた結論の主なものとして、(a) ゼロ磁場には生命の成長を促進する作用(+の気)と、成長を遅延させる作用(-の気)のエネルギーが、統計的な有意性を保ちながら、集積される様子である。(b) 無誘導コイルに通電する時の電流波形、大きさ、周期、オフセット等により、多彩な気が得られる。(c) 気の測定には電気伝導率変化を介する方法が有望である。(d) 装置の設置場所により、効果に差がでる様子である。(e) 実験者効果が存在する様子である（実験者により2～3倍の差がある）。(f) 気は、アンバランスの状態をバランスさせる方向に進行させている、等。

(2) ピラミッド、水晶

エジプトのナイル川沿いのギザの赤茶けた砂台地の上にそびえ立つ「クフ王の墓」と言われる大ピラミッドは、古来から、深い謎に包まれている。約4500年前に構築されたが、その建造の目的が明白では無い。宇宙エネルギーの集積マシンではないだろうか、と言う仮説がある。しかし確実なレポートは無い様子である。そこで、筆者らは、小型模型を造り、自らテストする事にした。公示に従って正確に寸法を定め、アルミパイプで組み立て、斜面の板は付けずに、小型のピラミッドを造り、その頂上に単結晶水晶1個を置き、高さ1/3の位置に、小松菜の種（シャレ内）を置き、底面の一辺を真北（北極星）に合わせ、住宅の一室を実験室にして、比較の為のコントロールを置いて、発芽・生長テストを実施した（1989年）。

結果として、(a) ピラミッド模型内にも、植物の成長を促進させる機能があると考えられる。(b) グリーンエネルギー（1975、ヒルズの説）の位置に、最大の成長促進作用がある。(c) パイレイ部（ヒルズ説）にも促進効果はあるが、大きさは(b)の場合よりも小である。(c) 経過日数の増加につれて効果は増大するが、6～7日程度でほぼ飽和する。

(3) 外気制御装置の応用

無誘導コイルに加えて水晶や磁石を組み合わせて、ドーナツ型磁石の上に置いて、人工外気制御装置を造り、テストした。結果として、無誘導コイル単体の場合よりも、より大きな効果のある結果が得られた（2003、佐々木、苗：Subtle Energy and Energy Medecin, 7-11、pp1-71）。以上、気場やゼロ場に外気が集積し、零点を介して、意識と物質（エネルギー）が相互に作用することがほぼ確かめられた。今後は、人工外気制御装置の無誘導コイルに交流を導入した場合の生体に及ぼす影響などの調査をして、有効性を確かめた後、この種の計画を地球上に応用して、実用化に耐えられる人工外気集積装置を構築し、多くの人達に利用して貰う事が望まれている。

変革を目指すものであるといわれている(以上、1990、パイレイ誌等参照、山田孝男)。

(6) 1939年、ドイツ生まれの心理学者ライヒは、顕微鏡観察により、シャーレ内にオルゴン(コズミック)並びにエネルギー放射を発見した。オルゴン放射は性に関係しており、この世はオルゴン放射に満ちている、という。応用・実用品として、金属と有機物の板を重ねて造るオルゴン箱(オルゴンの集積)、パイプ等を組み合わせて造るクラウドバースター(天候支配機)などを発明し、病気治療などに使用した。その他。

3) 念力(PK)の発生と伝播

意識(人体)と体外にある物質の間で、直接に、相互作用が生じたと判断される現象を念力(PK)と言う。つまり、サイ(気)を介して、心と物が相互に作用しあう現象が念力(PK)である。筆者らのメタル・ベンディングの実験から、念力(PK)の発生・生起条件が発見された。この条件が、応用・実用化の基礎として、役立つことになる。ここでは、一般化して平易に説明する。

ある現象(変化)を徐々に進めてゆくと、遂には、今までとは別の変化・現象が生起する(現れる)ことになる。この生起点(変曲点、不安定点)は、念力(PK)現象が発生しやすい状態である事が判った。そこに、同事に、零意識(変性意識状態)下で、「気」を断続的に放射する。すると、PKが生起してくる。これは、二つの要素をぶつけて、その尖端に相殺零をつくり、この零を次第に積み重ねて不安定状態とし、そこに「気」を重ねた事を意味している。つまりエネルギー一定条件でPKが発生する事がわかった。なお検討によると、生起点は複雑系科学のカオス開始点(乱流の分岐点)にはほぼ一致しており、PKの進行・伝播は、カオス・アトラクタ(混沌、軌跡)の進行・伝播と密接に関係していることが分かった。

4) 気場(パワースポット)との交流

応用・実用化を支えるものに気場に潜在し

ているエネルギーがある。つまり、気場で実験すると、未知現象が起こりやすくなる事が判ってきた。元気や癒しが得られる気場(パワースポット)には、サイ(気)のエネルギーが潜在していると判断出来る。気場において、人工気場と意識の相互作用を確かめる為に、伊那市・長谷の入野谷の瞑想室でCCI社製のBACSを用いて実験・調査した。瞑想室には、人工外気集積用にセットされた水晶、無誘導コイル、磁石が、瞑想室内の天井のピラミッドの頂点に設置してある。ただし、現在のところ、太陽電池から送られてくる直流を無誘導コイルに導入しているの、スカラー波は発生していない。しかし、ゼロ磁場は存在する構造になっている。

生体測定用のBACSとは、伝統医学(漢方)が実施している感覚・触覚としての脈診を、指尖部の脈波で代行し、赤外線センサーを用いて定量的に脈診を行い、体内の気をカオス解析するもので、生体系の活性度チェック、カオス解析計のことである(苗鉄軍、開発)。観測結果によると、「物質側(人工気場)」に潜在するサイ(気)の作用を受けて、生体「意識側」の毛細血管の弾力性は減少して硬化し、同時に、カオスアトラクタはパワーを増して拡大し、カオス・アトラクタのパターンが変化(今までとは別種になる)させられる。この時、フラクタル次元D2は1.50から1.12の範囲内で減少している。D2はカオスアトラクタに関与する変数の意味をもっている。つまり、気場の影響により、体内の気血の流動(気の流れ)状況が変化している。これらが進行して、遂には、意識と気場との間でサイ情報(気)の交換が行われるのであろう、と推定出来る。

5) 人工外気制御装置

サイ(気)は、濃さの相違はあるが、地球上のあらゆる所に存在していて、様々な条件に従って、流動している、と考える。応用・実用化の為には、サイ(気)の制御をどの様な方法で行うかが、問われている。従来のサイ(気)の研究は、念力現象(PK、未知現象)の有り無



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ(気)の応用と実用化

佐々木 茂美

1) はしがき

「物の科学」と「心の信仰」を結びつけるのは、「サイ(気)」であり、サイ(気)を研究するのがサイ科学の役割であり、義務でもある、と考えている。残念ながら、現在のところ、サイ(気)の実体が不明なので、研究は遅々として進まない。しかしサイ(気)の測定は、様々な立場から進められており(前号参照)、その性質もある程度は判ってきたので、並行して、是非取り組まなければならないのは、サイ(気)の制御と応用・実用化である。

この種の問題については、従来は、伝統医学(漢方医)による脈診や、未知を占う易経師や風水師(特殊能力者)等による「カンやヒラメキ」に頼る場合が多かった様に思う。本稿では、科学的・定量的に実施する場合について検討することにした。

2) 欧米等で開発された機器類

特種能力者並びに発明者等の「カンとヒラメキ」を基にして、多数の機器が開発され、使用されている。例えば、(1) マルチウェーブオシレーター(多波振動子)。1930年代にラコフスキーによって発明されたもので、テスラコイル等を用いて、宇宙からやって来る振動エネルギー等を取り込み、健康や治療に役立てる。(2) ラジオニクス。米国、エイブラムスの発明

で、電気回路等を使用して、物質が発する波動に影響を与える事により、治療効果や農作物の生長、害虫駆除につかう。(3) グリットアンテナ。米国内で、アンテナ、コイル、磁石などを用いて、地球表面をとりまくエネルギーグリッドを取り込み、食物増産などに役立てる為に用いている。その他(以上、1996、多胡啓彦、(社)気エネルギー実用化委員会、資料(7)、pp27-43)。

1960年代後半から1980年代にわたって、主に米国では、ベトナム戦争に関連したニューエイジ(サイエンス)運動が活発になり、東洋の神秘主義に関心を持つ若者が増え、各種の、(4) マインドマシン(心の機器)、が製作された。例えば、バイオフィードバック器具、フローテングタンク、頭部電気刺激装置(CES)、視覚聴覚シンクロナイザー、バイブラサウンド等がある。

日本では、スカラー波やゼロ点エネルギーを用いた(5) クリスタルセブン(CR7) やスターコイル等が山田孝男らによって開発され、製作された。CR7について筆者らがテストした(1989、佐々木ら)ところ、右巻き絶縁コイルで伝達されてきたサイ(気)を、左巻き絶縁コイルで受けて流すと、陰の性質が陽の性質に変わる、等の効果のあることが確かめられた。これらは心身の深いリラクゼーションを介して、意識の



サイジャーナル

月刊
24・9・10
第405号

日本サイ科学会 平成24年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 <small>〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号</small> 佐佐木 康 二 <small>☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097</small>	中 部 <small>〒503-0981 大垣市松町1290</small> 山 田 哲 三 <small>☎ FAX 0584 (91) 1192</small>	北 陸 <small>〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内</small> 佐 藤 禎 花 <small>☎ 076 (234) 6634</small>	関 西 <small>〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39</small> 木 村 のり子 <small>☎ FAX 0797 (22) 6425</small>	九 州 <small>〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7</small> 金 子 輝 夫
---	---	--	--	---

九月本部例会のお知らせ

未曾有の天災・人災を目的
当たりにして、サイ科学は
何ができるのか!?

講師 ホンマ シュウジ氏
(株式会社ビジョンプラス
エグゼクティブ・プロデューサー)

◎ゲスト講演
井戸 理恵子氏
(多摩美術大学講師・民俗情報工
学研究)

昨年の東日本大震災の発生によ
り、これまで想定していなかった
規模の大地震、津波が実は、頻
繁に日本列島を襲っていた歴史が
あったことが明らかになりました。
地震学者がこれまで黙殺してい
た歴史的記述や口伝の重要性が再
認識されることとなりました。被
災の中心地・石巻市出身の筆者は、
今回、奈良時代から貞観期、鎌倉
時代初頭にかけて、石巻を中心と
した歴史的出来事と大災害の因果
関係に着目して調査を行ったこと
ろ、数多くの神社仏閣が大震災と

の関連において創建されたとい
う事実には遭遇しました。

神仏のルーツや地域信仰をつな
ぎ合わせることに、日本人と
自然災害との関係を考察します。

※中国や日本における超能力者や
超能力少年少女達の取材、検証番
組を沢山制作してこられたホンマ
氏が、今回の東日本大震災に際し
て、出身の地震・津波被災地の地
道な取材と調査をされた内容を、
被災地の映像も含めていろいろな
観点から問題意識をもって、お話
をされます。

ゲストの井戸氏もそれらに対し
て研究者・能力者の観点から、貴
重なお話が聞ける希な機会ですの
で、会員の皆様はご友人・知人を
お誘いして是非ご参加ください。

●ホンマシュウジ氏のプロフィール
宮城県石巻市生まれ。CMブラ
ンナー、CMディレクター、番組
ディレクター、番組プロデューサ
ーを経て、現在マルチメディアプ
ロデューサー。自然ドキュメンタ
リー、歴史の謎・人間の不思議な
潜在能力の謎をテーマにしてノン
フィクションシリーズ作品など数

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 関西サイ科学会九月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会十月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ★ 第22回全国大会のお知らせ
- ◎ 十一月本部例会予告
- ◎ 関西サイ科学会十一月例会予告
- ◎ 第16回宇宙生命研究分科会報告
- ◎ 四月本部例会報告
- ◎ 六月通常総会報告
- ◎ 第三六八回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会秋の大会
- ◎ オープは参加を求めている

平成24年度の会費未納者へのお願

平成24年度も半期が過ぎました
が、年会費がまだ未納の会員の方
がいらつしやいます。
日本サイ科学会は会員の皆様の
会費によって活動が支えられてお
りますので、未納の方は是非お納
め戴きますよう、よろしくお願
い致します。既納か未納か分からな
い方は、事務局にメールかFAX
でお尋ね下さい。

多く手がける。現在、日中韓共同制作による「大型ドラマ」企画と「東アジア・情報バラエティー」の準備に奔走中。

主な作品：TBS「ギミアぶれいく」「プレゼンター」未知能力シリーズ、「アニメ・ムンディ」、「世界謎紀行・神々のいたずら」シリーズ、「自然ドキュメンタリー・神々の詩」シリーズ、TBS 50周年SP「地雷ZERO 21世紀最初の祈り」、「Mrマリック・超魔術の逆襲シリーズ」、NHK・BSスペシャル「バチカン外交〜ヨハネ・パウロ2世と冷戦後の世界」、日テレ「スーパーテレビ情報最前線」(サイババほか)、「木曜スペシャル・Mrマリック・超魔術」、BS11「第2ニッポン国・独立宣言」ほか
著作：「未知能力ーあなたの知らない不思議世界」(青春出版)、「カメラがとらえた人間の不思議な力99の謎」(二見書房)、「ワールドミステリー・ツアー・アジア編・中国怪奇譚」(角川書店)
日本サイ科学会理事・日本人科学会学術会員

日時 平成24年9月8日(土)
午後1時半〜5時

会場 北とぴあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

御寄付御礼
(7/6受領分まで)

金五千六百元也 中島 敏樹 様

関西日本サイ科学会
九月例会のお知らせ

真実さえ広まれば世界は今にでも理想郷にできる
ー代替医療の現場からー
ー科学からみた地球空洞説ー

講師 藤枝 縁氏

日時 平成24年9月15日(土)

午後1時半〜5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内
会費 会員 二千元 一般 三千元
学生 一千元

関西日本サイ科学会
十月例会のお知らせ

神様はいるぞ!

講師 池田 邦吉氏

日時 平成24年10月20日(土)
午後1時半〜5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内
会費 会員 二千元 一般 三千元
学生 一千元

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員二名の研究・体験発表

日時 平成24年9月15日(土)
午後1時半〜5時
会場 つるまい会館2F
名古屋千種区吹上1・1・3
052・744・3884

交通 JR中央線鶴舞駅、または地下鉄鶴舞駅下車、名大病院北イオン千種店前
会費 無料
※会員以外の方の参加も大歓迎

◎事務局からのお知らせと
お願い

☆本部例会や大会等での運営ボランティア募集
受付での資料配付、講演者スライド発表時の電灯操作、コンピュータ操作などのお手伝いをしたいだけませんか。当日の参加費が無料になります。

●左記にご連絡願います。
office21@psi.mail-box.ne.jp

★日本サイ科学会 第22回全国大会プログラム★

(日時) 2012年10月14日(日) 10:00~16:50

(会場) 北とぴあ7階第1研修室

(交通) J R 京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

プログラム(敬称略)

- 9:30 開場
- 10:00~10:10 開会のご挨拶 小林 信正 大会委員長
- ◎会員の研究発表(6名)(20分発表5分質疑応答/1人)
- 10:10~10:35 瀬尾 泰範 「工学的見地からみたPK, ESP, 悟りの構造」
- 10:35~11:00 阿久津 淳 「ラップ音:異次元との遭遇」
- 11:00~11:25 ロン 薄葉 「オーブ現象と意識の変容」
- 11:25~11:50 小林 信正 「オーブはコンタクトを求めている」
- 11:50~13:00 昼休み
- 13:00~13:25 橋本 和哉 「気当て診断法(リーディング法)を生活に活かす」
- 13:25~13:50 佐々木 茂美 「意識とオーブ(ORB)のコンタクト」
- 13:50~14:00 休憩
- 14:00~16:40 シンポジウム テーマ「コンタクト」
大会シンポジウム委員長
小林 信正(JMC[ジャパン メディアクリエイティブ]代表、日本サイ科学会理事)
- パネリスト
稲垣 勝己(催眠療法士 メンタルヘルス研究室)
佐々木 茂美(電気通信大学名誉教授、工学博士、日本サイ科学会会長)
竹本 良(UFO・科学問題研究家、日本サイ科学会理事)
橋本 和哉(医師、医学博士、日本総合ヨガ普及協会顧問)
苗 鉄軍(カオス研究員、工学博士、日本サイ科学会理事)
- 14:00~15:00 特別講演 稲垣 勝己「過去世誘導 催眠状態中に可能な霊的存在(低級霊、高級霊を含めて)とのコンタクト」
- 15:00~15:10 休憩
- 15:10~16:00 パネラー5名の発表(1人10分)
- 16:00~16:40 パネル・ディスカッション パネラー+会場参加者
- 16:40~16:45 優秀研究賞 表彰式 佐々木 茂美 会長
- 16:45~16:50 閉会のご挨拶 小林信正 大会委員長
- 17:30~19:30 懇親会(希望者:当日受け)

日本サイ科学会 第22回全国大会
シンポジウム テーマ『コンタクト』開催にあたって
大会委員長 小林 信正

人類は太古の昔から未知なる世界へさまざまなコンタクトを求め、その夢を開いてきました。自然を支配しようと飽くなき挑戦をして、そこから宗教や哲学が生まれ、万物の根源の探求から「アトム（原子）」に到達し、科学が発達し、「文明」が発展し、今日に至っています。

そのエネルギーの原動力になるのは、未知なる世界を知りたいという知の欲求であり、好奇心だろうと思います。

最近の話題では、日本の小惑星探査機「はやぶさ」は「小惑星イトカワ」とコンタクトして微粒子が入ったカプセルを持ち帰り、夢や希望を与えてくれました。またNASAの探査機「キュリオシティ」は火星に着陸に成功し、オバマ大統領は「もし、火星人とコンタクトできたら、すぐに知らせる」と冗談を飛ばし、私たちに大いなる想像力と期待をかき立ててくれました。

さらに“神の粒子”と呼ばれ、物の重さを与え、質量の起源といわれる「ヒッグス粒子」とみられる新粒子にコンタクトし、この大発見は宇宙の謎を解く鍵とされています。私たちの目に見える星などの物質は宇宙の4%しかなく、その他ほとんどは目に見えない未知の領域だといわれています。これらの世紀の大発見、大発明と迄はいかないまでも、人知を超えた未知の領域の研究はまだまだ多くあることでしょう。

今回の大会のテーマは、夢や想像力をかき立てる未知との『コンタクト』がテーマです。

たとえば、地球外知的生命体、UFOなどの地球外世界との『コンタクト』から、目に見えない高次のサムシンググレート、霊界、霊魂、前世、オーブ、チャネリング、奇現象など内なる精神世界との『コンタクト』まで、マイクロコスモスからマクロコスモスまで未知のあらゆるサイ現象について、興味津々たる研究発表を大いに期待しています。

◎特別講演者：稲垣勝巳先生のご紹介

テーマは「過去世誘導 催眠状態中に可能な霊的存在（低級霊、高級霊を含めて）とのコンタクト」です。

●プロフィール：前職は公立中学校教頭であり、学校心理士・日本教育催眠学会理事・同学会研修委員長・同学会認定上級教育催眠指導士を務める心理学系催眠療法実践者です。現在、「稲垣勝巳メンタルヘルス研究室」を主宰し、SAM前世療法を中心とした臨床催眠活動に専念する傍ら、潜在意識下で語られる前世の記憶の検証を通して、生まれ変わり（死後存続）について超心理学の実証的立場から検討と探究を続けています。

著書は『前世療法の探究』春秋社、2006、『生まれ変わりが科学的に証明された！』ナチュラルスピリット社、2010。フジTV「奇跡体験アンビリバボー」により2回、私の前世療法によって遭遇した生まれ変わりの濃厚な証拠事例が二つが紹介されました。

十一月本部例会予告

気(生命エネルギー)の
実在と能力

講師 藤森博明氏

自動車や電車が動くには、ガソリンや電気というエネルギーが必要になります。では、人間や動物が動くには、どのようなエネルギーが必要になるのでしょうか。

これまで人類は、水力の水車、風力の風車、そして石炭の蒸気機関、電気のもーター、ガソリンのエンジンなど沢山のエネルギーを活用する手段を開発してきました。しかし、それらは生命体を動かすエネルギーではありません。いわば無生物を動かすエネルギーの利用法でした。

生物と無生物の最大の違いは、自分の意思で動き出すか否かにあります。さらに、生物は自発的に成長し、子孫を残し、自己修復する機能を備えています。これらの活動を支えるエネルギーは必ず存在します。しかもそれはシンプルなもの。そのエネルギーが、古来

より「気」と呼ばれています。

気は、複雑で発展的な生命体を動かすエネルギー。呼吸や食物から得られます。しかし、動かす対象物が複雑なゆえに説明は遅れています。今、分かるのは気エネルギーの実在と能力の一端。私は、幸いにも修練中に気の間を捉えることができました。今回は、気の感知方法の解説と気の凄まじいパワーの一部をご覧頂ければと思います。

※長年気の修行をして、パワーを発する能力者の実演や道場でのビデオも見られますので、会員の皆様もご友人、知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●藤森博明氏のプロフィール

「合気」という秘技をとらえるために身体の緩め方を工夫していた。そんなある日、腸腰筋の感覚をつかむ。それをもとに、「スカイウォーキング」という歩き方を開発。そのお陰で腰椎や丹田が緩み、念願の「気」をとらえる。以来、気の巡る身体となり、大病などは全くの無縁になる。

練馬区平和台にある「健康道場

ウエルネス気の家」にて気を利用した健康法、衰えない身体創り、スポーツ指導を行う(昭和26年生まれ。品川区出身。都立八潮高↓電気通信大学物理工学科卒)。
著書は「気が分る本」、「気に成る本」(コスモス・ライブラリー)他。

日時 平成24年11月10日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とぴあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

関西日本サイ科学会
十一月例会のお知らせ

農畜水産物の革新への道

講師 白根正志氏

日時 平成24年11月17日(土)

午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千元 一般三千元

学生一千元

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

第16回宇宙生命研究分科会
報告

第16回宇宙生命研究分科会(第6回UFO・オーブシンポジウム)は2012年7月29日(日)10時〜18時、品川健康センターにて開催。今回は秋のシンポジウムのテーマ「コンタクト・異次元との遭遇」に準じ、「コンタクト準備!」というテーマで行いました。

参加者は50名を超え、満員御礼!参加者の投票によって、UFO・オーブ賞は前回と同じクリンエエネルギー研究所の井出治氏に決定! またマージナル賞は「JFKとUFO」の小川謙治氏が受賞!

懇親会は宮内輝幸氏を幹事にして、近くの無国籍料理店「シマ」に30名ほどが集まり、暑気払いを兼ねて、参加者と講師との情報交換を愉しみました。ご協力を頂いた皆さん全てに御礼申し上げます。ありがとうございました！

(世話人 阿久津 淳)

◎講演者 タイトル

阿久津淳(世話人)「未知! いや? 無知との遭遇?」

トニー・中村(TVカメラマン)

「ドゴン族とウチュウジン」

川崎利男(川崎オーブ研究所)「自

動連写で(毎夜120枚)オーブ

の秘密に迫る」

宮本一聖(リサーチャー)「超常現象

調査日記:極秘・番外編」

宮内輝幸(医師)「アパリシヨンの

医学的考察」

小川謙治(TVプロデューサー)

「JFKとUFO」

井出治(クリーンエネルギー研究

所)「クロップサークル」

ロン・薄葉(スピリチュアル・ヒ

ラー)「オーブと異次元」

岩崎士郎(空間エネルギー研究者)

「記号と反重力」

森脇十九男(UFO研究者)「反核

開星統合宣言

高野モナミ(霊能者)「霊とUFOの層状構造」

小澤佳彦(日常現象研究者)

「原発事故とおぼけ」 ほか

四月本部例会報告

オーブ研究その後

講師

川崎利男氏
ロン薄葉氏

(編集部より)

今回はオーブ写真を多数紹介しながらの講演なのですが、オーブ写真は暗い背景に薄明るい光の玉や帯なので、この紙面で掲載するのは解像度的に無理ですので、お話の中のポイントをご報告する形になりますことをご了承願います。

「オーブ観察7年間 その傾向と残された課題」

講師 川崎利男氏

(川崎オーブ研究所)

オーブ研究のきっかけは、知り合いに誘われて埼玉県の和光市にある自衛隊のお祭りに行ったときに、最初にオーブが撮れて、びっくりしました。これが霊魂ということになると、神様の領域に踏み込むことになるので、ちよつと恐いななということ、半年くらい躊躇しておりました。その後オーブの写真を沢山撮ることになります。

これまでのオーブ研究の歩みは、秋のお彼岸で白昼(曇天)のお墓参りの帰り、偶然撮影した中空に出たオーブに肝をつぶしましたが、これは先祖の命令だと思つて、決心してオーブをあちこちで撮ることにしました。

・2006年10月に撮影開始。近所の墓地、靖国神社、交通事故跡でやたら撮影。墓地ではあまりオーブは撮れず、靖国神社は昼間は撮れますが、夜は撮れません。交通事故跡は賑やかな場所、オーブは撮れるのですが、寂しい場所では撮れません。結局、オーブは人々が大勢集まる賑やかな場所がよく撮れることが判りました。

・やがて、家の玄関先の十字路で

定点撮影を行うことに気がつき、撮り始めました。最初はあまり撮れなかったのですが、次第にオーブが撮れるようになり、最近では確実に20枚に1枚は撮れます。

・自治会納涼祭「盆踊り」で多数のオーブを撮影。上空から舞台、平場と上下左右にオーブが充ち満ちました。

・翌年の「盆踊り」でも再現性がありました。多数のオーブが出現したのです。

・そして更に3年目の撮影では、隣の自治会盆踊りで、「恨みのこもった顔」がオーブの中に出現しました。

・自分の家のお墓参りに行ったときに、通路の空間をストロボで撮った1枚にオーブが写りました。白昼にオーブが光って見えるのは、オーブが発光しているのではないかと私は推測します。

・2008年の盆踊りでは夕方の時間帯でも多数のオーブが撮れ、その後暗くなって踊りが佳境に入るほど、オーブの数が増えました。その数は200でもきかないくらいです。

ここで皆さんに紹介したいのは「オーブ謎の超知性体」ミホール・レドウィズ、クラウス・ハイネマン著（五次元文庫）という本です。これはオーブ研究には欠かせない貴重な文献です。

面白いのは神学博士、法学博士であるミホールさんの方が、オーブに関して沢山実験しながら研究しており、実験物理学者のハイネマンさんはヒーラーである奥さんが写真を撮っていて、本人は始めからオーブは精神的な存在として研究しています。

オーブの研究はどういうふうに行うかについて、いろいろ考えてみました。

- ・ 1個のオーブに着目して追跡し、性状等研究する。
- ・ 再現性の少ない物（異常現象）は採り上げない。
- ・ 兎に角、標本・サンプルであるオーブの映像を多数採集する。
- ・ そして、全体の傾向と行動を把握する。これらから内容を推定する。
- ・ 様々な実験条件を設定し、人工的に発生させる。又は呼び込む。
- ・ オーブ現象の研究は「再現性」

にかかっている。

例えば東京駅の八重洲口を出て、50mくらい行った建築中の場所や、隅田川と神田川のおつかる柳橋辺り、有楽町のガード下辺りでも、オーブがよく撮れる。
・ 第三者が追試を出来なければ、「二過現象」になる。



従来の常識から外れた実験結果

例えば江崎玲於奈博士の「トンネルダイオード」の発明など、本来の研究目的からは外れている、異常現象が起こったときに、それに着目することが大きなテーマになったり、突破口になったりすることがあります。オーブも異常現象ですが、再現性がなかったりすると、研究困難なことが多いのです。この焼き肉パーティーの写真で

も、最初はオーブを意識していなかったのですが、写真を数枚撮っている内に近づいてくるオーブが写り始め、次の瞬間鉄板の上にオーブが何千個と集まり、さらに7秒後に撮ったときはオーブはほぼ消えているのです。これは再現性が難しいので、オーブと断言はできません。

今はガラス板を使ったオーブの実験しております。まだ最終的な結論は出ておりません。

「オーブ現象とこれまでの歩み」

講師 ロン薄葉氏
(日本サイ科学会評議員)

オーブの色(光・周波数)の考察をしますと、

・ オーブ自体は、元々が光・周波数によって形成された肉眼では見ることのできない「一種のプラズマ構造体、フォトン形成体」なのではないか？

・ オーブがデジタルカメラに白く写ったり、また色がついているように写し込まれる理由は、オ

ーブの背景にある、様々な光源による反射光の加減によるものである。

・ デジタルカメラのフラッシュ光の光に反応して、オーブ自体が自らの意思表示により発信する未知の周波数ノイズ(オーブ・ノイズ)によって、様々な色、光で発光してくる事実を、これまでの観察から画像分析でも確認することができた。

オーブの未知的現象としての「オーブ・ノイズ現象」について、

・ 先の研究報告では、オーブ現象の発生時において起こる「ラップ音」と「撮影機の画面の揺れブレ画像」(2003年2月、小林信正氏)等の報告がありました。ここで述べます「オーブ・ノイズ」とはオーブ現象の発生時に因果して起こる、オーブ自体が独自に発生します周波数ノイズ(ホワイト・ノイズ)を意味したもので、このオーブ研究において、私が新たに提唱しました造語です。

・ そして新たな見解としまして、「オーブ・ノイズ」の解釈は、オーブ自体が実験者の行為に対し

て、独自に反応し意識的に発信させてきます意識・意志の表明を示すと思われる電磁氣的周波数ノイズで、確固としたオーブ自体の意思表示を表した、未知の意識エネルギーによる発信周波数ノイズです。

私は「オーブは集合意識体だ」という見方をしています。

オーブの一番肝腎なところですが、オーブを構成しているのは粒子なんですね。アメリカのクラウス・ハイネマン博士が「プラズモン」と名前をつけたのですが、一種のプラズマみたいな粒子で、細かくてほしい3〜5ミリの位の大きさです。私はその最小単一の意識体を「分身ブローブ体」と名付けております。「分身ブローブ体」の写真を画像処理すると、周りにきれいな光が出ています。大きさの測定方法は、オーブに「大きさを見るので、脇に来てくれない！」と頼んで、写真を撮り測定します。

こちらの少し大きめの塊は、「分身ブローブ・クラスタ塊」と呼び、単一の「分身ブローブ体」がグループとして集合したものです。「分身ブローブ・クラスタ塊」は

2〜14センチくらいの大きさで、オーブは組織形態をもっていて、統一集合形成体としての大きなオーブ(母体)は、「分身ブローブ・クラスタ塊」が複数連結した形成体である「クラスタ塊」がさらに集合した「オーブ集合意識体」となります。



オーブの概念なんですけど、オーブはオーブ(母体)一つを個として考えた場合、その個をネットワーク化したものが全体であり、その意味合いからの考察では、他のオーブ(母体)群を全体と見なすことができるようです。つまり、オーブ(母体)は、単独で存在するものではなく、ある一定の規模の集団(群れ)を築いて存在していることが示唆されます。その意味合いから、オーブ(母

体)群はグループ化した集合意識体の統一化した組織形成体としての群れと定義できるようです。

特に注目すべき現象は、その場のあらゆる光源や光線および反射スペクトル光に対して、非常に敏感な対応を示し、また、それを自由自在に操る驚愕すべき妙技です。この現象は、また我々人間に対して何かを伝えようとしているオーブ自体からのメッセージとも受け取れるのではないのでしょうか。

私の考えるオーブ(ORB)は、
①時空超越した内容を保有し駆使する能力によって、多次元界(次元的意思階層世界)を行き来する超波動情報エネルギー体、若しくは知的生命体としての存在。
②現世の物理的法則によらず、さらに未知的な情報エネルギー体としての超テクノロジーを包含している地球外知的生命体としての可能性を示唆する存在。
③目に見えない未確認の飛行(浮遊)物体、例えば、新たな見解に基づく生命体的UFO論にもなり得る可能性もある。

④いわゆる、宇宙的な霊魂的意識体としての可能性も高い。

小林信正氏のお話

私は写真のほうの大学を出まして、当時はデジカメがなくて、フィルム写真でしたが、昔の写真を見てもあまりオーブが写っていませんでした。今から30年位前に、ある霊能者から「丸いものがないくつか写っているけど、これが霊体だ」と言われたことがあります。私は「これは科学的に言えば、ゴミか何かだな。」と答えたのですが、それが後に「オーブだったんだ。」というふうになり気付いたわけです。

私が最初に撮影実験した1996年に光の玉が写ったのですが、2007年に「オーブ(ORB)」という言葉初めて知ったわけです。日本では以前から「偽物では無いか、技術的なものではないか」という意見があったので、オーブの研究をしているクラウス・ハイネマン博士と文通をして仲良くなり、日本での講演をお願い致しました。しかし、3・11の東日本大震災で中止になりました。ハイネマン博士は物理学者でありながら、奥さんがヒーラーであったり、ブラジルにいる世界でトップクラスの能力者に大変傾倒して、現地

に家を購入して、行ったり来たりしています。ハイネマン博士には、私のオーブ写真を送って、見解を伺ったりしてしておりますが、だいたい同じような意見です。



オーブは安いデジタルカメラほどよく撮れるようですが、普通のフィルムカメラでもフラッシュをたけば、写ることがあります。

オーブはフラックス・ゲート型磁気検出器で測定して、電磁波を持っていくことが判りました。またオーブは、近赤外線領域で写ることが判りました。

オーブがフラッシュをたいとみに写ることについて考察してみましたところ、エネルギーが低い状態の「基底状態」から、フラッ

シユの光を受けてエネルギーが高い「励起状態」となり、光エネルギーを放出するようです。分子に吸収された光の補色が色彩となつて現れるのです。

オーブの色は神社や聖地では白っぽい色や黄金色のもの（高次元の霊か？）が写り、楽しい場所や聖堂などでは青色系のもの（聖霊や先祖霊か？）が写り、穢れや不浄な土地では、赤色や黒っぽいもの（邪霊や未浄化霊か？）が写ります。

実は以前「鏡視実験」というのをしばらくしておりました。これは亡くなった肉親にどうしても会いたいという人が、鏡に向かってリクライニングの椅子に座つてずつと鏡をみていくと肉親が現れるというものです。その実験のビデオにオーブがゆつくりスーッと現れて、スーッと消えていく瞬間が写っております。体験者の三人に一人くらい感動しますが、そのとき写真を撮るとほぼオーブが撮れますが、そうでない人は撮れないので、やはりオーブは霊的存在だと推測されます。

六月通常総会報告

◎平成23年度本部事業報告

1. 会員の現状（平成24年5月末日現在）

賛助会員	1名
維持会員	5名
正会員	186名
学生会員	24名
準会員	53名
合計	269名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「創立35周年記念大会」を含み、計12回の集会を開催した。

◎本部例会・大会（敬称略）

期日	講演者	講演タイトル
平成23年		
5月14日（土）	赤松 瞳氏	「最新脳科学と透視能力」
6月12日（日）	井出 治氏	「未知エネルギーの研究とチャネリング」
7月18日（月）	古村 豊治氏	「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？」
9月10日（土）	鈴木 俊輔氏	「3・

11 新文明の幕開け」～日本人の使命」

10月9日（日）創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」

11月12日（土）小林 信正氏「心靈現象について」

12月10日（土）忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
平成24年

1月14日（土）ミッツィ 植田氏
「縄文スピリットでサバイバル」

2月11日（土）小林 正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」

◎分科会

●宇宙生命研究分科会（阿久津淳）
2011年

7月31日（土）第13回「第5回 UFO & ORB シンポジウム」

12月21日（水）第14回「第5回アセシジョン・シンポジウム」

2012年
3月31日（土）第15回「第4回ヒポクラテス・シンポジウム」

●パワースポット分科会（苗鉄軍）
2012年
1月29日（日）、30日（月）駒ヶ根市、

大御食神社、入野谷（瞑想室）、測定
4月16日（月）、17日（火）駒ヶ根市、大御食神社、伊那・長谷（分杭峠）、測定

3. 総会

平成23年6月12日
北とびあ902会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成23年6月12日
北とびあ902会議室で開催

5. 本部理事会（第162回～第168回）を5月、7月、9月、11月、12月、1月、2月と7回開催した。

6. 出版物

・「サイ科学」第33巻第1号を発行した。
・「サイの広場」は休刊（「サイ科学」と合本）した。
・「サイジャーナル」第397号から第402号までを発行した。

◎平成24年度本部事業計画

（1）心を科学する為の博物資料室（開設、6月30日、予定：展示

と生体計測）

（2）駒ヶ根気エネルギー研究室開設に協力する。

（3）10月に全国大会（シンポジウムテーマ「コンタクト」）を開催する。

（4）月例会を9回（4、5、6、7、9、11、12、1、2月）開催する。

（5）分科会を数回開催する。

（6）本部理事会、全国理事会評議員会を開催する。

（7）サイジャーナルを6回発行する。

（8）「サイ科学（+サイの広場）」を発行する。

（9）公式サイトを運営する。

（10）「心を科学する博物館」の資料を整備する。

（11）その他

○活動方針として

（1）刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。

（2）会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。
（3）インターネットの公式サイトやメーリングリストを活用する。
（4）雑誌等の告知欄やメールマガジンに行事の予告を載せていく。

（5）地方日本サイ学会との連携を深める。

（6）地方からも講師を招く。

（7）理事や若手の幹事（理事候補、評議員を増やす）

（8）その他

●地方日本サイ学会

東北日本サイ科学会
会長 佐佐木康二

◎平成23年度事業報告（敬称略）
平成23年
5月29日 総会

平成22年度事業報告、平成23年度事業計画

（東日本大震災のため順延）
8月13日 第178回研究会

「波動関数を収縮させない生き方」 佐佐木康二

10月8日 第179回研究会

「顔画像から前世を診断する」 佐佐木康二

10月9日 講演会（仙台市シルバーセンター）

「波数のお話」 佐佐木康二
12月11日 第180回研究会

「超能力遺伝子発見か!?」 佐佐木康二

平成24年
2月11日 第181回研究会

「サイの正否は（従来）確率論で判定できない」 佐佐木康二

◎平成24年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちが出来るだけ深く探求して、誰でも本来の持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進
サイ現象の観測量化―「念写計」等の開発、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証（福来心理

学研究所との共同研究)、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究

4. 講演会等の開催

「波数」「念写実験会」等のテーマで5月、8月に講演会を開催する(福来心理学研究所、仙台瞑想研究会と共催)。

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究所との共同事業)及びビデオ資料等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会

会長 山田哲三

◎平成23年度事業報告

研究集会Ⅰ

日程 平成23年5月14日(土)

会場 つるまい会館

会員3名の研究・体験発表

研究集会Ⅱ

日程 平成23年9月10日(土)

会場 つるまい会館

会員3名の研究・体験発表

◎平成24年度事業計画

内容 会員数名の研究・体験発表を中心に出席者で勉強会を行う。日程

第1回 平成24年5月19日

会場 つるまい会館

第2回 平成24年9月予定

会場 つるまい会館

第3回 平成25年3月予定

会場 つるまい会館

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤禎花

◎平成23年度事業報告(敬称略)

平成23年6月26日(日)

第1部 基調講演「2012年間

題とサイ」阿久津淳

第2部 UFOトークバトル

ナビゲーション

「UFOの最新情報」竹本良

ガチンコトークバトル

「UFO問題と人類の未来」

飛島竜一×竹本良

講師：阿久津 淳先生(日本サイ

科学会理事・科学問題研究者)

竹本良(科学問題研究者)

飛島竜一先生(フリーランス・

科学ジャーナリスト)

◎平成24年度事業計画

平成24年5月27日(日)

第1部「ローマ法王に米を食べさせた男」高野 誠鮮(羽咋市役所員・住職)

第2部「宇宙政治∞(ムゲン)道

場」竹本良(科学問題研究者)

第3部 トークバトル第二弾

飛島 竜一(フリーランス・科学

ジャーナリスト)×竹本良

※平成24年度の計画に關しまして

は9月、12月の予定(内容、詳細

は未定)。

関西日本サイ科学会

会長 河野明夫

◎平成23年度事業報告(敬称略)

平成23年度は8月、12月を除き、

23年4月(第357回)から24年

3月(第366回)の10回開催し

た。参加者は会員146名非会員

229名合計375名で、伸びて

いる。

平成23年(敬称略)

4月9日(土)芳野 武人「誰でも

できる一日でできる気の活用」

5月21日(土)瀬尾 泰範「東日本

大震災と今後の世界について占

星学的解釈と予測」

6月18日(土)サアラ「科学と靈

性の融合する時代」

7月16日(土)高尾 征治「オリジ

ナルデザイン」の正32面体図象に

潜む驚異の浄化パワー」日本各地

を巡る『みろく』奉納紀行に学

ぶー」

9月17日(土)井出 治「未知エネ

ルギーの研究とチャネリング」

10月15日(土)阿久津 淳「201

2年問題とサイ科学的進化」

『Scientific Evolution & 2012』

11月12日(土)塩小路 光幸「菅原

道真公の知られざる秘話、篆書

(てんしよ)の持つパワー、たつ

(龍・竜・辰)の字の不思議」

平成24年

1月21日(土)檀上 洪司「スピリ

チュアルの世界を探る」潜在意

識から宇宙意識へ

2月18日(土)徳永 康夫「宇宙か

ら見た般若心経」

3月17日(土)桜井 喜美夫「出口

王仁三郎の遺言」

◎平成24年度事業計画(敬称略)

平成24年度は8月と12月を除き、

24年4月(367回)から25年3

月(376回)の10回開催する予

定である。

平成24年

4月21日(土)久保田昌治「水のはなし 活性水・機能水とは」

5月19日(土)上森三郎「地上絵の発見から邪馬台国の謎を解明」

6月16日(土)いよのいし「ニュートリノ光速超えの謎を解く鍵は正四面体(プラトン立体)

[SiOH]の生まれるメカニズムにあった」

7月21日(土)重川風天「誰でもが幸せになるプラチナの風が吹く」

九州日本サイ科学会

会長 金子輝夫

●平成23年度事業報告

九州部会としての事業は行いませんでした。

◎平成24年度事業計画

世話役を得て、できましたら講演会をと思っております。

●平成24年度日本サイ科学会役員構成(*印は新任または改選)

会長 佐々木茂美

理事長 浪平博人

顧問 窪田啓次郎*

品川次郎*、西條一止*

地方会長兼理事

東北日本サイ科学会会

佐佐木康二*

中部日本サイ科学会会長

山田哲三

北陸日本サイ科学会会長

佐藤禎花*

関西サイ科学会会長、副理事長

河野明夫*

九州日本サイ科学会会長

金子輝夫

理事(常任理事を含む)

阿久津淳*、大木高伸*、

大谷宗司、久保田昌治*、

小林泰樹、小林信正*、

小林正典*、小牧昭一郎*、

佐々木律子*、志賀一雅、

志村則夫*、徳永康夫、

中島敏樹、鯉江勇、

本間修二*、前田知則*、

苗鉄軍、渡辺宙明

幹事 飯見勇*、吉田一美*

評議員

薄葉達夫、占部浩一*、

加納愛信*、鴨川裕司、

小久保孝行、佐藤ひろ子、

杉立繁*、高橋至誠、

谷口五月、飛田洋子*

前田稔、三浦良江、

屋敷益男*

監事 和田守央

(1) 本部役員・理事会は会長、理事長、顧問、常任理事、幹事に

よって構成される。

(2) 常任理事は月1回開催される本部理事会に出席できる理事を示す。

(3) 常任理事の選出は、理事の自

己申告による。

〔平成23年度決算報告〕

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	2,000,000	会費(正)	1,552,000
例会	400,000	会費(学生)	156,000
寄付	400,000	会費(準)	240,000
本・他	200,000	会費(維持)	220,000
繰越金	2,324,682	会費(賛助)	50,000
合計	5,324,682	入会費	32,000
		例会収入	444,000
		本会寄付	512,700
		本・他	186,741
		広告料	0
		前年度繰越金	2,324,682
		合計	5,718,123

〔平成24年度予算〕

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	2,000,000	ジャーナル発行	600,000
例会	400,000	会誌発行	300,000
寄付	400,000	人件費	1,530,000
本・他	200,000	例会会場費	120,000
繰越金	2,262,441	講師謝礼	200,000
合計	5,262,441	事務用品	150,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	80,000
		会議・打合せ	80,000
		交通費	50,000
		事務所維持費	110,000
		郵便・銀行振込料	20,000
		予備	100,000
		来期繰越金	1,872,441
		合計	5,262,441

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	610,111
会誌発行	350,000	306,600
人件費	1,530,000	1,534,000
例会会場費	120,000	119,920
講師謝礼	200,000	217,000
事務用品	150,000	211,558
郵送・配送料	70,000	48,050
通信費	80,000	84,972
会議・打合せ	80,000	81,300
交通費	50,000	39,890
事務所維持費	110,000	119,536
郵便・銀行振込料	20,000	21,610
予備(予稿集印刷代)	100,000	61,135
来期繰越金	1,864,682	2,262,441
合計	5,324,682	5,718,123

◎基幹論文賞・功労賞表彰

●基幹論文賞

千葉県 井出 治 殿
昭和24年1月13日生

本会は定款細則第18条により総会の議を経て

貴下の研究活動に対し基幹研究賞を贈り

感謝の意を表します

平成24年6月10日

日本サイ科学会
会長 佐々木 茂美

研究活動：「未知の第3起電力の基礎研究」

フアラデーの起電力とは独立した

未知の第3起電力(Positive EMF)の発見と基礎研究

学会賞

1. 目的：本会の理念にふさわしい学術研究、実践活動に対して授与する。

2. 対象：論文、著書並びに実践活動に対して。

3. 選考方法：

3・1 自薦または他薦とする。

3・2 顧問、会長、理事、専

門家で審査の上、理事会で受賞

予定者を決める。

4. 表彰：年次大会時の総会で受賞者を決定する。

●功労賞

吉田 一美 殿

あなたは日本サイ科学会会員(幹事、公式サイト管理者)として

永年にわたり研究と啓蒙活動にご

尽力されました

本学会の輝かしい発展は

あなたのご努力におう所が大

あります

よって日本サイ科学会功労賞を

贈り表彰し感謝致します

平成24年6月10日

日本サイ科学会
会長 佐々木 茂美

第三百六十八回関西日本サイ科学会研究集会報告

地上絵発見から、邪馬台国の謎を解明！

講師 上森 三郎氏

とき 平成24年5月19日(土)

ところ 大阪科学技術センター

●上森氏は1954年1月11日生

まれ。もともと建築現場の人間で、

建築歴30年。一級建築士。発明家。

ネオガイアジャパン株式会社代表

取締役社長。

この世の不思議を阪神・淡路大

震災から実体験し、震災後に独立

し建築業を始める。震災後の復旧

工事(学校や住宅など公共工事)の

経験から、

★将来建築現場で黒板が要らない

デジタルカメラの必要性を見通し

「デジタルカメラ「黒板くん」開

発、特許取得

シックハウスの研究から、

★目が疲れにくく、a波(脳波)へ

誘う「イオンバイザー」開発、特許

取得

きれいな空気と水の必要性を痛感し、行き着いたテーマは水であり、その活性化方法の研究の結果から

★「流体の活性化装置「ネオガイア」を開発、特許取得

(平成23年8月アメリカへ特許出願・取得)

★流体に引き続き、あらゆる物質を活性化させることができる「物質の活性化装置「テラファイト」

を開発(平成22年7月、国際特許(PCT)出願中)。現在は、人が住

む器(建築)から離れ、身体そのもの

の関心を寄せながら、「かごめか

ごめの真実」を解き明かすため、お

寺、神社廻りが御勤めの感があり、

兵庫県生野で穴掘り(掘削調査)ま

でやっている。

脳波が瞬時にリラクセスしてa

波状態になるゼロ磁場発生装置

「Terafight」を開発してから、ほ

どなくして始まった【啓示】により

動かされて行く中で、急激に多く

の方々と出会うことになりました。

そしてその方々とのご縁から兵

庫島の中央部に「人の顔」や「魚」

「鶴と亀」「龍(玄武)」といった具

合に、山を使って壮大なスケール

で「地上絵」が造形されていることを発見し、宗教も日本の歴史にも無知な私に、何と一邪馬台国への航路とその全貌を描かされたのです。さらにいつの世から歌い継がれてきたのか、童謡「かごめかごめ」の歌に秘められたメッセージを解き明かすことまでやらされてきました。

さて、皆さんはこの日本に古代ユダヤの二人の大王が祀られているとしたら信じられますか？ そのユダヤの大王のお墓を、もし女王卑弥呼が護っていたとしたら！今、まさに過去の歴史をくつがえす日本と世界の古代の謎が解き明かされようとしています。天の啓示から始まった実に不思議な物語です。

テラファイトについては量子水学説の高尾征治博士が原理と効果を証明されており、イオンバイザーについては脳波研究の志賀一雅博士も効果を認められた。

☆ ☆

ごく普通の少年時代を過ごし、ごく普通の結婚をし、ごく普通の

生活をしていた上森氏は、昭和64年に不思議な夢を見た。

その夢は、20年余り経った今日も鮮明に覚えているという。覚えているというだけではなく、その夢を人に語った平成22年8月11日から、不思議な事が起こりはじめ、その不思議な出来事は現在も続いている。



平成22年8月11日という日は、上森氏が開発した「テラファイト（物質の活性化装置）」の効果を証明してもらったために、高尾征治先生（元九州大学工学博士）に会いに九州まで出掛けて行った日である。夢の内容は昭和天皇が崩御される2〜3日前に、上森氏の夢枕に

お立ちになり、「私はもうすぐあちらに帰ります。上森さん、後のことをよろしく頼みます」と託されたというものである。

昭和天皇はロケットの前に立たれ、にこやかに手を振られたというのだが、このような夢の話は、誰にも（家族にも友人にも）語ることは出来ず、心の中に封印していたが、忘れることもなかったと上森氏は言う。夢を見てから、22年の歳月が流れ、平成22年1月11日に56歳の誕生日を迎え7カ月後の8月11日に56歳7カ月となった上森氏に、ある方が5・6・7の数字・霊・を持つ人にお役目があると言われた。上森氏は、8月11日に56歳7カ月となったが、言われた意味はよく解らないし、無宗教で、神社や仏閣に知識のない自分には関係ないことだと思つたと言ふ。

それから、1年余りが経ち、上森氏がご縁をいただいた方は300名を超え、ご縁をいただいた方々は、上森氏の不思議な体験と上森氏に啓示のあった童謡「かごめかごめ」の歌の真実を解き明かすことが『世界平和と再生に繋がると思い、そのことを多くの方々に知ってもらおうと』かごめかご

めを研究する会」を作り、各地で「かごめかごめのつどい」を開催するようになった。

これらの経過は次の天皇への手紙に詳細に述べられています。

天皇陛下様への手紙

『天皇陛下様

私は、昭和天皇がお亡くなりになられる数日前に、天皇が夢にお出になり、「私はもうあちらに帰ります。後はよろしくお願いしますね」と言葉をかけられた上森三郎と申します。

夢を見た昭和64年から、23年の歳月は経ちましたが、今でも、その夢の情景は鮮やかに残っています。

でも、ただただ夢のこと……と思つていましたが、ここまでくれば、どうもその時の天皇陛下のお言葉はただの夢ではなかったようです。

私は、下記のことを天皇陛下にお願い申し上げます。

第一に、兵庫県朝来市生野町口銀谷の絶峯という山に眠る、天皇

陛下だけが手にすることができ
 『人類的神宝』を一刻も早く取り出
 し、天皇陛下の懐にお納めくださ
 いませ。

第二に、人類的世界遺産である
 『地上絵』の保護をお願いいたしま
 す。

先ずは事実を申し上げます。

・兵庫県朝来市生野町口銀谷にあ
 る絶峯という山を使って、5 kmほ
 どの長さには、『鶴と亀』が造形され
 ています。

・兵庫県多可郡多可町 千ヶ峰に
 『魚』

・兵庫県朝来市生野町栃原 段ヶ
 峰に『龍(玄武)』

・兵庫県丹波市山南町五ヶ野に
 『人の顔(古代エジプトの女神ハト
 ホル)』

・三重県津市 高峰に『生贅の鹿』

というように、地上絵が造形さ
 れていることを発見させられまし
 た。

これらの「地上絵」は、伊勢神宮
 から兵庫県朝来市生野町の段ヶ峰
 に伸びる一直線上にキッチリと並
 び、それも旧約聖書に登場する「生

命の樹」と思われますものが、男
 性と言いますか表と言いますか、
 「第一の生命の樹」と、女性と言
 いますか裏と言いますか、「第二の生
 命の樹」の一对が浮かび上がり、そ
 のポイントにピタリと位置してい
 ます。

(別図、第一、第二、第三、第四の
 生命の樹 を参照下さいませ。)

私達の脳裏にいつの世から歌い
 継がれてきたのか、『かごめかご
 め』という童謡がありますが、こ
 の唄を千ヶ峰の山頂から、造形さ
 れた「魚」を観ながら、伊勢の方角
 を見て唄うと、ちょうど後ろの正
 面にあたる場所は、兵庫県朝来
 市生野町口銀谷の絶峯という山で、
 そこには「鶴と亀」が大きく山で造
 形されています。さらに、その後
 方の段ヶ峰には「龍(玄武)」、前方
 の山南町五ヶ野の山頂には「人の
 顔(古代エジプトの女神ハトホル)』
 という具合です。

『かごめかごめ』の唄をヘブラ
 イ語で解読すると、誰が守るの
 か？ 誰が契約の箱に安置されてい
 る神器を取り出すのか？ それを取
 り除き、お守りと差し替えよ。そ
 して、誰もいない荒地に水を引き、

そこを聖地として支配せよ！と言
 う意味があるようです。

私は今、導かれるように「鶴と
 亀」が造形されている場所を調査
 しています。

その場所は、上空から眺めると
 「鶴」と「亀」が仲良く口づけをし
 ているように見え、そこには、「三
 つの岩」があります。

「三つの岩」の中心となる岩の頂

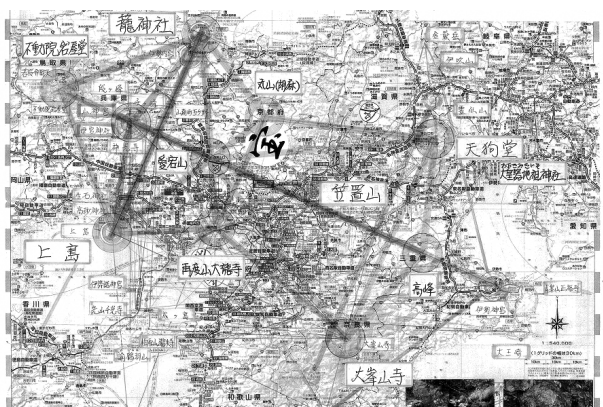
第一の生命の樹



上には「ライオン」、その下の岩に
 は「亀」であり「魚」に見える造形
 物があります。しかも、その岩は、
 直角な平板の石を活用して造られ
 ており、人工的に造られた物的な
 証拠になると思われます。

私は今、手作業でこの場所に穴
 を掘っていますが、石や土は容易
 に取り除くことが出来、埋め戻し
 をしたとしか考えられない全く締

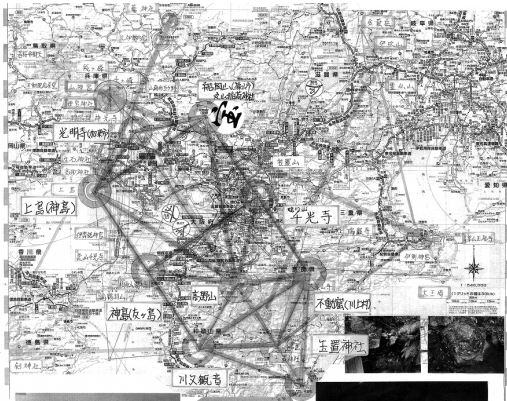
第二の生命の樹



りのない状態で、人工的に造られたものと思われまます。

実は、続いて「第三の生命の樹」と「第四の生命の樹」を描かされました。「第三の生命の樹」の王冠にあたるところは、播磨高野と呼ばれ、そこには光明寺というお寺があり、光明寺から高野山の方向に向かって「かごめかごめ」を唄うと、後ろの正面の場所は、「第一の生命の樹」や「第二の生命の樹」と全く同じ兵庫県朝来市生野町口銀

第三の生命の樹

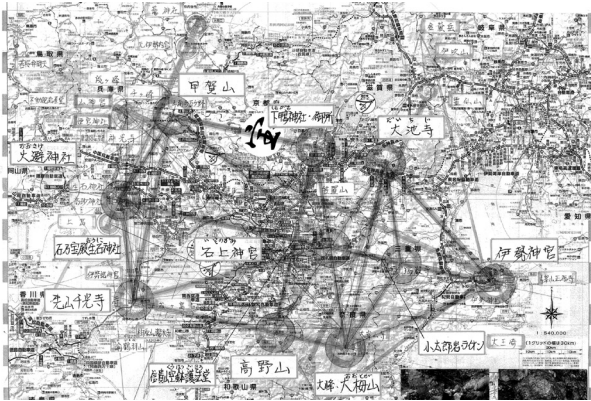


谷の絶峰です。

生野の史実では、昔は「死野」と呼ばれていたそうですが、ある時期、天皇からの「生野」に変更するようになったと記されています。

死野： シノ： シノン： シオンとはヘブライ語で聖地ですが： 聖地と呼ばれていた時代が確かにあったのでしょうか。

第四の生命の樹



私は「第三の生命の樹」を、「弘法大師空海の生命の樹」と呼んでいます。

弘法大師空海が、嵯峨天皇から賜って開いた高野山は、「生命の樹」の身体で言えば中心である「おへそ」にあたる場所です。

「第四の生命の樹」は「桓武天皇が平安京に遷都した時の生命の樹」と私は思っていますが、「伊勢神宮」、「石上神宮」、「信貴山（空鉢護法堂）」、「再度山（大龍寺）」、「石乃宝殿（生石神社）」が、中心軸の一直線上に並びます。

この中心軸のちょうど真ん中あたりに「中宮寺」や「法隆寺」が位置するのも偶然でしょうか。

この中心軸と直角に交わり、その距離も中心、軸から全く同じ距離に「京都御所」と「高野山（金剛峯寺）」が対で位置しているのも偶然でしょうか。

実はこの4つの「生命の樹」は密接に関連しています。

そして早速この事実を陛下にご覧戴き、『隠されている神宝』が眠るその場所に、一般の人たちが出入り出来ないような方策を講じていたとき、一刻も早く取り出していただきたい思います。

この情報は、海外の人たちにも、確かな情報として流れていますので、後手に回れば大変な事態になることも予測されます。

天変地異も含めて、一刻を争う事態になってきました。

私を動かしている神は「急げ！時間が無い！」と最初から言っています。

最後にもうひとつ不思議な話をお聞かせください。

神戸に、人類史上に名を残すといわれる『奇蹟の天才ピアニスト』が現れています。その名を平原誠之（ひらはらまさゆき）と言います。彼のピアノを聴いたほとんどの人は、涙を流します。感動で涙を流さずにはおられないようです。その平原氏のコンサートが、2011年11月11日（金）に三重県名張市桔梗が丘のヴェルージュという、小さな会場ですが、とても素敵な会場で開催されます。実は、この会場でのコンサートが決まった後に、「第二の生命の樹（女性の生命の樹）」が完成しました。

もしかと思って、「第二の生命の樹（女性の生命の樹）」を見つめる

と、コンサートの会場は、縦軸と横軸がクロスした場所でした。そして、「第一の生命の樹(男性の生命の樹)」と「第二の生命の樹(女性の生命の樹)」の縦軸と横軸を重ね合わせると、ぴったりと重なりあい、男女が一つになった「合体した生命の樹」が完成しました。「第二の生命の樹(女性の生命の樹)」の子宮にあたる部分が、実は「第一の生命の樹(男性の生命の樹)」での御霊にあたります。

さらに驚いたことに、コンサートの会場は、「合体した生命の樹」の縦軸と横軸がクロスした場所、まさしく人間で言えば「心臓」にあたるところでした。

平原氏が、2011年11月の11日(満月)に、この場所で魂を揺さぶるピアノを弾くことにより、『合体した生命の樹の鼓動』が始まるのでは：と私は思っています。彼が、その日に、その場所で、ピアノを弾くことにより、『新たな御霊がこの世に出現する』、正に『弥勒の世を迎える為の儀式』を、彼と私が託されているようです。これは神の儀式です。天皇陛下の命を受けた方のご臨席を私は密かに願

います。

平成23年10月 上森三郎
(このコンサートは実施済みです)

☆ ☆

不思議な話であるが、上森氏の開発は量子水学説の高尾征治博士や脳波研究の志賀一雅博士も認める効果があるものだけにこれら啓示により発見した事柄も信頼に値するであろうと思われる。平原氏のピアノのCDも感動的であった。

当日の参加者は会員9名、非会員36名、合計45名でした。今回のカセットテープは2000円です。事務局(0797・22・6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)



＜サトルエネルギー学会主催 '12秋の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ＞

秋の大会テーマ 2012 いよいよ始まった大転換時代！

～こうすれば輝ける未来はきっと日本からつくれる！～

(大会委員長 井筒 貴康 副委員長 阿久津 淳)

講演・実演者(敬称略) 池川 明 木内 鶴彦 飯島 秀行 白鳥 哲 光明 江本 勝

司会 石田 桃子、阿久津 淳 (フルーツ演奏) AKI

日時：平成24年10月21日(日)開場 9:45 開演 10:15 終演 18:40

会場：SYDホール JR「代々木駅」徒歩5分(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み要領】 FAX 03-5730-6451 または E-mail uketsuke@subtle-eng.com

サトルエネルギー学会 シンポ大会係 まで

FAXまたはE-mail記載項目：氏名・住所・TEL・日本サイ科学会会員・チケット枚数・合計金額
料金 予約料金：サイ科学会会員・サトル会員価格同一 ￥5,000 (当日￥6,000)

【振込先】お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振込先： 00170-1-196569 サトルエネルギー学会 (申込受け9/24より)

主催：お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450 E-mail infomation@subtle-eng.com

していると判断している。神社の屋根の下に、白色雲状の変形ORB (又はプラズマ) と、金色円形状連結の変形ORBが現れている。写真12は、八王寺の自宅前の道路上で撮影された。2012年6月9日(土)、朝の5:40頃、小雨の降り始め、経験からは、特に朝方が良い(良いORBが撮れる)。金色の菱形の変形ORBの後に、半分隠されて、白色のORBが撮れている。誠に不思議な変形ORBであり、これらの解釈は未検討である。なお、今回新しく観測されたORB像は、写真10~12のみであり、他は、すでにM.Ledwith, K.Heinemannらによって(類似ORB像)報告されている(2007)。つまり、既発表の結果を支持する写真が得られている。

3. 検討と考察

3-1) ORB像について

昼と夜は(+)イオンが多いが、太陽の昇り始めの早朝(夜明け)と日没(夕方)には、空気層の中に、(-)イオンが増加してくると言われている。また夜明けと夕方、つまり、明、暗の明るさの境目になると、従来の研究から判断して、零場(未知現象発生点)は不安定状態になり、カオス現象が発生しやすい状態になることが判明している(未知現象が発生する)。また、太陽からは宇宙線やガンマー線、地表面の花崗岩や玄武岩からもガンマー線が放出されており、これらも、イオン形成を促進させることになる。

雨が降り始めると、空気中のイオン等は励起されて自由電子が生まれ、電離した陰と陽の荷電粒子の集合体としてのプラズマ、並びにSPI-pairを核としたORBが形成される事に成る。これらは、全体としては、中和(陰+陽=0)状態になっている。SPI-pairとは、人間のバイオフィトン(オーラ、微細身素粒子)を介して放出・形成される陽電子と電子の組合せ(スピン零)をもとにし、これに陰陽の微細身素粒子(オーラ)が加算され、組み合わせられた(中和状)ものである。本報では、これがORBの中核になっていると仮定する。つまりORBの基本構成要素はサイ(気)であると考ええる。

なお、当然ながら、ORBとプラズマは混在している。別報によると、気功水の熱活性化エネルギーは1,38eVであり、これは赤外線領域の波動を意味しており、ORBもほぼ同一である。以上をもとに検討する。ORBは素粒子から構成されている。素粒子は粒子であると共に波動でもある。写真(写真1~4等)で見られるORBの「ぼけ」の状態は、素粒子の性質そのものであり、非局所的に空間に曖昧な状態でORB像が存在している事を示している。ORBはバイオフィトンの一部を含んでおり、これが原因となり、人の意識に関係する事になるのであろう。多くの人達のORBも、この様な状態で、ある特定場所により濃く、存在するのであろう(気場)。ORB球内の干渉縞模様は、構成要素の素粒子が波である事を示している。さらに素粒子には虚と実がある。これがORB球内の白点や黒点に関係しているのかも知れない。

フラッシュ光をORBやプラズマに照射すると、(1)反射光、(2)電子の軌道間移動に基づく発光、(3)プラズマや電子の合体に基づく発光、等が生起すると考えられる。デジカメのシャッター速度が1/1000秒なので(1),(2),(3)の光が、時間差を持ってCCDに届いて、2~3重のORB像を形成するのであろう。なお、ORB構成小球群のうち、光を吸収する場合は黒色、光を反射するのが白色となるのであろう。

3-2) ORB像発見が意味するもの

顕微鏡の発明により、細胞が発見された(1965, R.Hook)と言われている。近代生物、生理学の母体誕生(細胞発見)である。同様に、デジカメの発明によりORB像が発見された。思いを巡らせば、両者の事情はほぼ同一であると思える。そこで、我々のORB像研究の努力が、新たな近代精神科学(新分野)樹立に発展する事を祈念したい(写真を4枚だけ掲載します。これ以外は、2012年10月開催予定の全国大会で報告する予定)。



写真4

に座っており、目にはみえないが、ホコリや呼吸としての息(湿度)が相当程度あり、これらがORB像出現に関係していたらしい。また、極めて賑やかな、色とりどりの「華やか」な雰囲気であったので、撮影者自身からのバイオフィトン(オーラ、微細身素粒子)発生(出現)があり、これも撮影条件に加算していたと考えられる。

写真5～6。撮影場所は、花火観覧席に隣接する野球場(グラウンド)の建物の前で、花火観覧席の入り口付近である。写真5には、ORB像が3重に重なって撮れている。写真6は、ORBがプラズマ状に変化する過程と思える写真である。

2-2) 福島瀧洞神社

2012年7月6日(金)、小雨模様、夕方の18:30頃、屋外、部落(住宅)の氏神様の前。

撮影者の検討、考察の結果として、ORBの主体は「サイ(気)」であると推定したので、また、過去の経験から、「気」は水との間で親和力がより強い、と考えたので、夕方の小雨模様の時間帯を撮影条件に選んだ。しかし、当然の事ながら水滴とORBとは区別して判断している。しかし、水滴に上載したORBを撮影していることもある。

写真7～10を見る。写真7には、上述の写真5と類似した3重像。写真7～9には、半欠け状、

さらには干渉縞状の円形の縞、黒色球状(光吸収)や白色球状(光反射)の斑点がランダムに混在して撮れている。これらは、全体として、模様が不鮮明である。ORBの内部構造が形成される途中のものとも思えるものもある。しかし、詳細は不明である。写真10は、福島自宅前の道路上で撮影されている。特徴的な事として、ORBが玄関の石階段にへばりついて、折れ曲がった状態で撮れている。



写真11



写真12

2-3) 東京八王子、福島瀧洞神社

写真11は、2012年6月19日(火)、時間は17:19、夕方の小雨の降り始め。小雨の降り始めは、イオン形成やプラズマ形成に直接関係



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

オーブ (ORB) は参加を求めている

佐々木 茂美

1. はしがき

今世紀 (21 世紀) の当初になると、写真撮影の面で、フィルム使用からデジタル (CCD) 使用への転換があり、小球状のオーブ (ORB) 像がデジタルカメラの撮影面上に (ノイズとして) 混入してきた。この事実は「こころ」の世界の可視化、大衆化の面から、記念すべき新時代への幕開け (創始点) になるだろうと推定している。だが問題もある。ORB には、再現性に欠ける点があり、また当初に報告された ORB 像の約 70% は、カメラの操作ミスや撮影操作上のミスであったらしい。しかし、その中には本物もあり、ORB は「意識や霊」に関係していると言う主張や意見もある。本報では、初歩的な検討として、ORB の多様性と撮影条件ならびに解釈について考察する。

2. 撮影、実験結果

低画素数 (200~400 万画素数) の CCD を内蔵するデジタルカメラ。または近赤外線領域迄をも撮影出来るカメラを用い、フラッシュ撮影する事が、ORB 像出現の必要条件になっている。例えば、画素数が少ないデジカメは、可視光線域を含めて赤外線領域までも撮影できると言われている。他方、「サイ (気)」は赤外線領域に存在している事が既に報告されている (後述)。本報では、NICON, PIX-2200

(220 万画素数)、CASIO, EX-240 (400 万画素数) の 2 種類のカメラを用いて撮影した。

2-1) 福島花火大会

2012 年 7 月 28 日 (土)、晴れ、日没後の夜の 19:00~20:00、屋外の阿武隈川原敷での撮影。写真 1~2 を見る。大小様々な多量の ORB 像が撮影されている。しかし全体としては「ぼけ」の状態で撮れている。写真 3 を見る。点状の花火 (朱) の向こう側に ORB があるようにみえる。写真 4 には、ORB が 2 重 3 重に重なって写っている。

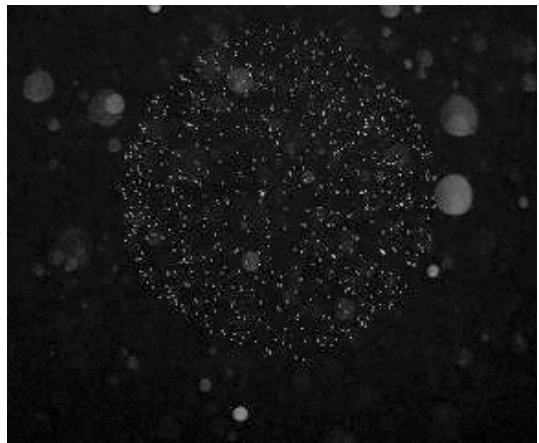


写真1

感想を述べる。当日の撮影条件として、多数の人達 (約 300~500 名) が観覧席 (河原敷)



サイジヤナル

月刊
24-11-12
第406号

日本サイ科学会 平成 24 年 11 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

十一月本部例会のお知らせ

気(生命エネルギー)の 実在と能力

講師 藤森博明氏

自動車や電車が動くには、ガソリンや電気というエネルギーが必要になります。では、人間や動物が動くには、どのようなエネルギーが必要になるのでしょうか。

これまで人類は、水力の水車、風力の風車、そして石炭の蒸気機関、電気のもーター、ガソリンのエンジンなど沢山のエネルギーを活用する手段を開発してきました。しかし、それらは生命体を動かすエネルギーではありません。いわば無生物を動かすエネルギーの利用法でした。

生物と無生物の最大の違いは、自分の意思で動き出すか否かにあります。さらに、生物は自発的に成長し、子孫を残し、自己修復する機能を備えています。これらの活動を支えるエネルギーは必ず存在します。しかもそれはシンプなもの。そのエネルギーが、古来

より「気」と呼ばれています。

気は、複雑で発展的な生命体を動かすエネルギー。呼吸や食物から得られます。しかし、動かす対象物が複雑なゆえに説明は遅れています。今、分かるのは気エネルギーの実在と能力の一端。私は、幸いにも修練中に気の間を捉えることができました。今回は、気の感知方法の解説と気の凄まじいパワーの一部をご覧頂ければと思います。

※長年気の修行をして、パワーを発する能力者の実演や道場でのビデオも見られますので、会員の皆様もご友人、知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●藤森博明氏のプロフィール

「合気」という秘技をとらえるために身体の緩め方を工夫していた。そんなある日、腸腰筋の感覚をつかむ。それをもとに、「スカイウォーキング」という歩き方を開発。そのお陰で腰椎や丹田が緩み、念願の「気」をとらえる。以来、気の巡る身体となり、大病などは全くの無縁になる。

練馬区平和台にある「健康道場

今月号の記事

- ◎十一月本部例会のお知らせ
- ◎ご寄付のお願い
- ◎御寄付御礼
- ◎十二月本部例会予告
- ◎心を科学する為の博物資料室
- ◎第17回宇宙生命研究分科会予告
- ◎一月本部例会予告
- ◎北陸サイ科学会十一月例会予告
- ◎関西サイ科学会十一月例会予告
- ◎関西サイ科学会十二月例会予告
- ◎関西サイ科学会一月例会予告
- ◎五月本部例会報告
- ◎第三六九回関西サイ科学会報告
- ◎第三七〇回関西サイ科学会報告
- ◎本部月例会講演録の販売
- ◎願いを叶える為の科学(1)

◎ご寄付のお願い

日本サイ科学会は主として会員の皆様からの会費で活動を続けておりますが、皆様からの御寄付にも大変助けられております。

会員の皆様の会を支えるお気持ちとして、金額は任意で構いませんので、一頁上記の郵便振替口座に、「一般の御寄付」としてお振り込み戴ければ大変有り難いです。

ウエルネス気の家」にて気を利用した健康法、衰えない身体創り、スポーツ指導を行う(昭和26年生まれ。品川区出身。都立八潮高↓電気通信大学物理工学科卒)。

著書は「気が分る本」、「気になる本」(コスモス・ライブラリー)他。

日時 平成24年11月10日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

御寄付御礼

(10/1受領分まで)

金三十万円也	品川 次郎 様
金六万円也	木村 陽一 様
金三万円也	金子 輝夫 様
金五千円也	屋敷 益男 様
金二千円也	前田 豊 様

十二月本部例会予告

忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心霊現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらをテーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

今回最初にまとまって何か発表したい方一、二名に20分位ずつで口火を切って頂いて、引き続き出席者の皆様から自由に発表して頂きます。

皆様の中で、ご自分で撮った不思議な写真、VHSテープ等もお待ちしております是非ご持参してください(VHSテープやDVD等をお見せしたい方は、装置予約のため早めに事務局にお知らせ願います)。

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。

ださい。また、ご自分では気が付いていないのに、思いがけない超能力を発揮する方もおられるかもしれません。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。※最初にまとめて発表したい方は、事務局にメール、またはFAX願います。

日時 平成24年12月8日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ8階805会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 一〇〇〇円

「心を科学する為の博物資料室」のご紹介

駒ヶ根市「おもしろかつば館」内に、「心を科学する為の博物資料室」が2012年7月1日(日)から設置されました。

<http://www.komagane-kappa.jp/>
資料(約45点)が特別室内に展示されており、故関英男先生(サイ科学会)の関係資料は、来年7月から展示する予定。

なお1年間の試行展示で、効果があれば、拡大して(継続)展示する予定です。資料室付属の「気エネルギー試験室」は、実験が進行中。

第17回宇宙生命研究分科会

第6回 アセンション・シンポジウム

日時 平成24年12月21日(金)

午後6時～9時

会場 品川健康センター第3会議室(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507)

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R京浜東北線大井町駅東口から東急バス「渋谷駅」行で「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円
 会員会費 一〇〇円

(日本サイ科学会・サトルエ
 ネルギー学会・太陽の会・
 日本空中現象調査委員会)
 ※会員以外の方の参加も大歓迎

尚、毎年12月21日開催の〈アセン
 ション・シンポジウム〉は、まさに
 マヤの長期暦終了の今回をもって
 終了とします！ 3月のヒポクラ
 テスシンポジウム、7月のUFO・
 オープンシンポジウムはこれまで通
 り、開催します。来年の12月は
 〈異能科学シンポジウム〉(仮題)
 を開催する予定！

(世話人 阿久津 淳)

一月本部例会予告

α 波のコヒーレンシーに
 ついて

講師 志賀一雅氏

外界からの刺激によらずに観測
 される脳波は定在脳波と呼ばれ、

周波数帯域により δ 波(1-3Hz)、
 θ 波(4-7Hz)、 α 波(8-13Hz)、
 β 波(14-30Hz)と呼ばれてゐます。
 α 波は後頭部から閉眼時に強く
 観測され、目を開けたり考えごと
 をすると消失することからリラッ
 クスの脳波と言われていますが、
 前頭部から半眼状態の座禅の瞑想
 中において α 波が計測された報告
 があり、筆者は自律訓練法におけ
 る受動的注意集中状態でも前頭部
 から α 波が観測されることを見出
 しました。

特に左右前額部から計測される
 α 波が一定時間コヒーレントに
 になると、その理由は不明ですが、
 ESPやPKと思われる現象が観
 察されます。また、2人の前頭部
 の脳波を同時に計測して一定時間
 コヒーレントな状態が続くとリー
 ディングやヒーリングが行える状
 態になるのではないかと思われま
 す。これらの具体的な事例につい
 て紹介します。

※能力開発・応用分野における脳
 波測定的第一人者である志賀一雅
 先生の、久しぶりの御講演ですの
 で、会員の皆様はご友人・知人を
 お誘いして是非ご参加願います。

●志賀一雅氏プロフィール

1937年 東京生まれ
 1961年 電気通信大学卒業
 松下電器産業入社、東京大学物
 性研究所にて半導体物性を研究
 1965年 松下技研にて半導体
 集積回路、LSIの開発
 1976年 東京大学工学部研究
 員を兼務しアルファ脳波の研究
 1983年 株式会社脳力開発研
 究所を設立 東海大学講師を兼務
 1994年 徳島大学工学部講師、
 日本理科学検定協会理事長、日
 本数学検定協会理事
 現在 脳力開発研究所所長、米国
 バイオフィードバック学会会員、
 電気通信大学大学院人間情報学
 研究科研究員 工学博士

日時 平成25年1月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
 交通 JR京浜東北線王子駅下車
 徒歩2分、ホーム最北端(赤
 羽寄り)の階段を下り改札
 口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

北陸日本サイ科学会 11月定例会のご案内

祈りのエネルギーについて

講師 清田益章先生(スプーン曲
 げ超能力から、おのりへ)
 講師 高野誠鮮先生
 (日蓮宗 妙法寺 第41世住職)

日時 平成24年11月4日(日)

午後1:45～4:30
 (午後1:15受付)

会場 金沢市文化ホール3階
 大会議室

会費 会員 2000円
 一般 3000円

(随時入会受付)

●清田益章氏プロフィール

超能力者として、国内外の超能力
 研究に参加。国内外のテレビなど
 各メディアの取材を数多く受ける。
 現在、法具(九釘杵)を両手に、
 祈りと踊りを融合させた独自の祈
 り方、おのりを奉納する活動を行
 っている。

●高野誠鮮氏プロフィール

羽咋市役所員で「ローマ法王に米

を食べさせた男」のスーパー公務員として注目を集める。今回は、ご住職として、祈り、祈祷と効能・効果についてお話しいただきます。

皆様お誘い合わせの上、是非御参加下さい！

お問合せ 北陸日本サイ科学会

076・234・6634

(ホリスティック健康科学研究所内)

参加ご希望の方はお早めにご連絡下さい。

念願叶ってようやくお招きできました。大変貴重な機会ですので、一人でも多くの方をお連れ下さい。(北國新聞社後援)

関西日本サイ科学会
十一月例会のお知らせ

農畜水産物の革新への道

講師 白根正志氏

日時 平成24年11月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
2012年忘年の放談会

非会員の方も大歓迎です。十二月の研究集会はお休みです。

日時 平成24年12月8日(土)

午後5時30分より

場所 山海倶楽部

06(6443)0209

※大阪市西区京町堀1・4・3

TCF肥後橋ビルB1階

※参加ご希望の方には会場案内図をFAX等でお知らせ致します。

参加費 四五〇〇円

※12月5日(水)までに、事務局木村までお申し込み願います。
0797・22・6425

関西日本サイ科学会
一月例会のお知らせ

出口王仁三郎の大復活

講師 櫻井喜美夫氏

日時 平成25年1月19日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

五月本部例会報告

命とソマチットと

般若心経の探検

講師 徳永康夫氏

命とソマチットと般若心経は、実は全部つながっております。去年の年末に、「命の不思議探検」というタイトルで、たま出版から本を出させていただきました。この中身も同じように、命というものを追求しながら、途中で般若心経にも触れ、ソマチットにもつながっております。

つい最近「スライブ (THRIVE)」というDVDを知り合いから見せていただきました。「ユーチューブ」にも載っているんだそうですね。「スライブ」というのは、アメリカの方が創ったドキュメンタリータッチのお話なんです、その中には、世界的に陰謀を進めている、すなわち情報を操作したり、情報を隠したり、嘘の情報を流したりしているある勢力があり、彼等が世界を支配していることを発見した、いうことを実名で本人が顔を

出しながら、いろいろなインタビューをとっております。

あの自身は実は12年前に私が書いた本と同じ方向性なのですが、そのような闇の勢力とどう抵抗するかというと、マハトマ・ガンジーやキング牧師のような、喧嘩をしないで、戦わないで、多くの人々が心をつなげて、マインドを変え、世界を変えていこうというようなテーマでした。

私と同じように非暴力でブレイクスルーする方法として考えたのは、お金のない村を造ってみようということなんです。日本のどこかにそういう無通貨の村をモデルで造ってみてうまくいけば、隣の村もうちもそうしよう、また隣もそうしよう、・・・という感じで増えていき、二〇一匹目の猿現象のように広がっていき、お金を使わなくても成立する世界ができるのではないかということです。

それを説明するのは大変なので、私の本では、架空の村、すなわち四国の高知にモデルの無通貨の村を造り、そのことを聞いたある人が東京からその村を訪ねて行き、1日半の見聞録のストーリー仕立てになっております。

「スライプ」の作者は、IMF（国際通貨基金）やFRB（連邦準備銀行）を大きな人々の和で解体していこうという内容です。あの当時自分は実名で出版しようと思っただけですが、出版社が「いやー、ちよつと危ないのでペンネームで出しましょう」と言ってきました。



とうとう現代のアメリカでは、自分の国で行われていることや世界で行われていることに対する批判を、どうどうと実名で顔を出してお話していることはすばらしいことだと思えます。どんどん世の中は変わってきていると、私は

思います。

皆さんもよくご存知だと思いますが、情報の中にはいろいろな種類があります。真実の情報をT (truth)、間違いをW (wrong)、嘘の情報をL (lie)、あいまいな情報をV (vague)、隠された情報をH (hide)としますと、あらゆる分野でこういった「TWLVH」の情報があふれています。

ですから読む側にとって、「TWLVH」のどの情報なのかを判断するのが、難しくなっております。その判定法として、私は複数の人々、あるいは様々な国の人々がいろいろな角度から同じ内容が書かれている場合はT (truth)と判断しております。その結果、次第にT (truth)が集まってきました。集まると判断のためのある一つの物差しができました。

私は雑誌「ムー」が好きで、ほぼ創刊のときから読んでいたので、その掲載記事は玉石混交で、私はどの記事がT (truth)でどの記事がそうでないかの判断ができるようになりました。

今日皆様にお配りした私の著書「命の不思議探検」はプレゼントさせていただきます。もう1枚お

配りしたのは「般若心経」をプリントしたものです。

先ほど述べました「TWLVH」の観点からいろいろなジャンルのものを見ていきたいのです。私は科学者でもないし、医者でもないし、宗教家でもないし、僧籍もないし、超能力者でもないし、霊能者でもない、ただの「おじさん」ですが、いろいろな人々の文献を読んでみると、「TWLVH」が分かって来ることがあるんだな、という実例です。

科学にも、物理学、天文学、数学、化学、量子力学、医学、歴史学などいろいろな分野があります。我々の常識というのは、科学は信頼出来るといふことで、何か事象があると、「それは科学的に証明されているのかい？」と問われ、証明されていけば、どうどうと出せるし、証明されていなければ、「それは非科学的だね、そんなものは迷信だよ！」と一発で否定されてしまう場合もあります。

それでは天文学を勉強した人は物理学に精通しているのだからか？あるいは生物学を勉強した人は量子力学を知っているのだろうか？ということがあります。

お互いに実はあまり交流しないのです。全部大学の教授につながって縦系列ですから。したがって情報との交換はないですし、他分野の勉強はしないのが普通です。それはそれでいいですね。

ただここにテーマとして面白いものを挙げてみたいと思います。「宇宙」というジャンルがありますが、私は小さい頃から「宇宙の果てがどうなっているのだろうか?」という疑問をもち、沢山の本を読んできたので、いろいろ知っております。

「宇宙」を勉強した人に何か教えてくれないか、と問うたときに、物理学からアプローチする宇宙、天文学からアプローチする宇宙、数学からアプローチする宇宙、化学から、量子力学から、生物学、歴史学からアプローチする宇宙など、その各々の計りの中で宇宙というものを見ることはできませんが、宇宙自体はすべてトータルなものなのです。宇宙は統一しているのです。それに対して答えが出せるのかというと、今はまだまだ答えが出ていないことが多いのです。次に「生命(いのち)」の正体は何ですか?と問うたときに、生

命というものはこういうふうだよ、というふうにも明快に述べている科学的文書を私はまだ見たことがないのでですね。科学で一番生命にアプローチしているのは生物学であり、最新の生物学である分子生物学でいろいろ成果が出ております。理学博士の川田薫さんの書かれた生命の正体に関する本も読ませていただきましたが、私はこの方は生命の真理に到達しておられるな、という感じはしております。

ということでも科学でまだ生命の本質は分かっているかと思えます。生命のことが分かっているかということはどういうことでしょうか?もし科学で人間の生命が分かっていたら、「死んだらどうなるか?」ということも分かっているはずですね。皆様がよくご存知の「輪廻転生、生まれ変わり」も、元々生命が分かっているわけではなく、「輪廻転生」も分からないはずですね。「神」や「仏」は科学で分かっていることはあるでしょうか?「ぼかなことを言っちゃいけない。それは宗教じゃないか」となりますね。「神仏」が宗教で分かっていることにしましょう。それなら何故、神様に関して、科学で研究しな

いのでしょうか?私には不思議でしょうがないのです。神様とはこれこういうもので、こうであつて、あるとか、ないとか、あればあつたでこういうものだよ、なければないでこういう根拠でないのだよ、と科学が真実を追求する学問であるならば、神様も研究してやればいいじゃないですか。なぜやらないのでしょうか?「宗教と科学とを分けたからです」と。その通りなんです。分けちゃいけないものだと私は思っております。

ここで誤解がないようにお話しておきますが、信仰だとか祈りというものは、私は全く否定しません。これはとても大切なことで、人間の中心、心の奥底から湧き出るエネルギーであり、見えないものに対する尊敬の念だとか、それは認めます。

ここで「UFO」とか「宇宙人」とか、これらは科学的に検討されているのでしょうか?これらの話をすると、一般では「そんなものを信じているのか?」という雰囲気、言うことがはばかれます。「UFOを信じているなんておかしい。」なぜそういうふうに皆が思うのでしょうか?これが、最初

に私が述べましたごちゃごちゃな情報、すなわち「T W L V H」が世の中にまき散らされているわけですよ。まき散らしているのは誰でもしょう?一般大衆の立場に立つてみると分かりますが、新聞やテレビですよ。NHKとか朝日・読売・毎日新聞が「UFOが世界のこっちで現れた、あっちで現れた。民間人がこういうことになつた。」などという報道は一度もありません。

一般の大衆の方はテレビや新聞が報道すれば、信用するのは、何故でしょう?これはある意味で「洗脳」なんです。まさか朝日も読売も毎日NHKも一緒になつて、嘘をつくとは思いませんよね、誰も。あるいは嘘をつかないまでも、H (Hide) すなわち隠している可能性があると、私がいろいろな論拠をもって話しております。それで不思議なのは、一般の方々は自分で真実を追求しようとする姿勢はあまりありません。毎日働いたり、学業で忙しいので無理はありませんが、テレビや新聞に頼ってしまうのです。そうするとこういうことについて、マスコミだけの発表をベースに判断をしてい

いのでしょうか？

私はいろいろ資料や文献で調べていますから分かりますが、テレビのワイドショーなどにコメントーターで出てくる科学者だとか、医者だとかは、かなり明らかに嘘をついています。一般大衆が得られる情報の多くはそれしかないんです。だから、皆さんは科学がUFOや宇宙人を研究していないと思っっているのです。コメントーターで出てくる、学者も「UFO、バカなことを言っちゃいけないよ。あると面白いけどね。」なんていうようなことを信じさせるようにしているのです。一般大衆はいないと思っっているのです。

UFOがもしあれば、宇宙人はいると思っますか？ そうですよ、いなければUFOに乗っっているのは誰だろう？ ということになりますよね。それでは、UFOに乗っっている宇宙人は、地球人よりも科学的に遅れていると思っますか？ 進んでいると思っますか？ そうですよ、どこの星か知りませんが、大変な距離をUFOですっ飛んで来ているわけですから、進んでいて当たり前です。それと比べましたら、月まで行っったアポ

ロ宇宙船は原理的には「打ち上げ花火」と同じであり、UFOの科学レベルはずっと先を行っっているでしょう。

私は科学と宗教を分けたこと自体が我々人類にとって不幸だったのではないかと思っます。宗教がいけないということではなくて、神仏というのがありますが、皆さんは釈迦やイエス・キリストは神だと思っますか、人物だと思っますか？ 私はいろいろ研究して、釈迦やイエス・キリストは人物だと思っます。人物といっても、霊格はとて高くて、宇宙の真実を知っていて、それを出来るだけ多くの人々に教えようといっことで現れた人々の一人です。釈迦やイエス・キリスト以外にもこういっ役割の人物は、過去から現在まで沢山いらっしやいます。そうすると釈迦やイエス・キリストは宗教じゃないかと思われるかもしれませんが、仏教は宗教ですが、釈迦は宗教ではなく、キリスト教は宗教ですが、イエス・キリストは宗教ではありません。

聖書で問題なのは、ずいぶん改ざんされています。旧約聖書、新約聖書にも、輪廻転生のことが書

かれていましたが、西暦553年にコンスタンチノーブルで開催された第2回宗教会議において、この削除が正式に認められたのです。それに対して仏教の経典は改ざんがなく、私が読んだ経典では輪廻転生は当たり前のことです。だから釈迦は死んじやったけれども、経典は認めて、これを科学的に追求することは出来るんですよ。勉強もできます。それから、イエス・キリストの新約聖書も研究しようと思えばできます。それを「いやいやこれは宗教のことだ。」といっって、はずしているのが非常に疑問を感じます。

科学といっるのは、ある意味で目で見える世界、物理的に計測できるものを対象としています。見えないもの、例えば、気や気功、霊能力、超能力は通常の科学の対象となっっておりません。これが正しいことなのか。一般の大学のカリキュラムにのっっていないといっことは、非常に不思議なことですよ。私は宗教と科学を分けること自体が、我々に対する洗脳が行われているのではないかと思っます。私は「命の不思議探検」に色々なことを書いておりますが、一般の皆

さんが常識と思っていることが意外と間違っだったり、錯覚だったり、学校で教わったことが間違っ違っだったり、社会で教えることが間違っっております。そしてそれに対してどう思っますかといっことで、著者と読者が一緒になっって、不思議なことを探検していきましよう、といっ観点で書いております。

神様といっるのは、大科学者が認めております。アインシュタインとか、湯川秀樹博士、村上和雄博士とか、この方達が書いておられる日記・随筆等に「科学でいろいろ追求し、追求し、最後まで追求していくと、これは偶然に出来たものではない、何か意志をもった存在がこの事象や物体を造ったとしか思えない、そういう現象にしばしばあちります。」と書いておられます。村上和雄先生はすべての遺伝子を書いた存在は「サムシング・グレート(Something Great)」と呼びましたが、これは別の言葉で言えば、宇宙全体の唯一の創造主であり、神様といっことになります。(つづく)



第三百六十九回関西日本 サイ科学会研究集会報告

「ニュートリノ光速超え」の謎を解く鍵は正四面体(プラトン立体)構造を持つSiOH(珪酸シリコン)の生まれメカニズムにあった(仮説)

講師 いよのいし氏

とき 平成24年6月16日(土)
ところ 大阪科学技術センター

プロフィール

1940年1月5日平壤生まれ。1990年頃よりオリジナルな視点で日本語の極意から超自然の成り立ちをひもとく。著書に「天孫降臨マナの壺」「邪馬台国伊予の愛媛西条説」「いのちのことば」「日本の言葉で宇宙をひもとく」(平成24年7月発行)等がある。

「ニュートリノ光速超え」の実験は追試が必要な段階だが、仮説として、電子ニュートリノを虚実複素共役変換式で計算すると、電子ニュートリノの70%は虚実螺

旋運動で生まれる物質起源といえる正四面体構造の半分の要素を担い、宇宙の70%を占める「SiOH」に凝集核融合され、残りのニュートリノは、この「SiOH」の螺旋渦(五次元)を通過することにより、光速を超えたように見える。



この事象から、宇宙に反物質が存在しない理由が見えてくる。

阪大名誉教授工学博士高橋亮人の著書「常温核融合2008」(工学芸社)によると『凝集核融合(常温核融合)には「4D核融合」(D≡重水素)など「秩序」の条件下で「正四面体凝縮」が形成され、「量子トンネル効果」を生む』と指摘。

「凝縮核融合」と「ニュートリノ光速超え」のメカニズムは無関係のようであるが根源では一つに繋がっている。正四面体(SiOH)の「量子トンネル効果」によりニュートリノの光速超えは説明がつくと同時に現代物理学のあらゆる未決の問題を解決する「超統合論」の可能性を秘めている。又正四面体の虚実連続回転で正二十面体の生まれるメカニズムも発見。

☆ ☆

ニュートリノの光速超えはアイシユタインの相対性理論と矛盾なく、虚数を使えば、理論上可能であるという前提で話します。

宇宙と言葉の結びつきがあり、真善美、は五角形、六角形と関係している。五角形、六角形は常温核融合によって生まれる。

光速超えもこの常温核融合から生まれる五角形、六角形と関係している。よって常温核融合のメカニズムを解き明かすと超光速の謎が見えてくる。

以下その論証の参考になる著書を示す。

1. 小柴昌俊「ニュートリノ天体物理学入門」
2. 高橋亮人「常温核融合2008」
3. リサ・ランドール「異次元は存在する」
4. 中島俊樹「水と珪素の集団リズム力」

佐藤勝彦自然科学機構長によれば四次元、五次元を仮定すれば光速超えも可としているので常温核融合によって、ニュートリノから珪素の膜が生まれ、この膜が五次元膜のねじれた通路をつくりそこをニュートリノが通過すれば、みかけ上超光速は可能であると説明がつく。

ニュートリノには電子ニュートリノ、ミューニュートリノ、タウニュートリノがある。

電子ニュートリノから水素原子やヘリウム原子が発生する。

これらニュートリノは太陽の核爆発や超新星爆発の時に発生する。その高温ニュートリノが宇宙の冷却状態になると常温(低温)凝集して物質誕生の正四面体となる。

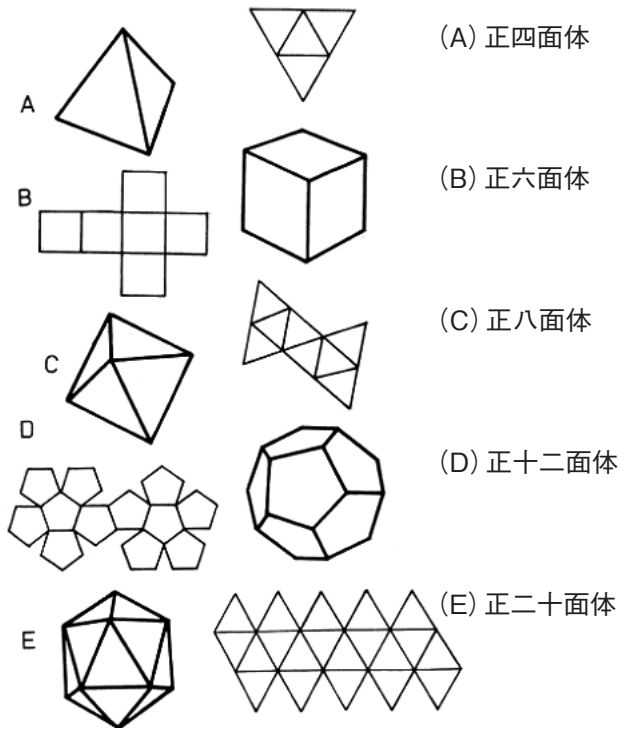
五角形は連続性がない、対称性が破れている。五角形が物質の始まりである。物質は対称性のあるものと破れたものからなる。

正四面体螺旋二十面体回転。電子ニュートリノは計算よりも70%少ない。残りの30%がタウニュートリノ、ミューニュートリノ、70%がダークエネルギーとなつて対になっている。これが地球に届いている。

グラビトン(重力子)は電子ニュートリノの物質化した「電子珪素II(超伝導体)」である。この超伝導体の通路を通れば見かけ上光速より速いと考えられる。発表後初期実験では3年間で3万回行つてすべて光速を超えている。

低温核融合には重水を使用する。水と珪素により生命が発生し、集団の秩序が生まれる。プラトンの立体がエネルギーが最小になる(図1)。

虚実螺旋回転により生まれる。スパーウエーブである。常温核融合実験でストロンチウムからモリブデン、珪素、硫黄、カルシウム等多種の元素が発生する。これは核融合で発生する。



低温超伝導体があれば、荷電中性(子)の中心力により凝集する螺旋運動が起きる。リサランドールもいうように見えない世界が見える世界を作っている。

高温核分裂によって電子ニュートリノが発生、その形は質量を持つ高温対称性の粒子となり、いわゆるこれが神の粒子と言われる「ヒッグス粒子」である。そのヒッグス粒子が低温核融合により、高温と低温の温度差で台

風のように螺旋回転が発生し、正四面体が生まれる。この時対称性が破れ物質の誕生となる。五次元とは縦、横、高さ、時間、螺旋回転で螺旋回転面がずれている。

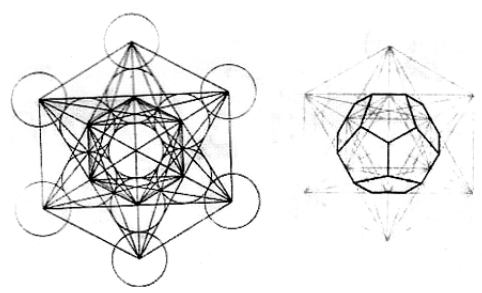
エネルギーの大きいところと小さいところで同じこと(核融合)が起きる。虚実のターニング 虚実一体で物質が出来ている。ビッグバンにより対発生と対消滅の現象が発生するが、冷えるこ

とで消滅が少なくなり、物質が生まれる。

水分子が4個集まつて正四面体となる。

高温時は対称性があるが、急速冷却により物質化し対称性が破れる。

六角形(=物質)は五角形(=精神)が回転することで動く



右:メタトロン立方体の中の五角

正十二面体

左:メタトロン立方体

宇宙は長方形をしている。クラスター化には五角形原理が

入っており、外は五角形で中は六角形であり、これは物質の中に精神が隠れていることを示している。意識もニュートリノも同じ。トネルを通ればワープできる。精神だけでは成り立たない。この世が無ければあの世はない。

東北大学 多元物質科学研究所の蔡安邦教授は、高温液体合金を急速冷却することで、第三の固体準結晶（半結晶）を人工的に加工することに成功した。

その形は五角形をしている。その実験により最初に自然物から発見したイスラエルの化学者ダニエル・シエヒトマン博士は2011年発見から、27年経過してからノーベル賞を受賞した。

注1「メタトロン」（図2）とはユダヤ教の天使の一人で「神の代理人」の意で、その他宗教的な多くの意味を持つ。

「ウィキペディアより」
注2「メタトロン立方体」（図2）とは――

プラトンの五つの立方体（正四面体、正六面体、正十二面

体、正二十面体）（図1）を「神聖幾何」といい神聖幾何の女性原理（円）男性原理（線）をイメージ合体させた幾何をいう。このプラトン立方体は宇宙の構成パターンの基本原理になっている。

「インターネットより」

☆ ☆

五角形と六角形は物質の発生と関係しているようである。

これが五角形と六角形がいろいろなシンボルに使用されている理由であろう。

これについてより深い研究を進めてほしいものである。

当日の参加者は会員12名、非会員17名、合計29名でした。今回のカセットテープは20000円です。事務局（0797・22・6425）まで

（関西日本サイ科学会会長

河野 明夫）

第三百七十回関西日本サイ科学会研究集会報告

誰でもが幸せになるプラチナの風が吹く

講師 重川 風天氏

とき 平成24年7月21日（土）
ところ 大阪科学技術センター

重川氏は昭和19年生まれ、新潟出身。真冬の滝業や断食を体験。インド釈迦の聖地を巡礼する。仏教やキリスト教生長の家神道など数多くの宗教遍歴を経て、苦行や宗教は不要と実感する。

知花敏彦師の伝える真理をより深く理解するため毎日の瞑想を行っている。

現在は風大研究所の顧問として宇宙エネルギーの研究開発に取り組んでいる。

又、全国各地をまわりながら、健康になる方法や幸せとは何か、宇宙エネルギーとは何か、真の脳開発など講演活動を行っている。

天は人の上に人をつくらず人の下に人をつくらず、全ての人が平等で自由である。釈迦は、極楽（幸せ）は、はじめからあなたの心の中にある。イエスは、天国（幸せ）はあなたの手より足より近し。

誰でもが初めから幸せになれるのです。そのメカニズムや具体的なプロセスをプラチナの風と名づけました。

自分とは何か、人間とは何か、意識とは何か、哲学や宗教論や精神論ではなく、誰でもが同じように理解できる内容をお話しします。

お母さんや子供でも理解できる、色即是空、空即是色、色心不二、色心不二が理解できるとハートセンター（胸）があつくなると体中がエネルギーに満たされます。

☆ ☆

ヒマラヤで修行した二人の日本人がいる。中村天風師と知花利彦師である。その二人に重川氏は強く影響を受けている。

中村天風師の天風を風天として自分の名に頂いた。

もうひとりの知花利彦師の話が

今日のメインである。

知花師は今は宇宙科学系の時代であるという。

宇宙は二つある。

一つは仮想宇宙で星、太陽、地球、銀河系の現れた宇宙である。

もう一つが実相宇宙である。

霊体 実相、原因

幽体 経絡、現れを写す

肉体 人間の形をとる

すなわち現れている空の世界と、実相世界である。

今日は全知全能の脳の能力と自分で実感して体感したことを話す。

10年前は神という言葉は使えなかった。

私達は転生を繰り返して自身自身が本来神だと悟るのが生きている目的である。

動物の中で人間だけが神を認める能力を持っている。

宇宙であり、神であり、愛であり、空である、自分の力を発揮できる。

直感は上から来るものではなく自分の中から出るもの。

眠っている時右に入った情報が左へ入り、答えを出してくれる。

このためには問題意識を持つことである。それを文章にする。それも箇条書きにする。これを繰り返していると分りやすい答えが出てくる。それが神が人に与えたものである。



力とは能動原理と受動原理の合わさったもの。

陰 陽

水 火

受 動

母 父

いぎなみ いぎなぎ

神 中庸 仏

宇宙はこのように二つのものが合わさったものである。

中性子、陽子、電子は愛であり人間の心と繋がる。

宇宙エネルギーも含めてすべて愛である。

愛がなければすべてのものは存在しない。

もともとは絶対のひとつのものがあり、それが二つに分れた。

存在するのは中性子、陽子、電子が働いているからである。

山で鳥とか獣が、死んだあと消えることがある。それは用が無くなったから消える。

電子は楕円軌道をとる。円軌道では振動が起きない。

「観る」とはイメージでみることである。

意識エネルギー

神は愛、意思である。

「意」という字は、「心」の上に「日」が「立」つと書く。

意識には意識するものと意識されるものがある。

真理は一つである。私も真理を探したことがあった。

すべての真理はひとつであり、神は愛である。

「正」という字は「一」つが「止」

まると書く。

神は何故人間を創ったのか。

それは神はすべてであるがなにもしない、これはなにもないのと同じ。

神は自分の愛、真理を表現するためにある。

神は何故表現するのか、それは力であるから。

神は無限の力があるが使わなければ無いのと同じ。

お金と同じように使うことで価値が出てくる。

神は永遠に働き続ける。

今の神の体験は、地球の汚れを正すこと、邪気を消すことが一番である。

ホオポノポノに「許して下さい」という言葉がある。これは自分を下げることになる。

本来自分は神である。その神が自分を許すのである。

つまり自我を真我が許す。

すべての人が自分は神であることを知っている。

許すということは神の立場で神の言葉であり、これ以上の「こと

だま・言霊」はない。

瞑想とは

見えないものを観る 意識で観る 心で観る

「心眼」でみえるのは「天国」で波動が高い。

「肉眼」でみえるのは「地獄」で波動が低い。

「内観」では愛を見る。波動が高く力がある。

無になるとは意味がないこと。

これに対し無限とは制限がないことをいう。

イエス、仏陀等の聖典は夫々の時代の産物で、その時代のたとえ話で説明されており、今の時代は理解し難い。

これに対して知花師は現代の言葉で説明しており分りやすい宝物であり、誰でも分かる。

現代の物質世界は行き詰まりつつある。その中で日本人は目覚めてきている。

内観を行うことで自分の中に減らない電池ができる。

愛を観る。何を見ても愛、空、

中庸である。

風により木が揺れる。これは木が風を避けて動いていると見ることもできる。

働きを見ることで色心不二の世界がみえてくる。

☆

☆

自分の中に宇宙に繋がる最高の神がいること、それに近づくことが人生の目的であることを分りやすく示された。一歩でもそこへ近づきたいものである。

当日の参加者は会員11名、非会員9名、合計20名でした。今回のカセットテープは20000円です。事務局(0797・22・6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子 wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2009/ 2/14 天野聖子氏「大いなる自己と対話する自問自答の重要性と地球の現状」
- 2009/ 4/18 小牧昭一郎氏「人間の体の周辺に観察される磁気」
- 2009/ 5/ 9 膳 敬子氏「若返って本当？」チベット体操を体験、感じるワーク
- 2009/ 6/ 7 山本 輝氏「言霊の幸はう日本国の復活」
- 2009/ 7/11 高月美樹氏「太陰太陽暦の活用法」
- 2009/ 9/12 高峯秀樹氏「未来を探る手相の神秘と科学」
- 2009/10/11 第20回全国大会 シンポジウムテーマ「ヒーリング」
- 2009/11/14 山口敏太郎氏「真実とフェイク」環境汚染とDNA操作による未確認生物(UMA)の誕生について
- 2010/ 1/16 前田知則氏「21世紀への適応プログラムとしての心のデトックス」
- 2010/ 2/20 須田泰心氏「超能力者の構造」
- 2010/ 4/10 根本泰行氏「映画『ウォーター』にみる水の真実」
- 2010/ 5/ 8 堤 裕司氏「レイラインと富士塚信仰」
- 2010/ 6/20 久保田昌治氏「水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。」
- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 感じられる“サイ”ー3種類のサイデバイス・ソフト体験会ー
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11 新文明の幕開け ～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ 植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」

微細身粒子というのは、さらに微細な粒子で、欧米の神智学というオーラのこと、未知現象発生時に、チャクラ(生命エネルギー・センター)がヤツボから放出されると判断されている。

図1をみる。(三)の見える世界と(四)の見えない世界の両方に跨って零場がある。未知現象は零場のうえの零点で出現している。検討によると、図1の(二)ならびに(四)の心と物の深いところでは、物と心の区別がつかない程に類似しており、相互に作用しあい、交流しあっている事が判ってきました。心は物であり、物は心である。したがって、心で念じることは、零場の上に、マクロな現象(未知現象)として発生してきます。最近になると、零場付近における現象の応用として、半導体が発明されました。例えば、ダイオードです。素粒子のはたらきが原因となって、半導体を介してマクロな現象があらわれてくる。

このダイオードの応用として、様々な情報機器が発明・開発された。携帯やパソコン、衛星通信、TVなどに応用されており、我々の生活を飛躍的に便利にさせている。このような研究をさらに深化させて意識、無意識の世界にまで拡張することができれば、どれほどか、我々の生活を便利にしてくれる事か、それら恐ろしい感じがします。私達のサイ科学の研究範囲は(四)、(二)、(一)になるだろう、と思います。なお、サイ(気)が原因の未知現象(奇跡)は零点で発生しています。

3. 測定が難しい分野

現代科学は再現性と因果律をもとにしているが、その基礎は測定にあります。測定はできないが、社会生活には極めて重要であり、また欠かせないものとして、形而上学があります。これは精神や魂に関係した分野で、図1の(一)、(二)で示したように。人々の感情や無意識をあつかっており、科学の介入を許さない未開拓の分野であります。たとえば、

- 1) 思考：意識(心)、魂、判断、
- 2) 情緒(無意識と性)：好き、嫌い

- 3) 道徳：善悪、判断、思いやり、信仰心(宗教)
- 4) その他：美術、芸術、音楽、などがある。

未知現象の原因は「見えない世界」に潜在しており、計測は素粒子が対象になります。この理由として、未知現象の結果が示すサイ(気)の性質と素粒子の性質は、きわめて類似点が多いと言うことにある。つまりサイ(気)は素粒子であるといえます。上で述べたが、素粒子は非局所性があり、あいまいで、状態が決まらない。また虚数(イマジナリ)を含んでいる等。

一方、サイ(気)の測定についての注意事項として、実験者効果ということ、つまり測定者と測定される対象物のあいだが繋がっている、または、量子絡み合い(QE)が形成されている事が要求されています。形成された場合に大きな結果が得られ、形成されない場合は小さい、ということに注意すべきでありましょう。

つまり、意識と測定対象物が「繋がる」か「繋がらない」かが問われることになる(QEは後述)。未知現象は、実験値として確かに存在するが、測定には更なる工夫が必要である。現在のところ、サイ(気)の本質や性質は不明なので、直接測定はきわめて難しい。そこで現在は仲介物をおいて、その仲介物の変化を介して、サイ(気)を測定することになる。仲介物として何を用いるか、我々は、分杭峠では「水」、透視・念写では光子・電子を用いた。さらに我々は生命体、例えば卵、植物、魚、水など(中国との共同研究)、ISLISの山本幹男らのグループは人体(生命機能)を用いた。

世界には聖地とよばれるパワースポットは極めて多い。たとえばエジプト、ストーンヘンジ、ウエストミンスター、ルルドの水、エルサレム、日本国内の神社、仏閣、その他、様々であるが、聖地の科学的な測定結果は殆どないという事ができます。さらには、別の測定不可能な対象としては、「生命」があります。生命はこれらとは別に、自ら生きるという志向性を持ち、ネガエントロピー(秩序化を進める性質)という、物とは別の性質をもっています。

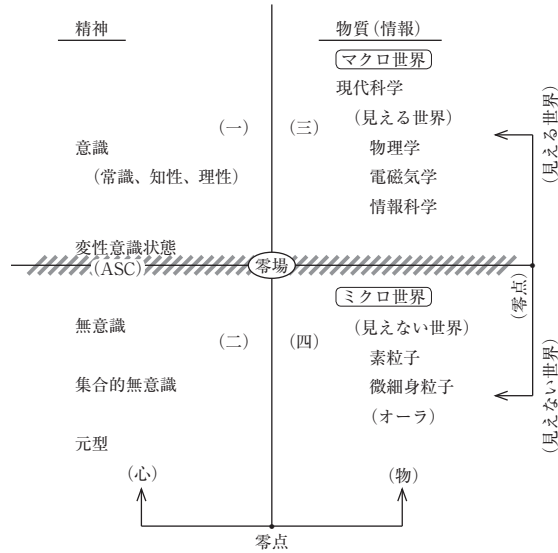


図1 サイ科学の研究範囲

図1の(二)を見てください。意識をささえる下部構造として無意識があります。無意識はフロイトによって発見されたもので、意識の母体であります。意識的と思われる多くの現象も、実は無意識の作用によって行われる場合が多い、といわれております。無意識のさらに下には、ユングによって発見された集合的無意識と元型(アーキタイプ)があります。

図1において、実線で示した壁、意識と無意識をわける壁の上には、零場があります。零場とは、神社や仏閣や分杭峠などのパワースポット(聖地)のことで、ここでは、様々な未知現象、または奇跡が起ります。特徴として、意識と無意識にまたがって存在しているので、両方の現象がおきる事を意味しております。

図1の(三)は、マクロとしての物質や情報の世界であり、ここでは、再現性や因果律が成立しております。17世紀になると、デカルトによって二元論が提出されました。いままでは精神と物質をあわせて総合的に考えていたものを、意識と物質を切り離して、別々に考えることにした。二元論が提出された後は、その結果として、物質文明は空前の発展をとげることになりました。現在の日本では、欲を言わなければ、衣食住と情報において、ほぼ満足できる状態にまで成長したといえます。しかし、医学が進歩した日本においても、皮肉なことに、

病人は減らずむしろ増加しており、医療費は国の年間予算の30%を超えています。さらに心身症が増加しており、自殺者が年間3万人を超え、これが13年以上も続き、しかも働き盛りの壮年者が多い。また現在はパワースポットで多くの人達が癒しを求めて神社、仏閣、分杭峠等に集まってきている。これらは、ことによると、物の進歩に対して心の進歩が殆どなく、心身のアンバランスが生じ、これが原因の一つになっているのかもしれない、と思う。

図1の(三)は原子や固体などで、見たり、聞いたりすることの出来るマクロの世界であります。原子や分子、固体等を対象にした現代科学を支えているのは、古典力学といわれる物理学や電磁気学ならびに情報科学等である。

図1の(四)の原子の構成要素としての素粒子(電子、陽子、中性子)の世界は、ミクロといわれる見えない世界であります。マクロの世界は我々の生活空間なのでわかるが、ミクロの世界は理解ができない別の世界であります。素粒子には非局所性があり、存在があいまいである。つまり目に見えないほど細かな軽いほこりを、部屋の中の空間にいっぱいまき散らしたような状態で、ふわふわと、浮いて存在している。未知現象の原因としてのサイ(気)も素粒子とほぼ同じような状態で存在している。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

願いを叶える為の科学 (1)

佐々木 茂美

1. はしがき

私達は、いろいろな希望や悩みを持ちながら、毎日の生活を繰り返しております。欲望にはきりがありませんが、少なくとも、これだけは叶えさせて貰いたい、という「願い事」の一つや二つは、必ず持ちあわせております。季節のかわり目に伴う生活の節目には、神社や仏閣などの聖地にお参りして、両手を合わせて、お祈りをするのですが、単なる気休めではなく、確かに願いが叶った、と確信の得られる場合があります。

私達の身のまわりにおきる出来事をみますと、ふつうは、良い事柄が50%、悪い事柄が50%程度でしょう。しかし、筆者らの方法を応用してこれを60%と40%、70%と30%というように、良い事柄が多い方向に変えることができれば、どんなにか素晴らしいことか。そこで、今回は「是非とも」という切実な願いを叶える方法の基礎について、検討することになります。

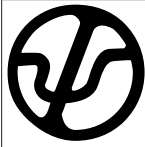
2. 未検討の研究分野

私達の毎日の生活を、四種類の世界に分けて示したのが図1です。左上の(一)は精神または心の世界であり、心とは、意識と無意識の両方を含めたものをいいます。また、意識とは常識のことで、人間としての知性や理性をいいます。

いま科学技術の最先端、最盛期にあるのは、アメリカとヨーロッパであると思います。そこに生活している多くの人達は宗教としてキリスト教の信仰をもっており、クリスチャンです。キリスト教は三位一体の神、つまり、父(神)と子(キリスト)と精霊というように、人の心は神によって造られているので、また人間としての尊厳でもあるので、科学は犯してはならない。つまり科学的な方法で心を分析し、解析してはならない。心の科学分析はタブーであったという歴史を持っております。

科学的な分析とは何か? というと、再現性と因果律が成り立つということ。その方法をつかえば、だれでも、何時やっても、何回やっても同じ結果が得られる、という事を意味しております。このタブーがあった為ですか、心の世界は、今から5年、10年、50年~100年もの永い間、科学的な解明や解析が行われていなかった。つまり心の世界は、進歩がほとんど無い状態で過ぎてきた、と言えると思います。

しかし、今になると、人工知能やロボットの開発・発達の面から、精神の科学的な研究・開発が行われるようになってきました。図1において、意識と無意識のあいだには、直線で示した壁があります。知性や理性を薄めて無意識に近づけ、意識を変容(変性)させたものを変性意識状態(ASC)といいます。なお壁を、一般には、抗暗示性障壁とよんでおります。



サイジャーナル

月刊
25-1・2
第407号

日本サイ科学会 平成 25 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎・FAX 0584 (91) 1192	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎・FAX 0797 (22) 6425	〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫

年頭のご挨拶

会長 佐々木 茂美

謹賀新年 あけまして おめでとございます。本年がよい年であります様に、お祈り申しあげます。



新年度が日本サイ科学会と会員の皆様方にとってより良い年であります様にお祈り申し上げます。昨年中は様々な面でご支援とご協力を戴きまして誠に有難うございます。本年もよろしくお願い致します。振り返ってみますと昨年より多かつたように思います。新年度もおそらく閉塞感は続き

将来を見通すことが出来ず不安であると思いますが、暗いトンネルを抜けることによって再びよい、新しい発展が来ると言われております。今年は何とかしてより良い年にして戴きたいと願っております。

陽(+)の面の一番目は2012年7月に報道されたビッグス粒子の確認(発見)だと思えます。世界最大の加速器で捉えられたとの事。宇宙の創生時の物質に質量を与えるメカニズムを解明する事が出来そうであり、40年以上にわたり、世界中の研究者が探し続けてきたもので、世紀の大発見であると言われております。

二番目として、10月には、京都大学の山中伸弥先生のノーベル医学生理学賞(iPS細胞の開発)受賞の発表がありました。日本人としては19人目のノーベル賞で無限の可能性を持つ夢の細胞の開発であり、病気の原因究明再生医療新薬開発等に役立つといわれてお

今月号の記事

- ◎年頭のご挨拶
- ◎計報
- ◎一月本部例会のお知らせ
- ◎二月本部例会予告
- ◎第18回宇宙生命研究分科会予告
- ◎関西サイ科学会一月例会予告
- ◎関西サイ科学会二月例会予告
- ◎関西サイ科学会三月例会予告
- ◎五月本部例会報告II
- ◎六月本部例会報告
- ◎第三七一回関西サイ科学会報告
- ◎第三七二回関西サイ科学会報告
- ◎オーブ(ORB)の出現について

ります。三番目は8月のロンドンオリンピックで日本では史上最大の38個のメダルが獲得されました。精華の主因は「女性」と「絆」で女性の団体種目の活躍が特徴的であり吉田沙保里選手の国民栄誉賞受賞等がありました。さらに8月には米国の火星探査機が火星に着陸に成功して生命の痕跡調査を開始したというビッグニュースもありました。

陰(二)の面は政治経済社会環境、その他で多彩です。しかも、これらは直接的で、生活の基盤そのものなので重要であります。日本における政治の混乱と景気後退は誠に残念であります。世界人口が70億を超えと言われる現今において世界経済の不振は、不安を越えて不気味であります。14ヶ月以上にわたるシリアに於ける内戦状態ギリシャスペイン等欧州における経済不況デモ等、最近では尖閣諸島に関係した中国の過激な反日デモがありました。

日本国内では3・11の東日本大震災後の災害復興原発事故の処置等は終わりを見せておらず現在も深刻であり、進行中であります。他方TVデジカメ携帯電話などを生産する日本の中核産業としての大手家電産業の赤字は巨額でありさらに半導体のルネサス等弱電大企業の景気後退がこれに追い打ちをかけております。これらは世界不況、景気後退、株安、円高、競争激化の結果でありまた相互に関連していると言われております。

環境面社会面を見ると、日本にも竜巻や台風暴風などの襲来がありました。10月の米国のハリケー

ン。フィリピン沖スマトラ沖の地震等も記憶にのこっております。工場の海外移転や景気後退等に関連して生活保護世帯は過去最大の211万人を超えています。年間3万人余の自殺者がありしかも壮年者が多い。医療費の支出は9年連続で増加し続け37・8兆円を超えた。しかしこの約1/2は65歳以上の医療費であるとのこと。認知症の高齢者は300万人を超え10年で倍増した。これらを補うために国の借金は983兆円で過去最大であるが個人の現金預金は844兆円もあるとのこと。悪い

事の後に、良い事がやってくる、と言われております。また低く屈むほどより高く跳び上がる事が出来ると言葉が有ります。陰の部分と正確に捉えて低く屈んで飛躍の基にする事が必要であろうと判断しております。頭を働かせ、アイデアやヒラメキを総動員させて、失敗を恐れずに努力して汗をかく自らを鍛えてそれぞれにベストを尽す事が、いま求められていると考えております。

サイ科学分野について。私達は主として物と心に関係した諸問題を取り扱っております。精神(心)

の分野、特に魂や霊の問題は、科学的な手法による解明は未検討であります。既存の枠組み(再現性因果律)にはとらわれないで現代科学の枠組みを多少越えた部分(精神)をも含めて研究と啓蒙を続けております。この様な方法をとる事により、未知な精神の世界の科学的な解明が期待出来ると思えるからであります。よりよい未来を建設・開拓する為に、努力を続けて行きたい。喜ばれる、役に立つ研究・啓蒙を行い、会員の減少傾向を食い止めて、学会の運営基盤を固めて、研究・啓蒙運動を盛り上げて行きたいと考えております。本年も宜しく、ご指導・ご協力をお願いいたします。

計 報

会員数百名のテレパシー研究会を組織し、会長として昭和42年から約20年間にわたり、「テレパシー」誌を刊行された市村俊彦氏が、十月三日、永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。

一月本部例会のお知らせ

α 波のコヒーレンシーについて

講師 志賀一雅氏

外界からの刺激によらずに観測される脳波は定在脳波と呼ばれ、周波数帯域により δ 波($1-3\text{Hz}$)、 θ 波($4-7\text{Hz}$)、 α 波($8-13\text{Hz}$)、 β 波($14-30\text{Hz}$)と呼ばれています。 α 波は後頭部から閉眼時に強く観測され、目を開けたり考えごとをすると消失することからリラックサスの脳波と言われていますが、前頭部から半眼状態の座禅の瞑想中において α 波が計測された報告があり、筆者は自律訓練法における受動的注意集中状態でも前頭部から α 波が観察されることを見出しました。

特に左右前額部から計測される α 波が一定時間コヒーレントになると、その理由は不明ですが、ESPやPKと思われる現象が観察されます。また、2人の前頭部の脳波を同時に計測して一定時間コヒーレントな状態が続くとリーデ

イングやヒーリングが行える状態になるのではないかと思われまます。これらの具体的な事例について紹介します。

※能力開発・応用分野における脳波測定的第一人者である志賀一雅先生の、久しぶりの御講演です。で、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

●志賀一雅氏プロフィール

1937年 東京生まれ

1961年 電気通信大学卒業

松下電器産業入社、東京大学物性研究所にて半導体物性を研究
1965年 松下技研にて半導体集積回路、LSIの開発

1976年 東京大学工学部研究員を兼務しアルファ脳波の研究
1983年 株式会社脳力開発研究所を設立 東海大学講師を兼務
1994年 徳島大学工学部講師、日本理科学検定協会理事、日本数学検定協会理事

現在 脳力開発研究所所長、米国バイオフィードバック学会会員、電気通信大学大学院人間情報学研究所研究員 工学博士

日時 平成25年1月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とぴあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

二月本部例会予告

「疾病を根本から改善する」 新治療法を求めて

講師 宇治橋 泰志氏

I・H・M LLP (国際先端医療技術有限責任事業組合)
免疫整体「こころ一番」

「なぜ人は病気になるのか？」
私達人類はこの永遠のテーマに向かつて、懸命に努力してまいりました。

しかし、結果は実に無惨なモノ
で、例えば生活習慣病死亡率第一

位のがんなどは、早期発見早期治療を唱えて久しく、あらゆる最新医療技術と膨大な資金を投入しても減るところか未だに増え続け、そのため国家財政をも危うくさせております。このことは、何を意味しているのでしょうか？

どうやらこれらほとんどの疾病は、加齢、悪しき食生活、ストレス等から、血液(体液)が汚れて行くことに主因があるようです。血液が汚れると体内の免疫体制も乱れ、結果として、がんなど生活習慣病や、難病等、様々な病気が発症されると考えられます。

先般、温暖化等による世界的環境異変が問題となっておりますが、生体内においても同じことであり、様々な生命の共生の場である体内環境こそ、人の健康にとって何より大切な問題であるようです。

一例ですが、血液中には、共生微生物(既に血液中に観察されている微粒子)が棲みついております。当組合および当院では、それらを観察・研究しながら、血液浄化に優れた効果のあるAWG療法(目的に有効な特有の周波数をシーケンシャルに発生できる任意波動発生器を用いた療法)を取り入れ

た施術、すなわち、免疫・リハビリ・システム(MRS=immunities Rehabilitate System)を行うっております。

第3回目の今回の講演は、「体内共生微生物の詳細」と「病気の根本原因」、そして、「治療法と予防法」について、主に触れて行きたいと思えます。

※これまでに2回、二年毎にご研究の進歩を発表いただきましたが、またAWG療法の新しいデータも含めてお話しいただきますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

●宇治橋泰志氏のプロフィール

昭和17年4月5日 長野県塩尻市生まれ。昭和35年 丸善石油㈱(現在のコスモ石油㈱)入社、以後約30年間、石油と石油化学の世界で主に技術屋として勤務。平成6年退社、平成9年(株)高ボッチ代表取締役となる。平成15年 免疫力・リハビリクリニック開業(両国)。平成17年 免疫整体「こころ一番」開業(クリニック閉鎖)。平成18年 国際先端医療技術有限責任組合設立、総務担当。平成22年 日本

防医学推進委員会に認定される。平成23年「MRS」が優秀な知的所有権として東久邇宮記念賞を受賞。平成23年「MRS」による治療行為等に対し東久邇宮褒賞受賞。現在に至る。

日時 平成25年2月9日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みとなります。

第18回宇宙生命研究分科会

第5回ヒポクラテス・シンポジウム

テーマ「自然治癒力について」

日時 平成25年3月31日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター第3会議室
品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R 京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・日本空中現象調査委員会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会 一月例会のお知らせ

出口王仁三郎の大復活

講師 櫻井喜美夫氏

日時 平成25年1月19日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会 二月例会のお知らせ

魂にひびく瞑想

講師 鹿毛俊孝氏

日時 平成25年2月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会 三月例会のお知らせ

千鳥学説とは

講師 酒向 猛氏

日時 平成25年3月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで



命とソマチットと般若心経の探検(つづき)

講師 徳永康夫氏

般若心経について

50歳を過ぎていろいろな悩みを抱えた時に、般若心経に出逢いました。最初は解説書を片っ端から読みましたが、どれを読んでもいいことが書いてあるのですが、原文の意味がよく分かりませんでした。

般若心経の中で一番有名な文字「空」という言葉の解釈で皆迷路に入っています。ところが、私に言わせると、「空」というのは、この世とあの世、肉体と靈魂、要するに人間が二重構造であり、宇宙が二重構造である」ということを前提に解釈すると、パッと分かっってしまうのです。「空」という言葉は皆ものすごく難しく、哲学的、宗教的に解釈してしまっているのです。ところが「空」は「空」なんです。漢字で「カラ」ということ

お経は元々インドの古代のサンスクリット語なんです。それを中国の三蔵法師、すなわち玄奘三蔵さんが中国語に翻訳して持ち込んだのです。そのとき「空」という文字を使ったのです。元々サンスクリット語ではなんとというか。



「シューニャ」というサンスクリット語で、その元々の語源は「膨らむ」という動詞です。その「膨らむ」から転化した名詞なんです。だから、例えば風船を膨らませると中は空(カラ)に見えますが、全然何もなかったわけではないですね。「シューニャ」というのはそういう意味の「空」と訳したの

です。「ない」というのでしたら、「無」という文字がありますね。般若心経の中には、「無」という文字が16くらいあったと思います。ですから「無」と「空」は使い分けております。

しかし、私が訳した言葉は、「あの世から見ると、この世は実体的でない『空』のようなものだから、あまりよくよ悩むものではない。」、それは死んでしまえば、あの世に行くのだから、この世で見聞したすべてのものは消えてしまふんだよ、一部大切なことは魂のほうに知識として蓄積されるけれども、この肉体をもってこの三次元の世界で経験したかったことではないことは、その場で消え去ります。だから、「空」のようなものだから、嘆いたり、怒ったり、恨んだり、妬んだりするような感情の起伏に惑わされなくていいんだよ、ということを「空」だとしたのです。この世の次元でいくら「空」を考えても答えは出てこなかったのです。あの世の次元で見ればいいのです。

「般若」はサンスクリット語の「パンニャ」を中国語に音写した

ものです。サンスクリット語で智慧を意味する「プラジュニャー」の俗語が「パンニャ」で、それを中国語の「般若」に替えたのです。「波羅蜜多」は「パラミター(彼岸に到る)」を音写したものです。それを日本語読みで「般若波羅蜜多心経(はんにゃはらみたしんぎょう)」ということになるわけです。このことを知って、般若心経の意味が分かるようになったのです。

「般若波羅蜜多」は「彼岸に到る智慧(ノウハウ)」ということになります。死ねば彼岸に行けるのですから、ノウハウなんかいらぬのに、取ってわざわざ「彼岸に行くノウハウ」と言っているのは、何かほかの意味があるはず。そうすると「生きていながら、あの世に行くハウツウがある」と考えられませんか。自分で体脱をして、あちこち訪ねて調べたり、死んでも生きているんだ！宇宙の仕組みはこうなっているんだ！と調べた人がいます。菩薩やお釈迦様あたりもそのくらいのノウハウは持っている可能性は十分あると思いませんか。お釈迦様が瞑想して、体脱して色々な宇宙の仕組み、あの世とこの世の仕組みを知

って、我々に教えてくれた、そう考えるとすつきりしませんか。

般若心経の終わりにある「故知般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪 是無上呪 是無等等呪 能除一切苦 真實不虛 故説般若波羅蜜多呪」は、「だから、『彼岸に行くノウハウ』を知る必要があるのだよ。それは大いなる真言（マントラ）であり、光明となる真言であり、この上ない真言であり、比べるものもない真言である。その真言は、一切の苦を取り除いてくれるものであり、これは真実であって、嘘偽りではないのである。だから『彼岸に行くノウハウ』の真言を説こう。その真言は次の通りだよ。」ということだ。

ここからいよいよ、出家できないお釈迦様の教えを直接聞いて修行することも出来ない、一般の衆生に対する、悟りを得るための「真言（マントラ）」が明かされます。「羯諦 羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶（ぎやーていぎやーてい はらぎやーてい はらぎやーてい ほじそわか）」を日本語に直訳すると、「行った行った 彼岸に行った みんな、彼岸に行った 悟りよめでたし」

となり、ちょっとズッコケてしまいます。

結論として、「般若心経」のストーリーは、弟子の舍利子のお釈迦様への質問「お釈迦様の教えに接する機会のない一般の衆生はどうやって悟りを得られるのか？」に対し、瞑想中のお釈迦様に代わって、観自在菩薩が全ての苦を取り払う真言（マントラ）を衆生のために示した、という教えだったのです。ですから、般若心経は一つの方便であって、仏教の教えの精髓を凝縮したお経というものではありません。

「般若心経」は書き写すだけでもいいことが起きると言われます。私は前の妻を平成15年に亡くしましたが、そのときに病院で19時間ずっと娘と一緒に付き添いました。医者が「亡くなりました。」と言ったときに、般若心経を娘と一緒に唱えました。それまで妻の口の中にパイプが入っていたりですごく苦しそうな顔でいたのですが、般若心経を唱えてあげた途端に、顔がすっと穏やかできれいな顔になったのです。だから、目に見えないパワーがあるのは本当だな、と

思いました。

ソマチットについて

まず人間の血液の中に見えるソマチットをお見せし、次に貝の化石を粉にしたものの中に見えるソマチットをお見せします。

※映像を見せながら

これは貝の殻を20〜30ミクロンの粉にし、水素水に漬けていたら、こういう黒いものがチヨロチヨロ出て来ました。この貝殻は2500万年前の化石で、これを塩酸で溶かすと、この膨大な量のソマチットが現れました。これから何が分かるかといいますが、2500

0万年前にいたカミオニシキガイの中にソマチットがいた、そしてカミオニシキガイを塩酸で溶かして出て来たので、間違いなく貝殻の中にソマチットがいたことです。したがって、これらのソマチットの年齢は2500万歳ということになります。また塩酸で死ななかつたことも大きなことで、バクテリアならすぐ死にますが、ソマチットは元気に動いています。不思議ですね。

これは植物の中、すなわち花粉の中にいたソマチットです。花粉

の中でこのダンスを踊っているように見える多数の小さい粒がソマチットです。花粉は20ミクロンありますが、その花粉のカラを破って中味だけ出して集めたソマチットです。

私は、ソマチットの名付け親で長年ソマチットを研究しているガストン・ネサンに会うために、カナダのケベックへ行きました。彼の発明した位相差顕微鏡というのは3万倍（通常の顕微鏡は千倍くらい）の倍率があります。それで血液を見ますと、赤血球の周りに無数に動いている小さいものがソマチットです。

ソマチットというものは大変小さい存在であって、生きているらしい、長命である、塩酸でも硫酸でも死なない、真空状態でも酸素状態でも死なない、熱を1200度にも上げて死なない、マイナス60度でも死なない、おそらくマイナス273度の絶対零度でも死なないでしょう。

ソマチットは不死の存在であり、子供を作って増殖し、16段階に変身するので、生命体ではないかと推測されます。



六月本部例会報告

密教開運術

「強運の成長戦略提言 ～ 氣を高めれば運はやつてくる」

講師 松永修岳氏

(ラックマネージメント・フォーラム代表)

「運と風水」というのが、私の一番の専門領域ですが、運とは「氣を運ぶ乗り物」、氣とは「情報をもったエネルギー」というのが私の理解であります。運が良いというのは、自分にとって都合のいい情報とエネルギーに満たされていることをいいます。

皆さんは運とか氣とか見たことがないですよ。せいぜいオーブみたいなものはいろいろご覧になったかと思いますが。

※写真を順に見せながら

例えばこれが家の前を動いている大地の氣です。氣には、天の氣と人の氣と地の氣の三つの種類が

あります。大地の氣はDNAと同じ二重螺旋構造で動いています。この家の前を通り過ぎていきますので、この家は栄えませんが。氣が入って来ない家なのです。氣が家のほうを避けちゃっているのです。



例えば、そういう家の特徴は、植物が家から離れるように外に向かって伸びる習慣があります。家に向かって樹木が伸びてくるのは、家のほうに氣が流れてくるということです。植物の向く方向というのは、氣が集まる方向に必ず樹木は動きます。ですから家を避けているというの、その家には氣が入って来なくて、栄えないということになります。

次の写真は地の氣が家の中を動いておられます。私は普段でもこういうのが見えているのですが、カメラに撮ると皆さんも分かるのです。私が撮っていないけれども、私がおそばにいと氣が写ります。能力や幸運や不運も移ります。

地の氣は、「健康と安定性」と関わり、天の氣は「チャンス」と関わっています。昔の人はこういうのが見えた人々が沢山いたと思います。地の氣は「地龍」とも呼び、大地の龍なのです。二重螺旋がまさにウロコに見えるでしょう。

これは天の氣です。月の氣を撮影したのですが、天の氣を引っ張り出して、家の中にもつてくる、これが風水です。氣を家にもつてくるのが風水です。神社・仏閣すべて風水建築です。月の氣を家にもつてくると、「運がツク」のです。「ツキ」というのはここから来ているのです。

これは神殿から出ている氣を撮影しています。神社・仏閣ともエネルギーのいいところは神殿の中からもものすごく氣が出ています。そうでないところは全く出ており

ません。ただお社があるだけです。

これは建築中の風水住宅で、人脈が集まるようにしてくれ、ということ。人脈の氣は、少しピンク色を帯びています。

こちらは、パリのミレニアムオペラホテルと、ノートルダム寺院の中に動いている地の氣です。

ガソリンスタンドを埋め立てた上に建てたマンションに集まってくる氣は、汚れた氣となります。墓地に集まる氣は黒い邪氣が多くなります。

面白いことに家の門に「家紋」があると、邪氣をはね返します。「レイ・ビトン」のマークも日本の家紋を参考にして、造られました。あの「LV」のマークもエネルギーをもっています。

地鎮祭というのは単なる形式的行事ではなく、大地の邪氣を抜くことが目的なのです。

我々の眼は光の波長が、380ナノメートルから760ナノメートルの範囲で見えています。その前後の波長は肉眼では見えないのです

が、私みたいな特殊な人間はこの幅を超えているので、気を捉えることが出来るのだと思います。

この写真は、今年の一月の元旦に私が、孔雀明王の護摩を焚いているところです。前と後ろで同時に焚いているのですが、前のほうをよく見ていただくと、炎が孔雀のような頭になっています。私が腕を上げると、炎の中に毘沙門天が出てきて、私の動きと炎の毘沙門天の動きが連動しています。

真言密教の護摩法のご祈祷は効くのか、現象を起こせるのか?と私が22、23歳の頃本山博先生のところまで少し修行をしていまして、AMI(本山式経絡臓器機能測定機)で測定したら、チャートで膀胱経の経絡が他の経絡と比べてばこっと凹んでいます。次が護摩を受けた後のチャートですが、膀胱経が改善されています。こういうふうな現象が起こせるのが、ご祈祷の世界で、信じれば救われるというのは嘘で、信じなくても現象は起こせるのです。

真言密教における護摩は、大脳

生理学から生まれた技法で、護摩の炎は人の考えを深くさせるように、脳へと働きかけていきます。護摩の炎そのものが10ヘルツのミッドアルファ波であり、密教の阿闍梨は護摩を焚きながら脳波を10↓9↓8↓7↓6ヘルツと周波数をどんどん変えていきます。そしてある意味では集団催眠のような形で変性意識状態にして、体の治療に入ります。

炎を見つめることで、脳の第三脳室の視床と視床下部と呼ばれる場所が刺激されます。視床下部は人間の本能や欲望・感情の働き、自律神経系を総合的にコントロールしている大切な器官です。そこを最も揺さぶるとというのが、密教のご祈祷です。この第三の眼と言われる視床下部が炎を見つめることで刺激されて、心と身体が整っていきます。これが護摩の脳科学的な側面です。

心の持ち方が身体に強い影響を与えるということは、古来から言われてきました。現代はそれを音声認識によって、脳の状態を全部証明することができるようになっ

てきました。

例えば「マントラ」というのは言葉ではなく、仏の音声なのです。肝臓が出している周波数に共鳴するマントラ、心臓に共鳴するマントラ、鼻に共鳴するマントラ、耳に共鳴するマントラ、・・・があります、それは全部音声であってそれは全部脳に行くわけです。

脳はその音声情報によって、βエンドルフィンを出したり、ドーパミンを出したり、アドレナリンを出したりします。まさにその音声は世界共通です。

ここに近年、光吉俊二博士が開発した音声から心の状態を分析する、つまり脳の自律神経の働きとホルモンの状態を一瞬にして判断してしまうという測定器があります。例えば本等に「うれしい」という気持ちで「うれしい」と言えば、表示される色で分かります。

西洋医学では胃が悪いと胃の治療をしようと思いますが、密教の医学は全部脳が悪いと考えます。ですから脳を治さなければダメなのです。そして、脳は環境と心に影響されるのです。感情が意識を支

配するというのは愚か者なのです。意識が感情をコントロールするのです。この感情こそが人間の病とも関係するのです。

どんな音声を出しているのか、それによって自分の脳の状態を正しく捉えることができれば、様々な病気に対処できるということですから、この装置は東大の先生が開発して、東大の医学部で臨床してきただけです。

週に一回以上、教会に通っている人の場合、無宗教者と比べて2割以上も寿命が延びるという調査が発表される等、その研究発表は1200例を超えているといわれます。

特に有名なのは、サンフランシスコ総合病院のCCUに入院していた393人の心臓病患者による実験で、他人に祈られた患者はそうでない患者よりはっきり治療効果が上がるといことが判ったのです。また、この実験から祈りの効果は距離と関係しないことも判りました。病院のすぐそばで祈るのも、何百キロ離れたところから祈るのも、効果は全く同じだといふことです。従って、病人のすぐ

そばにいたることができなくても、遠くから祈ってあげるだけでも、病状の進行を防いだり、傷みを和らげることができるとのことです。

さらに他のグループの実験で、祈りの経験の長い人ほど祈りの効果が大きいかも判りました。また、「無指示的な祈り」は「指示的な祈り」より効果が大きいことも判りました。「指示的な祈り」とは、例えば、ガンが治癒すること、苦痛が消えることなど、祈る人が特定のイメージを心に抱いて祈ることです。いわば祈る人は、宇宙に「こうしてくれ」と注文をつける祈りです。それに対して、「無指示的な祈り」は、なんらの結果も想像したり、注文したりせず、ただ「最良の結果になってください」とか「神の御心のままにしてください」と、宇宙を信じてお任せする祈り方です。

実験結果では、「指示的な祈り」と「無指示的な祈り」のどちらも効果が上がりましたが、「無指示的な祈り」の方が「指示的な祈り」の2倍以上の効果をもたらすことも多かったのです。研究者たちは、この結果を見て、「科学的な見地から見れば、どうすべきかを知って

いる『力』が存在するという事実

は衝撃的です」と語っています。

祈りによって愛にあふれた知性とつながる時、その「どうすべきかを知っている『力』」は、祈りの対象を最適な状態に向けて動かし、その対象の本当のニーズに最も合った方向へ導くのです。

※ここから運を上げるための様々な知識と方法(前半)を箇条書きします。

これからの時代は「運」は幸せになる条件

・努力が結果に結び付かない成熟社会の始まり

・経済的身分が固定された階級社会の始まり

貧困の世襲、不運の世襲、代々貧しさを受け継ぎ、不運を受け継ぐ階級社会

富の世襲、強運の世襲、代々豊かさを受け継ぎ、強運を受け継ぐ階級社会

不確かな時代

「運」がよくないと結果が出ない
どんなに努力しようが、脳力が高かろうが、一流大学を出ようが、

運が良くないところまでいっても、結果に結びつかないのが現実

努力と脳力を結果に結び付ける力こそ「運」

先が読めない時代に最もやるべきことは「自分の運を鍛えること」
運がいいこと以外に生き残れない時代が加速している。長生きしたければ運が良いこと。

実力のない人には仕事において、運もツキも関係しない。実力が高まるにつれて、運やツキは最も重要なファクターとなる。

ツキや運などないという人とは？

その人は間違いなく仕事で活躍していないか、謙虚さのないごう慢な人間といえる。

なぜなら活躍している人や成績の良い人たちは、ツキや運がなくして大きな成果をあげることが出来ることを知っている。

努力ならば負け組会社の社長のほうが勝ち組会社の社長よりも必死で努力している。

ツキや運は人間の潜在脳力を引き出したり、高めたりする不可視な力を持っている。

ツキや運のある人の目立った特徴

1. 自分はツキがある人間だと思っっている
 2. 今までも運に助けられた経験がある
 3. 仕事においてツキや運のある人間とかわっている
- ↓さらにツキや運のある人間が集まってくる

この時代、結果を出すのに最も必要な3つの力

1. 変化を読み取り、流れを変えられる力
2. 自己課題設定力
何をどうやって実行するのか
3. 運の成長戦力
運を経営戦略に組み込む

運力を上げるのに必要な3つの力

1. 明るい性格を鍛える
明るくないと流れを変えられない
2. 人の話を感動して聞いたり、好奇心を持って聞く

話をよく聞かないといい情報を得られない

3. 尊敬され、人に好かれる自分を鍛える

好かれたいと人を動かさない

運をも経営戦略に取り入れることが必要

1. 成功とは誰かが自分にしてくれること

2. 成功へと導いてくれるのは、自分ではなく他人

3. 他人が協力してくれないと成功できない

すべて他人がカギ

誰と出会うのかそれも運

運命はすべて出会いと運と絆で決まる

人、土地、住居、ペット、友人、パートナー、・・・他

運に好かれる人は人にも好かれる人

仕事の脳力は人脈運で決まる

人脈運は自分の可能性を広げてくれる

運に好かれたければ人に好かれることだ

(つづく)

第三百七十一回関西日本サイ科学会研究集会報告

第1部『真実さえ広まれば世界は今にでも理想郷にできる—代替医療の現場から—』

第2部『科学から見た地球空間説』

講師 藤枝 縁氏

とき 平成24年9月15日(土) ところ 大阪科学技術センター

【藤枝縁（ふじえだえにし）氏は1980年生まれ。31歳。早稲田大学理工学部資源工学科卒。東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程卒。

Lighthood 代表。月々金は大手広告代理店に勤めるサラリーマンであり、かつ『週末』社会起業家。代替医療、食文化、心の健康、経済システム、精神世界など多岐に渡る講演を全国で手がける。

第1部概要 代替医療により日本の医療費負担は激減します。

・副作用のない癌の対処方法「丸

山ワクチン」

・カナダでは認可が下りている抗がん剤「714-X」（通称ソマチッド療法）

・分子薬理的な糖尿病への効果が発表されている「ステビオサイド」

いずれも、安価で副作用がなく、完治に近い結果をもたらすと言われています。



第2部概要 科学からみた地球空間説

地球はやっぱり「がらんどう」だった。内側の世界に文明が存在する。

真実を知り、広める事で自分と大切な人々を守る術をお伝えします。

第1部『真実さえ広まれば世界は今にでも理想郷にできる—代替医療の現場から—』

私（藤枝エニシ）自身も、転職した先の会社での異常な激務とパワハラからうつ病を経験した。「うつ病は心の風邪である。よってうつ病も服薬と休養で治す」という心療内科や大病院の精神科の先生方の指導のもと治療に専念したが、症状は悪化するばかり、副作用も酷いものであった。「このままでは近い将来に廃人化する」という危惧から別の治療法を探し、結果的に催眠療法による早期回復で社会復帰した。

「服薬と休養」という精神医療の世界の常識は、私に限っては全く効果のないものであった。逆に治療に貢献したのは、国家資格も持たない単なる一人のセラピストであった。ここから、世の中の常識に対する疑念が生じた。世の中で難病と言われているものに、本当は廉価かつ根本的な治療法が存在するのではないかと。

ネットを含めて種々の文献を当たってみると、実に色々な情報が

見つかった。それも明らかにオカルトや噂といった次元のものではなく、既存の科学の検証に十分に耐えているものばかりである。

例を挙げると、

- ①カナダの厚生省で認可が既に下りており、末期癌の患者に対して癌治療の一つの選択肢として認められている「ソマチッド療法」
- ②癌細胞をコラーゲンの膜で包囲し、転移や増殖を抑制する「丸山ワクチン」

- ③2006年の日本糖尿病学会にてその分子薬理学的な血糖値低下作用のメカニズムが解明され、既存の薬効成分「ピオグリタゾン」の数百倍の効果をもちかつ副作用が無い「ステビア発酵濃縮エキス」等々。

現代の世界は資本主義で運営されているため、出来るだけカネが掛かり、長引かせ、根本的な解決にはならないという治療法が最終的に残るといふ不幸な仕組みになっている。マスコミはスポンサーである製薬業界の顔色をうかがい、前記のような治療法の特番など組めない。製薬業界と政官は治験と天下り先という蜜月関係のため、あうんの呼吸で隠蔽に走る。お医

者様は点数にならない自費診療などやっても仕方がない。こうして、本当の治療法は患者以外の誰にも歓迎されず、日の目を見ないのである。

しかし、インターネットという個人一人一人がジャーナリストたり得る情報発信の手段を手に入れた今、こうした情報統制は風前の灯火であり、全ての真実が表に出る日は近い。燃える水、空気で走る車、電磁波の影響を無くす技術等々、今後は素晴らしいものが目白押しである。

第2部『科学から見た地球空洞説』

古今東西、地下に潜っていった先に地上とは違う別世界の文明が栄えていたという伝承は枚挙に暇が無い。チベットの山奥でダライ・ラマが守る経典にはアガルタと呼ばれる地下世界のことが記述されているし、大戦直後に北極を飛行していたアメリカ軍パイロットが地下世界を写真に収めている。また、ノルウェーの漁師が地下世界に迷い込んで数年という時間を過ごした際の記録が本として残っている。

地球は中身がぎっしりと詰まった球体構造で、中は高温・高圧のマグマが対流し、中心部にはコアと呼ばれる金属の塊があると教えられてきたのであるが、地球が空洞であるという前提に立たないと説明の難しい事象が多く存在する。

例えば

- ①海溝へ潜っていくと、計算よりも遙かに速く重力が弱くなっていく。
- ②全ての大陸がバラバラになる方向へ移動していく(風船の表面に塗った泥を乾かした後に膨らませたように)。
- ③大陸上の起伏に比べれば穏やかなものの、海面にも明らかかな高低差があり、最大100mにも達する。これには等高線を引くことが可能で、常に一定で不変である。これは間違いなく重力場に強弱が存在している(これは内側の空間の山脈の存在によるものと推測される)。

このように、現代科学の目で見ても今の地球科学を支えている理論が存外に弱々しいことが分かる。逆に内側世界からもたらされ

た情報を見ると、地球が物理的に空洞であることが必然と思えるようなことが多々ある。

- ①内側世界の人々は平均身長7m。植生も動物も非常にサイズが大きい(内側世界はその物理的構造により、重力が地上よりも遙かに弱くなる。また、電磁波のレンズ効果で生まれるプラズマ球としての太陽が24時間照っている為、夜がないため植物がよく育つ)。

- ②前述のパイロットが迷い込んだ空間の気温は摂氏23度。北極ではあり得ない数値である(夜も季節も無い空間であるため、どこでも小春日和)。

- ③人間の生体リズムは太陽よりは月に支配されていると言え、内側世界では時間を計る唯一の手段が潮の満ち引きである。これは内側の世界からは見えないが外側に存在する月の影響である(実は地上人のルーツは地下世界にあるのではないか?)

現代の地上の科学では、地下世界の存在を検証しようにもそこまでの掘削の技術が無いために不可

能であるが、このような地下世界
の存在を前提に置くと、地球科学
の謎の多くが解けていく様子は非
常に興味深いものである。私はバ
ミューダトライアングルに地下と
地上を繋ぐ何かがあるとみて調査
を続けている。

☆ ☆

現在の医学は資本主義のもとで
金儲けできる技術に偏ってしまっ
たようである。これらが明らかにな
れば増加し続ける膨大な医療費
も許容のところまで下がるのでは
あるまいか。

常識とされていることにも、ま
だまだ知られていないことが多い
ようだ。

しかしこれらも次第に表に出て
くるであろう。

当日の参加者は会員15名、非会
員19名、合計34名でした。今回
のカセットテープは20000円
です。事務局(0797・22・
6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三百七十二回関西日本 サイ科学会研究集会報告

神様がいるぞ

講師 池田邦吉氏

とき 平成24年10月20日(土)

ところ 大阪科学技術センター

池田邦吉氏は1947年東京生
まれ。1969年東京工業大学建
築学科卒。

著書：明窓出版より『あしたの
世界 シリーズP・1〜P・4』、
『光のシャワー』、『ノストラダム
スNo1〜No5』が発刊済。

手翳しのヒーリング(霊気ヒー
リングとかチャクラヒーリングと
も言われる)を続けているうちに、
同じ症状の患者で治る人と治らな
い人がいることがわかった。治る
人には守護神がいて、その神様の
応援がある。

人は肉体と精神と「たましひ：
魂」との三位一体の存在であって
魂は神のエネルギーの一部である。
これを神道では「分け御魂」とい

う。人は神が作った神の乗り物で
あるから、誰しも守護神がついて
いるはずであるが、ヒーリングで
病気が治らない人は神から見放さ
れている人であった。



神々のことを知っていた方が、
病気が治りやすいということが分
ったので、本を書いた。

『神様がいるぞ』(1500円)
平成24年7月1日明窓出版より出
版することになった。

ヒーリングすると神様・その人
の守護神がおりてきてその守護神
と情報交換する。その一方で19
93年から預言書を研究している。
そこでは創造主the creatorがノ
ストラダムスに未来のことを教え
たと書かれている。当時創造主の

概念が日本に無いので困った。以
来その創造主がどのような神であ
るかについて興味を持つことにな
った。

資料No1の①、②、③、④、⑤
の神々は宇宙を創った神である。
初めの存在は無である。自分を認
識出来なかった。

初め空間には光しかなかった。
意識体のみがあった。それがあめ
のみなかぬちの神。

比較の相手がいなかったため、
素晴らしいとは何か理解出来な
かった。

意識というエネルギー。一部は
全体より少ない。自分を分割する
ことでこれとあれが存在するよう
になり、認識することができるよ
うになった。

こうしてこれ、あれ、全体の三
つが発生した。

石ころにも意志がある。あらゆ
る物質に意志がある。

神は初め光をつまんで渦を作っ
た。右回りと左回り、たかみむす
ひの神とかみむすひの神が生まれ
た。このようにして電子、陽子が
出来、原子が出来ていく。

記紀に登場する創造主たち

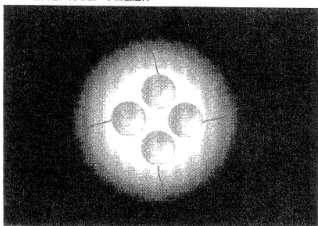
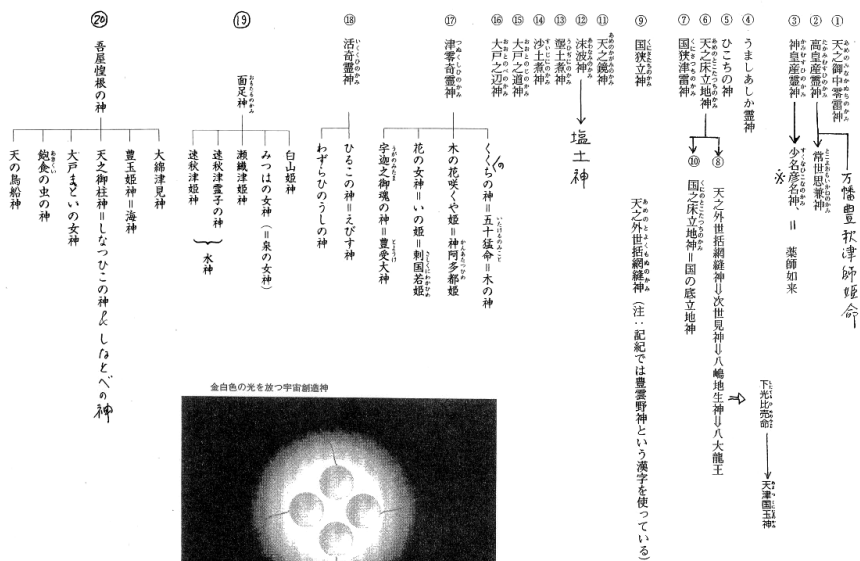


図2 1冊の「神の球体」の中には、さらに数個の球体が

次いで資料No1の
 ⑥あめのとこたつちの神が、銀河系の中に星々を創った。
 ⑧あめのとよくもぬの神は天の床立地の神の分神。

⑩くにとこたつちの神が地球を創り、岩盤を創った。
 ⑬つぬくしひの神と⑱いくくひの神は生命発生の神。
 これら18柱の神々が集まり、40

億年前地球に陸地を創るための会議を行った。

いざなぎ氣、いざなみ実はその会議ではオブザーバー的存在であった。

創造主たちは2000万年前に人間を創った。

1900万年前、シリウス星に黄色系人類が創られ、プレアデス星に黒人、白人が創られた。

やがてプレアデス星には住めなくなつたので他の銀河系に移住し、その後地球へ移住してきた。

神は人に対して創造力を与えた。人間は神と同じ波動で出来ている。人間を作ることで神は自覚した。

あなた方自身が私であることをお知らせするために忘却という能力を作った。自分(神)を知るためには自分でないものを対極に作らなければならない。生まれる時はその前を知らないようにした。

天のうずめという神はいなかった。後年の人が作ったおとぎ話である。

肉体と精神について、精神は脳にはない。人は死んでも精神は生

きている。

人は7層の光のエネルギーで出来ている。死んでも同じ形のオーラが残っている。神はどんな形にもなる。

日本では官司の形をしている。巫達は十二単衣を着て現れる。指導神は時代により変わる。

最後のQ&Aの時間にベスピオ火山に関する質問があり、来年(平成25年)に爆発があるだろうとの回答があつた。

☆ ☆

記紀に登場する神々について宇宙創成のときからの役割を示された。

神々においても創世の作業を分担されたようでここに八百万の神が必要であつたのであろう。

当日の参加者は会員9名、非会員23名、合計32名でした。今回のカセットテープは2000円です。事務局(07977・22・6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

◆

◆

2-3)の連続撮影を検討する。最初は出ない(ORBが写らない)、次も出ない。筆者らの場合は、最大で8回目に出た(写る)。此の時、物質にフラッシュ光(約1/1000sec)を当てると反射、吸収、透過、原子内電子の軌道間移動に基づく緩和(赤外、可視光の色、白色発光)等が起きる。フラッシュを焚くと、撮影者自身のバイオフィトンをも含めて、周囲の物質は、フラッシュ光を吸収する(僅かに発熱する)。つまり活性化する。これらは電磁波(赤外線)として、あとで、物質から放出される事になる。フラッシュが繰り返されて、周りの物質の活性化が進み、空気中の赤外線(光)がORB形成に必要なエネルギー量になると、ORBが写ることになるのであろう。さらには、撮影者のバイオフィトン(光、素粒子)と体外のORBとが共鳴(共振)した時に、(3)の性質、つまり同一条件撮影の時に、同一種類のORBが写る(出る)様になるのであろう。

2-4)並びに(2)の水との親和性の解釈。大気中の湿度によりORBが大量に起りやすくなる。降雨により、大気中に電離が起きて、自由電子が生まれ、これが励起されると、大幅にORBが出やすくなる。晴れた日の地球は(-)に帯電しており、空からは(+)イオンが降下してくる。厚い雲がやって来て、雨模様になると、雲の上側は(+),下側は(-)に帯電し、雲の下側の地球は(+)に帯電する。雨が降り始めると、空気中のイオンや電子等は活性化して(+)イオン、(-)イオン、自由電子が増す(プラズマ形成)ことになる。地表面上にあるガンマー線(自然放射能)も電離を進めている。

なお、上述の式(1)(2)のモデルは、サイ(気)のモデルでもあるので、ORBとサイ「気」は同一である。なお、ORB内のマンダラ状模様は、ORBの構成要素(素粒子)の波の干渉縞模様であり、サイ(気)のカオスアトラクターの結果である、と判断している。

3-3) 外気制御装置の概略

空気中に存在する気(サイ)は薄いので、集積しないと、測定する事が出来ない。そこで、

外気制御装置(気エネマシン)を製作した。原形は長野県、伊那市分杭峠の入野谷(瞑想室)に設置(2006年)されており、6年後の現在も駆動・使用されている。マシンはピラミッド、水晶、無誘導コイル、磁石から成る。要点は、太陽電池(p, nジャンクション)から来る電流を無誘導コイルに作用させて零磁場を造り、外気を集積させることにしてある。水の電気伝導率変化を用いて測定したところ、中心から半径約1.5mの円形オーラ状のエネルギーが分布している事、並びに、水(気功水)のエネルギーを測定したところ、 $E=1.38\text{eV}$ の活性化エネルギー値を得た。これは赤外線領域の波動(周波数)を意味している。つまり赤外線の周波数域にマシンが集めた「気」が存在している。

さらに指尖脈波測定装置(複雑系カオス解析)を用いて、瞑想室入居前後(30分)の生体内の気の流れを計測したところ、カオスアトラクターの変化が認められ、フラクタル次元D2の減少(チャクラ、ツボからの光子放出部数の減少)として計測された。以上を基にして、現在は、ORBから得られる条件を加算した改良型「気エネマシン」装置を製作してテストしている。つまり、外気(ORB)の応用・実用化を含めて検討している。

サイ(気)としての現象を生起させる為には、零を加算させて活性化させる。つまり零を累積、活性化させ、不安定な状態(変換点)を造る。そして、意念(ASC)によって未知現象(サイ、超常現象)を生起させる。此の時、同時にカオス現象も生起してきて、機能することになる。意識の面をみると、ORBならびに気エネマシンともに、変性意識状態(ASC)で現象を生起させることになる。つまり、願い事を内に秘めて、知性や理性を薄めて意識を変性させ、無意識に近い変性意識状態(ASC)になり、リラックス集中する事が求められている。以上、気エネマシンとORBは機能的に同一である、と考えられる(残念ですが、ORBの写真は、省略させていただきました)。

2-4) 明暗の境目、水との親和性

夕方や朝方の明暗の境目の時間帯。雨の降り始め、または降り止めの折り目(境目、分岐点)の時間帯はORBが撮れやすい。また滝壺の付近で水しぶきが降っている場面でも、背景が暗い場合にはORBが写り易い。一例として、写真5~6を示す。2012年7月6日、夕方、小雨後、福島市、瀧洞神社。強い白色発光体状でヘイローのあるORB、干渉縞を持つてはいるが非対称で凸凹を含むマンダラ状をしめすORB、黒い目を持つORB、強い光の色違いのORB、等が撮影されている。

2-5) 米国の実験例

米国のM. LedwithとK. Heinemann (2007)らによると、ORBは次の(1)~(3)の性質を持つという。(1)撮影を継続すると、ORBの出現回数は大幅に増加する。初期には50回に一回位であったのが、約10万枚を越す現在では、10倍程度も増加している。(2)夕方で薄暗い時に写り易い。特に雨模様で湿度が高い時に写りやすい。しかし、室内でも背景が薄暗い(黒色)場合に写り易い。(3)ある一定の条件下では、同一種類のORBが写る傾向がある。

3. 検討と考察

3-1) ORBのモデル

ORBは、カメラの操作や撮影上のミスで生成する場合が多いと言う。しかし本物もあり、ORBは「知性や理性をもった意識体である」、「スピリットの投影である」等の意見や主張も多い。ORB像の出現や撮影状況は、実験内容から見て「撮影者とORBとの間に相互関係(作用)がある」と判断出来るので、一種のマクロPKであると言えよう。PKの場合、関与する物質はサイ(気)であり、サイ(気)には物質的な面と意識的な面があり、ORBも同一である。筆者らは、外気並びにORBの物理的な性質を式(1)(2)で表示している。意識に反応する面がプラズマとは異なり、サイ(気)としての、情報と機能を持っている。サイ(気)の概略をあげる。素粒子類似で波動性と粒子性を相補

的に持っている。つまり波動であり、粒子でもある。姿や形は不定で、非局所的に空間に広く拡散分布している。異なる波が、もつれあって、曖昧な状態で空間に幅広く拡散して存在しているが、観測・測定によって確率的に位置を固定(出現)する。また時間や空間の枠組みをこえて存在する性質がある。つまり距離に関係なく、遠方まで、瞬間的に移動する。此の時の搬送波としては、縦波(スカラー波、音)と横波(電磁波)が用いられている。エネルギー源としては、原子核の中の不安定な中性子の崩壊の時のエネルギーを使うことになる。

報告されているORB並びに自ら撮影した約880枚の写真(12年10月現在)を都合良く説明する為にモデル(仮定)を設定する。

$$(ORB) = (PSI\text{-pair群}) + \{ \text{バイオフィトン群} \\ (\text{微細身素粒子群}) \} \cdots \text{式(1)}$$

$$(PSI\text{-pair群}) = (\text{陽電子}) + (\text{電子}) + (\text{微細身素粒子群}) \cdots \cdots \text{式(2)}$$

陽電子は宇宙から降り注ぐ宇宙線の中にもあり、さらに、陽子過多を持つ不安定な原子核のなかの中性子のベータ崩壊時に生成される、と言われている。電子は空気中で割合に安定に存在している。微細身素粒子とは身体を取り巻くオーラ、またはバイオフィトンの一種で、周波数の異なる多重多層の光子群からなる。これらは「+」(陽)と「-」(陰)が混ざり合って、大きな群を形成し、全体としては「中和」の状態にある。

3-2) ORBの出現

上述の2-1)、2-2)はORBがスピンを伴った素粒子群の集団として曖昧な状態で存在しており、煙(実体)に上載せして形成される事。つまり式(1)、(2)の状態にある事を意味しているのであろう。上述の2-5)の(1)の解釈。ORB出現が10倍ほども増加したとのことであるが、これは感覚が次第に増して鋭敏になり、ORBがそこに(近くに)居る事が判る(みえる)様になった為であると考えられる。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

オーブ (ORB) の出現について

佐々木 茂美 苗 鉄軍

1. はしがき

オーブ (ORB) は、条件さえ選べば、誰にでも撮れるという。このORB出現が端緒となって、精神世界の可視化と大衆化が実現・進行する可能性がある。過去に、顕微鏡の発明 (1965、R. Hook) によって細胞が発見され、これが端緒になって近代生物、生理学にまで発展・成長した。同様にデジタルカメラの発明によってORBが発見され、これが端緒になって近代精神科学 (新分野) 樹立に役立つ事になるかもしれない。

オーブを出現させる為には、(1) 赤外線領域を写せるデジタルカメラを用いてフラッシュ撮影する。(2) ORBの出現をもとめて、無心になり、リラックス集中の状態ですシャッターをきる。(3) 宇宙神 (SG) の助けを求める、の3条件が必要であると判断されている。本稿では、主として、出現条件の物質的な面を扱う。

2. 出現の物質的な面

2-1) 打ち上げ花火の煙

一例としての写真1と写真2をみる。2012年7月28日 (土)、晴れ、夜7:30~8:00、福島市の花火大会場でフラッシュ撮影されたものである。日没後の天空に開いた打上げ花火から煙が飛び散り、それが消えかかった部分に、空と煙と円形煙状のORB群とが、三者が区別

し難い程の曖昧な状態で撮影されている。なお写真2に示す様に、球の中心が透き通って見えるドーナツ型のORB像もある。

2-2) 物質群とORB群の境目

一例として、写真3と写真4を示す。上述と同一の花火大会で、水平方向に向けてフラッシュ撮影されている。乳白、青 (小球)、赤 (小球) と様々な色合いのORBがあり、大小様々なORBが、多量に、撮影されている。発光の強い白色ORBにはヘイロー (halo) があり、さらに、非対称的なマンダラ状の干渉縞模様や、核らしい模様を内側に持つORBもある。特徴的なこととして、写されているORBの全部がほぼ同一の模様 (パターン) を持つ様子である。さらに、特徴的なこととして、地平線付近の人物 (物質) とORBとヤミ (空間) は、其々が区別出来ないほどに不鮮明な状態 (ボケル) で入り混じって存在している。

2-3) 繰り返し撮影の効果

夕方の時間帯、または朝の時間帯になるとORBは出現しやすくなり、写り易い。しかし、それらの折り目の時間帯 (分岐時間帯) でも、写らない場合がある。こんなときにどうすればよいか。経験として、同一場面を繰り返し、繰り返しフラッシュ撮影する。するとORBが撮れる。しかし出現後、暫くすると、また撮れなくなる。次に、繰り返すと撮れるようになる。



サイジャーナル

月刊
25-3・4
第408号

日本サイ科学会 平成 25 年 3 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

四月本部例会のお知らせ

宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
—あなたは誰なのか—

講師 大野百合子氏

内容
◎アカシックレコードとは何か？
◎意識を拡大する呼吸法と過去世へアクセスする瞑想

私たち一人一人はパソコンの端末のように毎瞬、自分自身のデータをアカシックレコードという宇宙図書館・巨大なデータバンクにインプットしています。

本講演では、アカシックの情報から見た「私たち人間とはどのような存在なのか」をお伝えして、自己理解を深めます。また意識を拡大するための呼吸法を体験していただきます。

人は迷い、ストレスを感じている時、意識が収縮して目の前の事にのみ巻き込まれてしまいます。呼吸は人生を楽に生きる鍵です。

最後に自分の「人生の記録」につながる退行催眠を予定しています。誘導にしたがって過去世へ旅をしましょう。新たな自分の側面を発見することで、今のこの人生がさらに、豊かになることでしょう。

※精神世界関係の多くの著書、翻訳書を出されている大野氏は、当日退行催眠の実演もされますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●大野百合子氏のプロフィール

神戸女学院大学卒。日本航空と筑波大学が共同開発した生きがいのセミナーのカウンセラーを経て、1093年から心理学、精神世界分野の通訳・翻訳者となる。仕事を通し、呼吸法や退行催眠療法、神秘学を学び2003年に退行統合療法をスタート。また幼い頃から神秘体験を生かし、日本各地で古代の叡智を伝えている。著書に日本の神様カード(ヴィジヨナリーカンパニー)、人生を変える過去世セラピー(PHP)、百魂百色(幻冬舎)等。師ゲリーポーター氏の著書「アトランティスの叡智」(徳間書店)他翻訳書多数。

◎事務局からのお知らせ

今月は年度替わりですので、平成25年度の会費を先払いした方以外は、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、お振り込みをよろしくお願い致します。御寄付をされる方は郵便振替用紙にその分を記入し、年会費に追加して、お振り込み願います。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 三月宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 五月本部例会予告
- ◎ 関西サイ科学会三月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会四月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会五月例会予告
- ◎ 第17回宇宙生命研究分科会報告
- ◎ 六月本部例会報告Ⅱ
- ◎ 七月本部例会報告Ⅰ
- ◎ 第三七三回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会春の大会
- ◎ 本部月例会講演録の販売
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 願いを叶える為の科学(2)

日時 平成25年4月13日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

※三月の本部例会はお休みとなります。

第18回宇宙生命研究分科会

第5回ヒポクラテス・シンポジウム

テーマ「自然治癒力について」

日時 平成25年3月31日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター第3会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R 京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー

学会・太陽の会・日本空中

現象調査委員会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

五月本部例会予告

イメージによる瞬間教育

講師 浪平博人氏

論理的で難しい事柄は、図・記号・数式等を使って、全体の内容をいくつかのステップに分けて説明するのが一般的です。記号や数式を多用するのは、正確に内容を伝えるのに有効と考えられているからです。分割して説明しそれを統合するのは、これしか方法を考え付かないからです。しかし、記号や数式表現は抽象的で分かりにくく、1つの全体を分割する説明も全体の意味が浮かびません。

人の目で見た一瞬の景色を、言葉だけで他の人に伝えることを考えてください。詳しく伝えるにはどれだけの時間をかけた言葉が必要か、これを想像するだけで視覚やイメージの伝達の力が推し量れます。講演内容は、今まで理解するのに時間がかかった内容を、色と動きを加えたイメージにして、見るだけでエッセンスを瞬間的に伝える方法及び実際の豊富な内容につき述べるものです。現在の教育の危機を救う有力なものです。

※近年大きな書店へ行くと、中学や高校の数学の解説書、また一般向けの数理解能力を高める書籍が増えていますが、御講演はより分かりやすい解説と人生や日常生活に関連づけた内容となっておりますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●浪平博人氏のプロフィール

昭和17年2月21日生まれ

広島大学 工学部卒

ブリヂストン入社 21年間勤務

その後大学にうつり、大妻女子大

学教授、平成24年退職

情報工学者 工学博士 技術士
(情報処理)

日本サイ科学会理事長

日時 平成25年5月11日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

関西日本サイ科学会 三月例会のお知らせ

「千鳥学説とは」腸内造血説・細胞新生説

講師 酒向 猛氏

日時 平成25年3月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内
 会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
 関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
 四月例会のお知らせ

根源の音―声に出して歌う
 和歌

講師 伊藤 一夫氏

日時 平成25年4月20日(土)

午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター
 六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
 関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
 五月例会のお知らせ

ダウジングの現代

講師 和田高幸氏

日時 平成25年5月18日(土)

午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター
 七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
 関西日本サイ科学会事務局まで

第17回宇宙生命研究分科会
 報告

第17回宇宙生命研究分科会をテーマ「2012・12・21アセンション・プリーズ」で12月21日に開催。6名の論客によるアセンション

ン講演と三味線ロッカー早乙女和完の即興演奏が行われた。5年前から12・21あるいは12・22に行ってきたアセンション・シンポジウムはこの回をもって終了!

2013年春は、従来科学の枠組みを超えた「異能科学(マジナル・サイエンス)シンポジウム」を予定しています。

即興演奏

早乙女和完(三味線ロッカー)

岩崎士郎(空間エネルギー研究家)

「魔術と反重力」

浅利幸彦(作家)

「悪魔的未來人と天使的未來人」

田戸純子

(ワンネスフード協会代表)

「心・身体・魂が喜ぶ料理とは

・・・」

ロン・薄葉

(スピリチュアル・ヒーラー)

「オーブと次元魂上昇」

井上恒弘(宇宙生命研究所所長)

「宇宙語とアンドロメダ連合」

六月本部例会報告Ⅱ

密教開運術(つづき)

「強運の成長戦略提言 〓 氣を高めれば運はやってくる」

講師 松永修岳氏
 (ラックマネージメント・
 フォーラム代表)

運は見えなくても、感じることも
 ならでできる。

1. 「流れ」を感じることができれ
 ば、運を感じる事ができる。

2. 流れが変わる地点に運は必ず
 いる。

3. 流れを変えられる人こそ運を
 呼べる人。

4. 密教の阿闍梨は流れを変える
 名人

5. 護摩と風水が流れを変える最
 強の方法

6. 見えないが「有る」というも
 のを体感すると運に好かれる

7. 運に好かれる人は「変化」に
 気づく力を持っている

◎儲かる人になる鉄則

お金に縁のない人は、儲かる商売を探す

お金に縁のある人は、儲けている人を探す

言葉を使い分けると運は良くなる

◎「時代」と「世代」の違い

↓いつの間にか過ぎていくのが「時代」、いつまでもつきまとっているのが「世代」

◎「欲望」と「欲」の違い

↓本当に欲しい物を手に入れたいののが「欲望」、本当はいらぬものなのに入れたいのが「欲」

運の悪い人は言葉の使い分けができていません。なぜならば、自分の感情と行動をはっきりさせることができないからです。

◎お金持ちとはどんな人か

お金を貯めている人はお金持ちでない人

お金を貯める必要のない人がお金持ち

◎「人生」と「生活」の違い

ゆとりのある時に考えるのが「人生」、ゆとりのない時に考える

のが「生活」

◎「余暇」と「休暇」の違い

疲れを取るのが「休暇」、疲れるのが「余暇」

☆招運

いい運を「招く」ことから幸せは始まる

1. 迎運

・運の集まる所に自ら赴く

・運は待つていても来ない。運を迎えに行く

・運はお迎えすべき何か

2. 招運

・パワースポットへ運を迎えに行き、家や会社まで連れ帰って来てはじめて招運という

・現地で何か物を買って帰ることが大事

例・湧水やその土地の気が入っている物

◎運を招くために心がけること

(1) 運に好かれる人になるために人間力を磨く

↓運が「この人のためなら力になつてあげたい」と思うように人間力を高めることが大事

↓見返りを求めずに人の役に立つ

うと行動すること、それによって自分を支援してくれる人が自然に少しずつ増えていく

(2) 悩み事を抱えている人は喫茶店に連れて行く

ネガティブを回避する

自宅に悩み事を抱えている人を招いてはいけない

悩みはエネルギーが溜んだ状態

ビーで聞くのが良い

(3) 運のいい人のふりをする

運を招くことができる

運のいい人は年齢より若く見られやすい

元氣そうに見えるようにする

(4) 早寝早起きをして朝日を浴びることは運を招く

運は寝ている間に養われる

不眠は運が逃げる

気分よく起き、朝日を浴びると運がやってくる

(5) 部屋をきれいに片づけて、いい運をお迎えする準備をする

招運にはお迎えする「心がけ」と「おもてなしの仕方」がある

運は玄関が汚れていると真つ先に逃げてしまう

お金に縁がなくなる玄関は高低差がない

オフィスの招運法…エントランスは広く明るく、華やかにする

3. 育運

・風水とは招いた運を育てる技術

・人を取り巻く環境は人生までも変えてしまう

(1) リラックスできる空間をつくる

・風水の良い場所でも人も脳も育つ

・心も脳も身体も「快」の状態になつた時に運は育つ

・環境のもつ情報が脳に入力され、脳処理し「行動」や「考え方」という形で出力される

◎人生とは脳が出力した結果の集大成

(2) 空いたスペースをつくれれば新しい氣の流れが生まれ、運は育つ

・読まない本、いらぬ服は捨てる

(3) いい眠りが運を育てる

・風水のいい氣場で寝る

・朝起きた瞬間から活力が湧いてくる寝室で寝る

(4) 免疫力を上げるリビングの風水を良くすると運は育つ

・リビングは疲れを癒やす場所

- ・リビングと玄関と寝室を整えれば、7割がた運は良くなる
- ・リビングに古い物、暗い物、安い物を置いてはいけない
- ・(5) 緑を積極的にリビングやダイニングに取り入れると運は育つ
- ・(6) 健康運はダイニングとキッチンで育つ

◎オフィスの育運法

- ・(1) 社員のやる気や社運を伸ばしたいならば、机を大きくする
- ・(2) 書類は横積みしないで縦に並べる
- ・(3) オフィスにふさわしい色は青と緑
- ・営業の人は黄色とオレンジで営業運を育てる

- 4. 育運体質をつくる
- ・肩をすぼめたり背中を丸めて歩かない
- ・背筋を伸ばし、腹に力が集まってくる姿勢を常につくると育運になる
- ・朝と夜の習慣を変える
- ・生活を朝型に変える
- ・寝る前に朝着る服を用意する

☆開運

- ・運を開くコツとテクニク
- ・(1) 開運に必要なのは気づきと発見
- ・(2) 感動で心をふるわせた時、開運している
- ・(3) 生まれて初めてのことに挑戦する
- ・今までやったことのない何かに挑戦できる人は運に好かれる



- ・(4) 気づきを引き出す瞑想は開運法である
- ・食事をとるように自然に毎日瞑想をすると、運を感じる力、流れを変える力がついてくる
- ・(5) 満月を見つめ、満月を感じ、満月に祈る
- ・開運とは幸福へ向かっていく扉です
- ・幸運の女神とは満月のことです

開運の先にある満月を意識し、満月護摩に参加すると、開運の扉はひとりで開きます

- ・(6) 好奇心を高めると開運体質になれる
- ・おもしろいことを察知するアンテナを立てておく
- ・(7) 開運体質を持っている人は変化を恐れない人
- ・歴史が動く時や人生の分岐点には運が大きく開いてくるものです

その時こそ開運できるチャンス

- ☆幸運
- ・人と分かち合うことで運は持続できる
- ・運がいい状態が持続する幸運体質のつくり方

- ・(1) 利他的な行動をする
- ・誰かのために何かをすることが運を持続する
- ・招運、育運、開運は一人でするが、幸運は相手がいる
- ・(2) 思いがけないサプライズが幸運の秘訣
- ・サプライズには人を喜ばせたい気持ちが続まっている
- ・(3) 社会貢献プロジェクトに参加

し、支援協力する

- ・(4) 運のいい人ときあう
- ・(1) 幸運を維持するための毎日の習慣
- ・電話で話すときは、明るい声を心がける
- ・何事も楽しむ気持ちを忘れない
- ・人に会うことを楽しみにし、人に会うことを趣味にする
- ・つねに感謝する
- ・毎週3日以上、午後10時には寝て、良質の睡眠を取る
- ・つねに笑いとユーモアを失わない

- ・(2) 強運になるための方法
- ・(1) 自分の専門性を高める
- ・(2) 30日間、朝日と共に目覚めると、強運が手に入る
- ・(3) 誰もまだやっていないことやっている人がごくわずかしかないことにチャレンジすると強運になる

☆開運仕事術

- ・(1) 迎運 アドレナリン 行動力
- ・(2) 招運 ドーパミン イメージ脳、チャレンジ脳
- ・(3) 育運 セロトニン 共感脳、

人脈力

(4) 開運 アセチルコリン 認知機能、ひらめき

(5) 幸運 エンドルフィン 幸運

(6) 強運 ノルアドレナリン 仕事 脳

★これからの日本は社会が抱えている様々な問題を解決する仕事や事業を、経済の柱とする方向へと必ず向かっていきます。

まさに、これが「人を幸せにする経済」の始まりをもたらし、

「人々を幸せにする経済」は、民衆を救い、世の中を平和に治める基盤となる経済です。

それが「経世済民」の実現です。

災難や不運は幸福を一瞬にして奪ってしまいます。

幸福を持続可能にするには、絶対に「運」が必要です。

★運こそ実力

不確実で不透明に益々なっていく時代こそ運を管理し、運を鍛え、運が味方しないと、すべてが水の泡になってしまいます。

したがって、運を高めることが最重要になります。

「ラックマネージメント(運の管理)」という考え方がこれからは重要になります。

運が良くなると、チャンスを創り出すことがうまくなり、災難を減らすことができるようになります。

幸運がなければ成功しませんし、成功がなければ幸運もやってきません。

これからはビジネスや仕事でも、運に好かれる人だけが残るでしょう。努力が結果に結びつくとは限らない時代を、我々は生きています。

仕事力＝思考×意欲×脳力(以上実力)＋運

努力と実力を結果に結び付ける力こそ「運」なのです。「運」には流れを変える力があります。

「運の管理」と「運の成長戦略」が、これから成功するにも幸福になるのにも必須条件といえます。

★運のいい人の特徴

(1) 社交性があり、人脈が広い
(2) インスピレーションがよく働く

(3) チャンスをつかむ勇気と決断力がある

(4) 変化を起こせる
流れが悪くなれば、その場から去ったり、流れを改善できる

(5) いつ良くないことが起こってもいいように行動を考えている

★感動を育てると運が強くなる

過去の楽しかったことを再現すると、運が強くなる
・サブライズがドーパミンを分泌し、強運へと導く

★運を良くしたければ、まず部屋

をきれいにすることだ
・自分の家や部屋は、家族や自分の心をつくる

・心の状態が部屋だ
・部屋の状態が運の状態だ
・部屋を見れば、運気が分かる

★「影響力のある人と出会うこと」とその「関係性を育てること」と「運を招き入れること」と「運を育てること」

人生を変えるためには、この二つが重要なのです。

七月本部例会報告Ⅰ

水と珪素の集団リズム力

実用場の『水』を捉えて十余年その治験結果から学び、理論体系化した実用の水の新分析手法

講師 中島敏樹氏

私は水を集団で捉えたときに、何が見えてくるのか、この辺のところのお話をさせていただけこうと思います。一番最初に何故集団なのか？ 実は水の集団とは「命の始まり」である、これはロシアの科学者のオパーリンさんが生命起源モデルの液滴としての「コアセルベート」の理論を出しておられます。

一番最初は水の集団が基本となつて「コアセルベート」(生命起源モデルの液滴)ができた、さらにそういうものが集まって、集団はみずからの新しいリズムを産みながら、命というものをつくってきたのではないか。分子生物学者の方が、最終的には「サムシング・グレート(Something Great)」と

いうお話をされていますが、昔から日本では、「いのち」というものはおのずからわいてきたものだ、ととらえてきています。

そういう意味で私は、「集団」というのは個性の集合ではない。A、B、Cがあれば、 $A+B+C$ という形ではなく、AがBとかけ算になつたり、割り算になつたり、指数的な計算になつたりと、非常に面白い変化をする。」と捉えております。

それでこれからお話をする中で、「集団の力」という言葉をとくとき使いますが、「集団の力」というのは、集団維持の恒常性、すなわち集団がある構成をしていると、その安定している状態をいつまでも維持したいという力が働きます。

水の集団は階層構造が考えられ、クラスターというものがあります。クラスターは水の水素結合から出来ており、同じ時間の中で水分子が何個集まったかということです。これはだいたい4個〜数十個といわれますが、最近の説では、西本右子博士の研究では21個が一番多く、川田薫博士の研究では水は階層構造で、一次粒子は250個で2ナノメートル(ナノメートルは

1ミリの百万分の一)の大きさの集団、2次粒子は20ナノメートルの大きさの集団、3次粒子は100ナノメートルの大きさの集団とされています。私の「集団振動論」では、水は数千万個〜数億個の集団が、100〜200ナノメートルの大きさになっていると考えております。



水の H_2O 分子は、いろいろな物性値があり、それらは理論科学における分子の顔であり、性質となりませんが、その奥にもう一つ集団の顔としての「潜在エネルギー」は、実用科学における水の集団の性格にあたります。

物質にも存在形態の階層構造があり、第一階層(6つのクオーク、

6つのレプトン)、第二階層(陽子、中性子、原子核)、第三階層(原子分子、有機化合物)、第四階層(固体、液体、気体、プラズマ、液晶、コロイド、金属、セラミックス、半導体、プラスチック、有機物質、核酸「DNA、RNA」、タンパク質、酵素)、第五階層(宇宙、地球、生物、人間、社会、機械)の5つです。また宇宙の成り立ちも同じように階層構造になっています。階層構造は自然界の秩序造りの方式なのです。

水は隙間だらけの階層構造になっており、水集団は73%が空所のスカスカ状態です。通常、球体の最近接充填は12個となりますが、水の最近接充填は4〜5個なので、まだ他の分子もいくつか近接する余裕があります。これが溶解作用につながります。

コロイド、電荷、イオン、誘電体の定義をお話しします。

◎コロイドとは

1ナノメートル〜1ミクロン程度の大きさのコロイド粒子が液体に溶けている場合『コロイド溶液』と呼んでいます。コロイド粒子は

その種類によってプラスあるいはマイナスの電気を帯びています。珪酸塩鉱物(ミネラル)コロイドは表面にマイナスを帯び『表面印電荷』と呼ばれています。

◎誘電とは

電場を印加すると、内部に持つ電子やイオンなどの荷電体の移動による分極(電気双極子)を生じ、電場の方向に向きを揃えようとする性質です。

水は優れた誘電率(78・54)を有し、電解質を電離させ、その周囲を水で取り囲みイオン状態の安定維持をなしています。

◎イオンとは

電子の過不足の状態のこと。例えば、食塩 $NaCl$ のイオン結合しているものが水の誘電力で結合が弱くなり、夫々が別々に水で被覆され安定して存在していることを言います。空气中で原子核と電子が分離している状態はプラズマと呼ばれています。

◎電荷とは

すべての電気現象の根源となる実体。その性質は電気量によって

規定されます。正電気と負電気に分けられます。

◎電解質とは

水に溶解して電気を通す物質、すなわち水に溶けるとプラスあるいはマイナスに荷電する物質を電解質と呼んでいます。我々がよく知っているのは食塩ですね。

水の科学的なお話をさせていただきます。水は「命の水」とよく言われますが、どうして「命の水」なのか、その辺の的を絞って電氣的なお話をさせていただきます。水は2つの電氣的特性を持っており、まず「双極子特性」と「水素結合」です。

「双極子特性」というのは、水分子がミッキーマウスの顔のように、ミッキーの2つの大きな耳の所が酸素、顔の所が酸素となる配置からくるものです。この酸素と水素2つが結合するときに、水素の持っている電子が酸素側に偏ります。電子が酸素側に偏ると水素側が電子が不足気味になるので、プラスの状態となります。酸素側は電子が多い状態となるので、マイナスの状態となります。したが

って、一つの水分子において、磁石のN極とS極のように、プラス側とマイナス側の「双極子特性」が生じます。もし、2つの水素が酸素を挟んで、180度の位置にあったら「双極子特性」は生じません。そして生命は生まれなかつたでしょう。

最初にお話ししましたように、自然界において「寄り集う」ことが一番物質の顕在化に大事な役割となります。エネルギーの寄り集いが素粒子となり、素粒子の寄り集いが原子核となり、原子核の周囲に電子が寄り集うことで原子となり、いろいろな原子が寄り集って分子ができます。すなわち物質が顕在化するためには、「寄り集い」という動作が、一番原点で生まれてくるのです。命も「寄り集い」が原点で生まれてきます。したがって、命の観点から重要なのは、水分子の「水素結合」です。水素結合は、水分子同士が「双極子特性」によって、酸素側(一)と水素側(+)で引き合って、寄り集うことです。結合力の比較をしますと、水素結合は水分子の酸素と水素の化学結合の十分の一位です。

この水の命に関わる二大特性、「双極子特性」と「水素結合」を支援しているのが、実は珪素なのです。珪素は通常4つの酸素と化合し、一つ一つの酸素と水の酸素側が水素結合しますが、その水素結合の強さは水分子同士の水素結合よりも電氣的に強いものです。かつ珪素の表面が陰電荷状態となります。

珪素は酸素と電氣的に結合しますが、その構造は珪素が中心にあつて、結合する酸素が四面体の頂点にくる正四面体構造を取ります。岩石や土には珪酸塩が6〜7割くらい含まれております。これからお話しする珪素はむしろそういうものよりも、結晶にはならない水溶性珪素、その中でもアロフエンとなります。

アロフエンは多孔質で表面が珪酸四面体で中空の球状態となっています。水分子はその穴を自由に通り抜けることができます。水溶性珪素で造られた「UMO」という商品があります。これは純度の非常に高い水晶と炭化した粉殻と一緒にして、二百度くらいで熱して気化させます。気化させたものが凝集させて水に溶かしたものが

水溶性珪素「UMO」です。外形は300〜1000ナノメートルの微細コロイド粒子の集合体です。「サイ科学」第30巻第1号(2008)に掲載された私の論文「焼成牛骨粉の水溶解の不可思議な事象について」を読んだ九州大学の高尾征治博士から次のような見解をいただきました。

『中島は、サイ科学誌の掲載論文で珪酸塩コロイド粒子の表面陰電荷と親水機能(≡粒子の微細化)の相互作用に基づく自律リズムを実験的に突き止め、それが生体内原子転換の可能性を否定できない事実の場の作用の解明にもつながると洞察している。ただし、的確な洞察に違いない。』

また高尾先生からは、その見解に沿った珪酸コロイド粒子(10〜50ナノメートル)の写真を送っていただきました。

◎水と珪素の生命場「親水力」と「リズム力」

- ・水は寄り集い(親水力)、集団の秩序で行動する方向を持った力(電磁気力)を発揮する

- ・集団の調律リズムで、場が整えられる「触媒能」や「酵素能」

を發揮する

・その秩序と活動を支え続けるのは「珪素の親水力と表面陰電荷力」である

◎水分子の集団は秩序維持という

自助力を持っている
これが命のリズムである

量子物理学の先生方がおっしゃっているのは、「量子凝集場のダイナミカルなシンクロナイズ」、すなわちこういうリズムがあつて動くことにおいて、周りの分子の方向が揃ってくる、これが非常に重要な生命の原点になると思います。

◎水と珪素の集団の具体的な働き
個性とは

- 水の分子では語れない機能
 - ・水の電氣的エネルギー
 - ・水の触媒作用
 - ・水の溶解力
 - ・水の液相界面特性
 - ・秩序維持耐力（破壊抵抗力）
- いったん体構成されると、それを維持する恒常性が働く
(つづく)

第三百七十三回関西日本サイ科学会研究集会報告

農畜水産物の革新への道

講師 白根 正志氏

とき 平成24年11月17日(土)
ところ 大阪科学技術センター

白根正志氏は第一期カリフォルニア農業研修生(3年間)履修帰国後、養鶏業経営。アメリカ育種鶏の飼育経験を評価され鳥取経済連養鶏課にて鳥根県担当として奉職。

- 昭和46年より、木酢液・炭素質の養鶏への実用化の研究を進め、
1. 生産性の向上
 2. 卵質の改善と味覚の向上
 3. 悪臭糞の改善
- 以上3点を確認したことで、昭和51年(有)山陰ネツカリッチを創業し、現在(有)山陰ネツカリッチ取締役会長

安心・安全な本物食品でこれは旨い、と評価される農畜水産物とは、どのようにして生産され、そ

の成立には何がポイントになっているのか。

新開発のアクア・アナライザー(水分分析装置)測定と、ORPの経時連続測定に依る検討、及びGG7(活水器)による珪素+ミネラルの励起現象の測定を紹介。

また、この3年で大革命となった畜糞の自然消滅化の現実及び生姜生産物の品質革命への原理紹介。他に、各映像による紹介多数あり。



注 ネツカリッチとは常緑広葉樹(カシ、シイ、イス、タブ)の樹皮を炭化してできる軟質炭素粉末とその炭化工程で抽出される広葉樹木酢液を調合して製造されたもので、殺菌効果・抗酸化作用・活

性酸素除去能力作用の高いフェノール類が豊富である。

今、日本の農畜水産の大変な状況(高齢化と自然に逆らう農法のツケが深刻になっている...)に革命を起こしていると話をしたところ、宮崎県出身の関西サイ科学会の河野会長から突然、農畜水産の振興発展への仕事を宮崎県の資材と一体となって行っている私どもの現況と、ドラマチックな本物産品生産のエネルギー源であり、未知エネルギーの活用状況を皆様へお伝えしてみたいとお話を頂き、喜んでお受けしました。

本日発表のドラマチックな要点と、一番大切なそれが農畜水産の現場でいかに実効力を発現し役立っているか・・・を順番に示します。

A. 生姜業界の大変化とは!!

日本農業の積年の土壌環境悪化・・・硝酸態窒素の増大と作物(生姜)の吸収に依り、在庫中の変質発生の多発、そして生産者と買い取り業者への大損害の連鎖であった。これに対する挑戦が3年前より宮崎に於いて杉の間伐材

の熱破碎処理により出現する

①木質の粗飼料状のもの（ふわふわ状）

②製造過程で現れる黒っぽい液体（全く木酢液とは異なる）

の二つである。

②の液体は、今迄誰も知らない未知エネルギーを潜在していた！簡単に云えば、この液体の散布により100%良質品となった。この3年で南九州と各離島の生姜生産者は非常に喜ばれている。

※この技術は農水省と宮崎みどり製菓（ネッカリッチの創生会社である）の特許となっている。

次に①の資材は全国の畜産家の頭痛の種・・・生糞の処理・・・この資材を床に30〜40cm敷けば採卵鶏の場合、ケージに入っている鶏の糞は毎日落下しても100%近く分解され、3年前より敷設している身近な養鶏場の方々は、処理のご苦労から解放され、この不思議なエネルギーに讃嘆である。※畜糞を醗酵乾燥処理し、袋詰めにし販売しても生産コストが回収できない、安売り合戦の現実である。

B. 農畜水産業には水が深くかわっている。

しかしこの水は千差万別、その本質とその潜在機能は容易に判らない。

3年前に導入した中島敏樹氏のAQA（アクア・アナライザ）に依り、名だたる天下の名水等の測定、これの成立に起因するミネラル等々の電磁気的な状況が判ってきました。これにより、vG7なる水処理機器の通水の前後の変化が鮮明に判別可となり、当社のモンモリロナイト微粉末の動植物への機能向上へ驚くべき励起現象が発生し、農畜革命へ現実活躍している。

以下に、その分析例の実態を表します。

C. 冒頭表示したネッカリッチは私共の人生を変えた（定着）炭素質材であり、効力の根源の一つを担うフェノール化合物は他の炭化資材とは異なるシリリングル型であり、神仏の導きでこれが開発されたと思わざるを得ぬ実証効果であり、北海道の養牛関係者には絶大な認証を得ている。

効果検証 森林酢(人間用木酢液)+微量モンモリ

2012/10/29

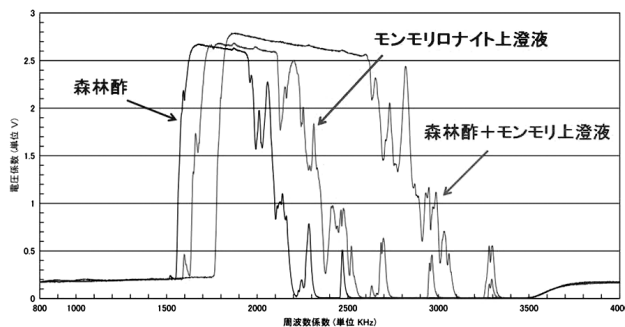


図1 森林酢+微量モンモリの周波数係数と電圧係数特性

※北海道酪農学園大学の小岩教授の徹底的な検証のおかげであり、自然界の未知のエネルギーとは、地球上を正常に修復する程の偉大なパワーがある事を知って頂ければ幸いです。

D. 上記発表の永い年月の研究の結果は!!

①炭素（ネッカリッチ）は有機物のリーダー役をその生理現象の中で発揮する。

②珪素（モンモリロナイト（2-1型粘土鉱物）は無機物（多くのミネラル）のリーダー役であり、モンモリロナイトはその結晶構造が（炭は微小な穴が構成している）微細な層状になっており、その幾重もの両面にはマイナス電子がびっしり帯電し、これを平面にすると約700mの広さになるとされている（炭の穴は平面にすると約400mとされている）。

このマイナス電子の粉末をppm単位で水溶液に入れ、vG7を通水するとこの世のエネルギーはこのような潜在パワーを有するのかと驚きである。人間のスピリチュアルなエネルギーとは別に、このようなエネルギーを世の為、人の為に役立てればありがたいと思う。

☆ ☆

宮崎県という限られた場所の木材からの抽出物が農畜水産の改善

に驚くべき効果をもたらしている
ということである。

自然界の植物を含めた生命体には
まだまだ知られていない作用・
効果が隠されているのではあるま
いか。それら隠れた物質がさらに
発掘されることを期待したい。

当日の参加者は会員7名、非会
員4名、合計11名でした。今回
のカセットテープは2000円
です。事務局(0797・22・
6425)まで

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)



◎サトルエネルギー学会
春の大会のお知らせ
(日本サイ科学会協賛)

春の大会テーマ
2013年ついに歴史上初、伊勢
・出雲同時式年遷宮の年を迎えた
「今こそ知りたい隠された歴史
の真実とこれから果たすべき日本
の天命」

日時・平成25年4月21日(日)
9・45 ホール開場
10・15 開演 18・40 閉演

講演者

岡田光興 飛鳥昭雄 藤原和晃

出口 光 中山康直 池田整治

17・30 パネルディスカッション

「これから果たすべき日本の天命」

パネラー 参加講師陣

会場 (財)修養団SYDホール

料金 前売りチケット

協賛特別価格 五千円(予約)

会員当日 六千円

【振込先】お申込みと同時に左記
宛にお振込み下さい。ご入金確認
後チケットを送付します。

郵便振替振込み先

口座番号 00170-1-196569

加入者名 サトルエネルギー学会

※3月15日より受付開始

URL <http://www.subtle-eng.com/>

お問い合わせ サトルエネルギー学会

電話 03・57730・6450

FAX 03・57730・6451

E-mail information@subtle-eng.com

大会実行委員長 井筒 貴康

◆ ◆

《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子 wma)なので、
聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間
は平均3時間前後で質疑応答も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場の
スピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取
れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」
で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・
パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金
額(1回分2,000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会に
お振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2009/ 2/14 天野聖子氏「大いなる自己と対話する自問自答の重要性と地球の現状」
- 2009/ 4/18 小牧昭一郎氏「人間の体の周辺に観察される磁気」
- 2009/ 5/ 9 膳 敬子氏「若返るって本当?」チベット体操を体験、感じるワーク
- 2009/ 6/ 7 山本 輝氏「言霊の幸はう日本国の復活」
- 2009/ 7/11 高月美樹氏「太陰太陽暦の活用法」
- 2009/ 9/12 高峯秀樹氏「未来を探る手相の神秘と科学」
- 2009/10/11 第20回全国大会 シンポジウムテーマ「ヒーリング」
- 2009/11/14 山口敏太郎氏「真実とフェイク」環境汚染とDNA操作による未確認生物(UMA)の誕生について
- 2010/ 1/16 前田知則氏「21世紀への適応プログラムとしての心のデトックス」
- 2010/ 2/20 須田泰心氏「超能力者の構造」
- 2010/ 4/10 根本泰行氏「映画『ウォーター』にみる水の真実」
- 2010/ 5/ 8 堤 裕司氏「レイラインと富士塚信仰」
- 2010/ 6/20 久保田昌治氏「水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。」
- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 感じられる“サイ”-3種類のサイデバイス・ソフト体験会-
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11 新文明の幕開け ~日本人の使命~」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ 植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言~氣を高めれば運はやってくる~』」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の実在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2100 円	(310 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2550 円	(210 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1995 円	(210 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3000 円	(160 円)
電気磁気学 [加速教育用] (1983: 加速学園出版部)	1340 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(120 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1000 円	(160 円)

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	2500 円	(210 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1800 円	(210 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	2200 円	(210 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3000 円	(300 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3000 円	(300 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※ 1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

である。つまり零場には、情報の蓄積と潜在が可能であることを意味している。

『# 詳しく——別種の一例として、情報の階層の問題がある。周知の易経八卦図を考える。太極は陰陽が混沌として混ざり合った状態。これが分岐して1段目で陰(--)と陽(-)に分かれて「両儀」となる。次に分岐の2段目の「四象」では陰(--)が陰、陰と陽、陰に分かれ、陽(-)が陰、陽と陽、陽となる。これが分岐して——と続いてゆく。つまり八卦図は、1段目「両儀」、次ぎ2段目「四象」、次ぎ3段目「八卦」——と相殺零場を階層別に見た場合である。しかし各段(各階層)毎に加算すると、それぞれの段ではゼロになる。なお、零場には階層別(例、周波数等)や階層内(例、波形等)等の様々なゼロのある事がわかる。(終わり)』

7. 「量子絡み合い」について

願いが「叶うか、叶わないか」は、意識と対象物(情報、未知の存在、SG)が「繋がるか、繋がらないか」によるだろう。「繋がる」とは、量子絡み合い(QE)が出来るという事。このとき、伝達されるのはPSI-pair群である。搬送波(船または橋の役割)は縦波としての音やテスラ波(ゼロの粗密波)ならびに横波の電磁波で、それらの対流が望まれている。PSI-pair群はASC(1)としての電子(e-)と微細身粒子(-)のセット、ならびに陽電子(e+)と微細身(+のセット、のペアー(一対)からなり、全体としては中和(ゼロスピン)になっている。

『詳しくは——(米)ベンジャン・リベット(1990~)らによって脳幻想説(イリュージョン説)が提出された。皮膚判断による行動よりも約0.35秒遅れて脳の認識(ニューロン発火)があるという。筆者らはこれを基にして、未知現象は零意識(ASC)で生起することならびに時間・空間の枠組みをこえている事、等からASCを二つに分けてASC(1)を交感神経的(反射神経)なもの、ASC(2)を副交感神経的なもの(脳

支配)とした。(終わり)』

PSI-pair群は、スピンゼロである。向う側にある零場上の零点(負に帯電)にPSI-pair群半分の{ASC(1)+微細身(-)}が吸引され、半分の{陽電子(e+)+微細身(+)}が意識側(こちら側)に戻され、量子絡み合いが出来るのであろう。一般に量子論では、量子絡み合い(QE)は、(1)繋がって一体として行動している。(2)片方が↑であり、他方は必ず↓である。(3)片方を変化させると、情報は瞬間的に、他方に伝達される。(4)遠隔地であったとしても、繋がっていて、変化は時間や空間の枠組みを越えて伝達される。その他、これらは、上記の「願いを叶える」の場合にもそのまま適用されることになる。「繋がる」か「繋がらない」かはサイポテンシャルメータ(小林泰樹開発)でも判断できるが、簡単には「線香の煙を意念で制御する」でもわかる。

8. 応用と実用化

(1) ウクライナ、ロシアでは、非眼視覚(皮膚視覚)の訓練の結果を学校や病院の障害者教育や機能向上、能力開発に応用している。17才以下の児童であれば、100%の可能性があるという。通常は、脳の使用範囲は、5%程度であるが、訓練により10、20、30%と増加させているとの事である。

(2) 米、欧、世界では、集団の意識や感情と、ダイオードが発生する電子ノイズ(乱数)が共振・シンクロする事から、全地球意識総合モニタ(GCMS)を実施している。47国、100名以上。日本では明大の石川幹人教授が担当している。予知の現象もあるとの事である。

(3) その他。米国のモンロー研究所の魂の体外離脱実験(OOBE)、マハリシ・ヨギ開発の超越(TM)瞑想法(米、マハリシ国際大学)、等の実用化研究、その他がある。

5. 陽電子について

以上のPSI-pair群を形成させるためには陽電子の発生が必要であろう。見える世界(リアルな世界)の不安定状態(エネルギー一定条件)の零点で衝撃を与えると、見えない世界(虚の世界)から、反粒子として陽電子が参入してくる、という一例(仮定)を推定・判断している。つまり、衝撃的に鋭くエネルギーを放射するので、壁に穴が空いて、イマジナル(虚)の空間から、静的と衝撃の差に相当する反粒子(反エネルギー)の参入が期待できる。この理由としては、次の実験(#)に述べる。なお壁は、児童の場合は薄い、成人になるにつれて厚くなると考えている。

『(#) 詳しい記述——装置(マシン)によってサイ(気)を制御する場合の本山博、橋本健、山田孝男、佐々木茂美らの装置と実験状況を見る。何れも、加える入力は立ち上がりの急峻な矩形波(またはパルス波)を用いている。本山博は、発明したAMIにおいて、皮膚の経穴上に矩形波状の直流電圧(5V)を加えた時に、瞬間的に皮膚内に発生する直流電流の大きさ(静的の50~100倍)がサイ(気)を表している(直接関係する)とした。橋本健は、発明した健康増進用の α コイルにおいて、パルス電流を与えた時の瞬間的な磁気流を皮膚に当てている。山田孝男は、無誘導コイルを用いた瞑想促進器に矩形波電流を用いている。佐々木茂美らは、無誘導コイル、水晶、磁石から成るサイ(気)制御装置の駆動電流として、 α コイルの電源部を用いたパルス波、ならびにテスラ・コイルの放電電流をスイッチングに用いたランダム・パルス波を用いている。これらは、例えば、衝撃的に加える入力によって通常(静的の場合)の{2~3倍(力)、50~100倍(電磁気)}の出力により、瞬間的なアンバランスを造り、これを補う為に反物質(反素粒子)を、イマジナル(見えない世界)等から湧出させる事を目的としている。瞬間入力の別の理由は、不確定性原理により、入力が極短時間

の時は、エネルギーは極大になるからである。(終わり)』

この様にして得られる陽電子(e⁺)、電子(e⁻)、微細身素粒子から成るPSI-pair群(中和、全体としてゼロ)がサイ(気)情報の基盤になっていると考えている。

6. カオス・アトラクターによる蓄積

ゼロ場は、(陽)+(陰)=0(零)、なので、非エネルギー(ゼロ、中和)場である。つまり零をいくら積み重ねても零(中和)なので、情報やエネルギーの無限の蓄積と潜在が可能である。多種、多様な零(内包する情報)を無限に蓄積し、潜在させている事が、サムシング・グレート(SG)の基盤になっているのだろう。気功水を用いた実験によると、サイ(気)は約32kcal/mol(1.38eV、赤外線波長領域)の活性化エネルギーを持っており、実測値から推定して、室温では約6~10日程度は、人工的に得た気は消失しない。また気功師が放出した気は、直射日光を当てると消えやすいが、当てないと、暫くは消失しない(中国の実験)。また鋭敏な感覚(気感を鋭くする)でも判断できる。

零の累積において、陽と陰をごく僅かずつらせて交差させて加算させる。干渉消滅させないで、ずらせたままの状態を重ねる。すると情報(正と負)はそのまま残されているが、全体から見れば(加算する)見かけ上は零になる。例えば「手打ちそば」の生地のように、板状の「そばこ生地」を延ばして、折りまげ、次に、さらに延ばして折り畳む。これを繰り返す。はじめに、「そば板」を延ばしたときは一枚のまままで「表」、「裏」がある。次にこれを折り曲げたときは、「表」「裏」、「裏」「表」となり、一枚が二枚重ねになる。次に、これをさらに延ばして「折り畳む」と4枚重ねとなる「表」「裏」、「裏」「表」、「表」「裏」、「裏」「表」。これを繰り返すと(2のn乗に従う、nは折り曲げ回数)、情報が無限に累積されることになる。しかし全体としては(上からみれば)、見かけ上は零



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

願いを叶える為の科学(2)

佐々木 茂美

4. 零場の形成

未知現象はゼロ場の中のゼロ点で発生するが、ゼロ場をどの様に選び、形成させるかが問題である。聖地としてのパワースポットは、シャーマンまたは感覚の鋭い能力者によって発見される場合が多い。長野県の分杭峠は中国の張志祥師によって発見された。発見後は、多くの人達の努力の積み重ねを基にして、より優れたゼロ場が形成される事になる、と考えている。つまり、多くの人達の願いが繰り返されて、累積されることが必要であるといえる。

(1) ゼロ(零)を積み重ねる。ものごとには陽の面と陰の面がある。例えば、ふつうは陽50%と陰50%である。後述するが、カオス・アトラクターのパイコネ変換を造る場合のように、陽と陰を加えても零に成らないように、少しずつ、陽と陰を積み重ねる。ずらさない場合は、加算すると零になる、つまり(+50%)+(-50%)=0(ゼロ)である。願いごとを念ずる場合は、これが51%と49%になる場合である。多くの人達が、様々な願い事を、繰り返し、繰り返し、積み重ねる。あるいは一人の人が願い事を積み重ねると良い、と思う。

(2) 集積値が変換点に達する。零の積み重ねの値が、ある値(不安定点、変換点)に達すると、未知現象が発生しやすくなる。

(3) リラックス集中と呼吸法によって意識を変容(ASC)させて、零意識(現象発生点のASC)になる。次に、するどく意念(願い事、光子群)を放射して(ウンと腹気合)、零を重ねる。すると、未知現象が発生することになる。発生しない場合は「ウン」を断続的に繰り返して放射する。

(4) このときの脳波は7~8Hz(ASC)である。チャクラ(アナハタ等)や経穴(ツボ)からは、らせん状に電子(バイオフィトン等)や微細身エネルギー(オーラ)等が放出されている(実験からの判断)。なお、別の実験(マクロPK、念力等)によると、未知現象はエネルギー一定条件で発生している。このとき、零場の中の零点は、不安定な状態であり、またカオス・アトラクターの発生の分岐点に相当している。また、このとき、体内から放出される素粒子群や微細身素粒子(様々な状態の電子群)は、(恒常的に)バックグラウンドとして存在するガンマー線の作用の助けをかりて、PSI-pair群を形成することになる。PSI-pair群はサイ(気)の原型であり、また量子絡み合いの原型でもある。なお、以上の(1)~(4)は、固体における未知現象発生(マクロPK)の実験結果をもとに推測している。